平成25年
3月議会提出議案
（当初予算分）

主要事項説明書

福 知 山 市

目　次

◆会計別予算額一覧 2

◆一般会計予算概要と市税の状況 3

◆一般会計歳入予算 5

◆一般会計歳出予算（目的別） 7

◆一般会計歳出予算（性質別） 9

◆平成 25 年度当初予算案　市長マニフェスト事業一覧 11

◆平成 25 年度当初予算案　その他の主要事業一覧 15

◆会計別予算額一覧

平成25年度　各会計予算集計表

（単位　千円、%）

会計別			平成25年度	平成24年度	増減額	伸率(%)
一般会計			39,900,000	37,690,000	2,210,000	5.9
特別会計	国民健康保険事業		7,970,900	8,160,500	△ 189,600	△ 2.3
	国民健康保険診療所費		46,700	45,600	1,100	2.4
	と畜場費		27,300	20,800	6,500	31.3
	簡易水道事業		883,000	1,225,500	△ 342,500	△ 27.9
	宅地造成事業		30,000	37,800	△ 7,800	△ 20.6
	休日急患診療所費		21,900	21,800	100	0.5
	公設地方卸売市場事業		7,500	4,100	3,400	82.9
	農業集落排水施設事業		894,400	885,800	8,600	1.0
	石原土地区画整理事業		1,341,300	1,862,600	△ 521,300	△ 28.0
	福知山駅周辺土地区画整理事業		530,800	657,500	△ 126,700	△ 19.3
	介護保険事業	保険事業勘定	7,177,100	6,943,000	234,100	3.4
		介護サービス事業勘定	30,600	25,900	4,700	18.1
	河守土地区画整理事業		48,400	69,800	△ 21,400	△ 30.7
	下夜久野地区財産区管理会		172	172	－	0.0
	後期高齢者医療事業		1,882,000	1,798,700	83,300	4.6
	地域情報通信ネットワーク事業特別会計		546,800	474,900	71,900	15.1
	小計		21,438,872	22,234,472	△ 795,600	△ 3.6
企業会計	ガス事業		－	971,200	△ 971,200	皆減
	水道事業		2,380,600	2,317,400	63,200	2.7
	下水道事業		4,664,300	4,557,601	106,699	2.3
	病院事業	市民病院事業	10,984,700	9,761,600	1,223,100	12.5
		国保新大江病院事業	42,844	53,853	△ 11,009	△ 20.4
	小計		18,072,444	17,661,654	410,790	2.3
合計			79,411,316	77,586,126	1,825,190	2.4

◆一般会計予算概要と市税の状況

一般会計 予算概要

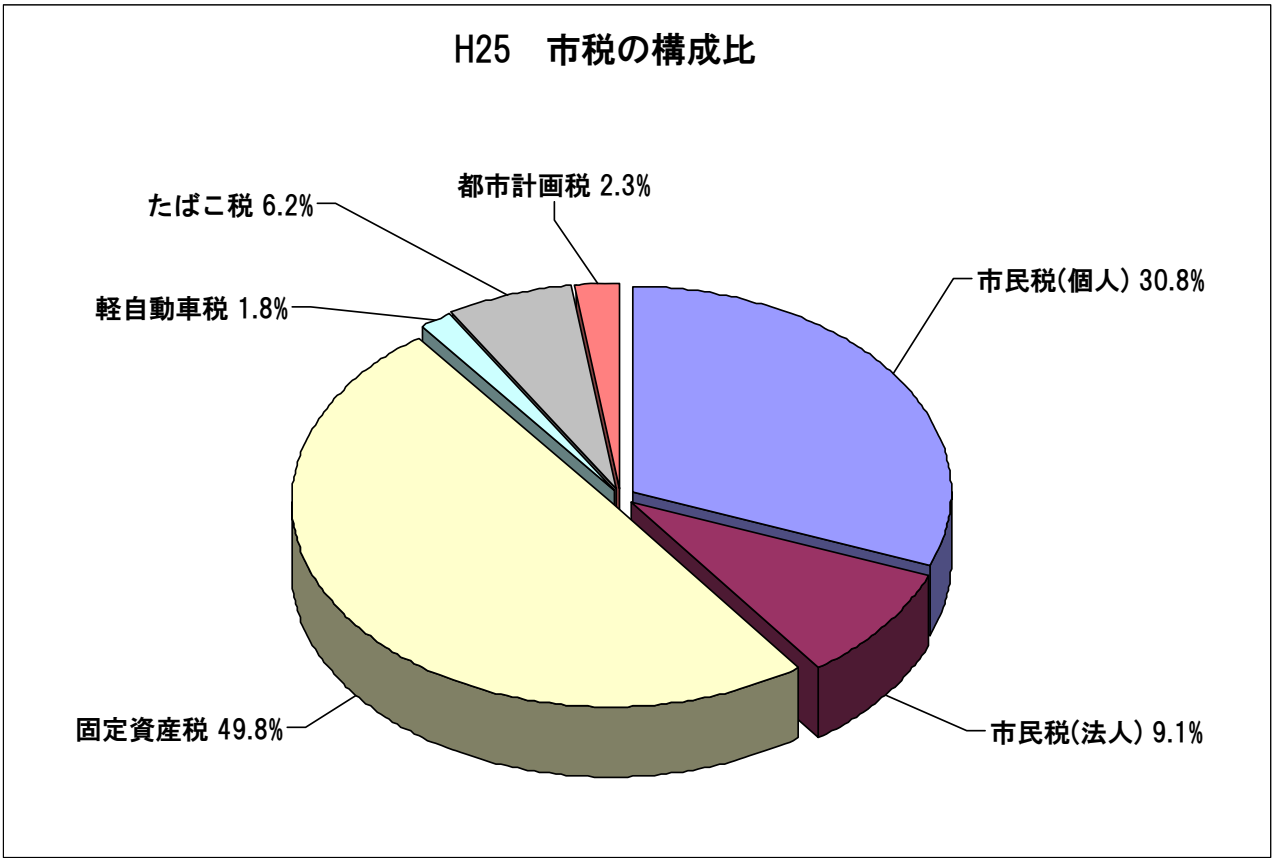
（単位　千円、%）

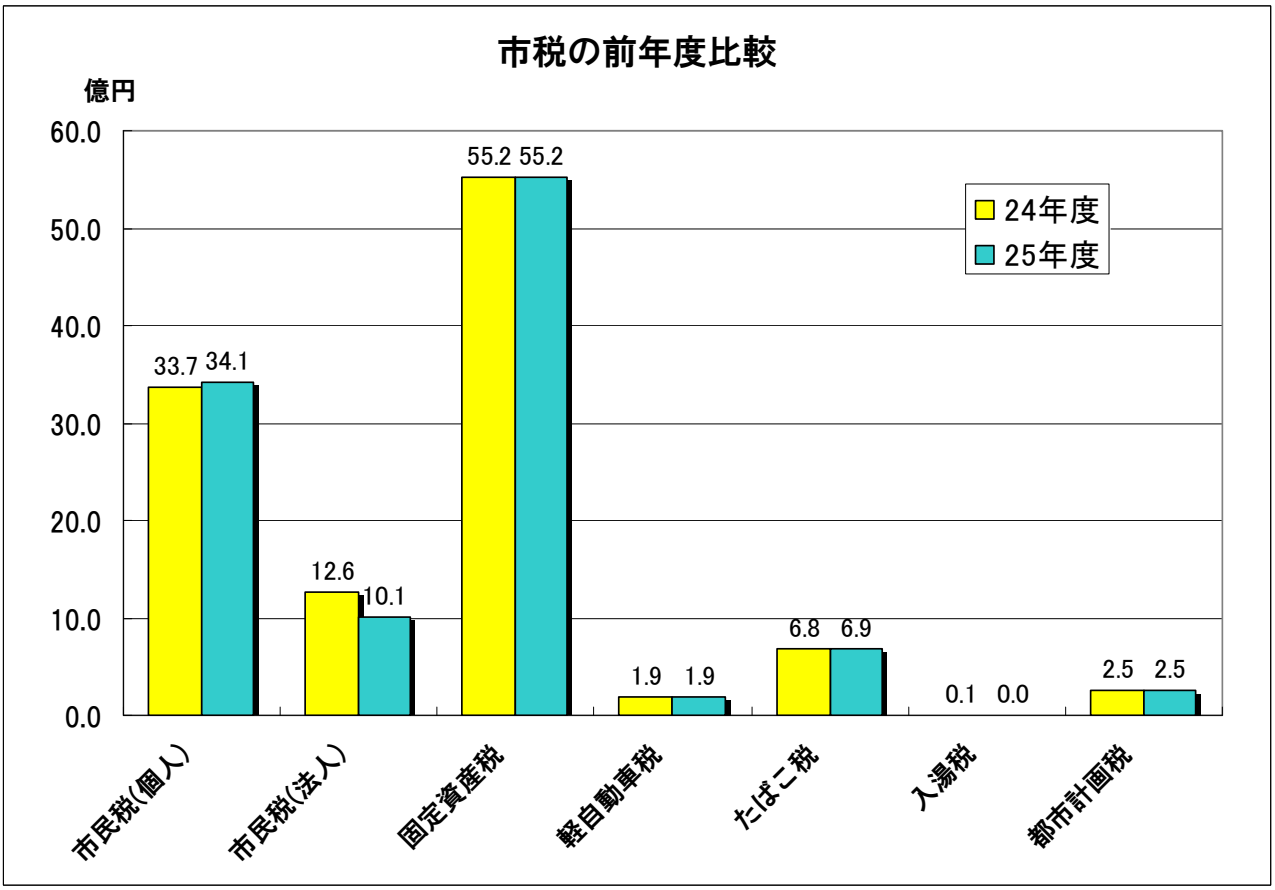
区分			平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	伸率 (A)/(B)(%)	構成比 平成25年度	構成比 平成24年度
総額			39,900,000	37,690,000	5.9	100.0%	100.0%
財源区分	自主財源		14,864,568	13,978,790	6.3	37.3%	37.1%
	依存財源		25,035,432	23,711,210	5.6	62.7%	62.9%
歳入	市税		11,080,365	11,269,073	△ 1.7	27.8%	29.9%
	市債		5,057,400	4,885,600	3.5	12.7%	13.0%
		臨時財政対策債	1,840,000	1,785,000	3.1	4.6%	4.7%
		合併特例債	1,960,100	1,900,900	3.1	5.0%	5.0%
		その他	1,257,300	1,199,700	4.8	3.2%	3.1%
歳出	義務的経費		20,012,517	19,677,643	1.7	50.2%	52.2%
	投資的経費		5,270,383	4,308,089	22.3	13.2%	11.4%
	その他の経費		14,617,100	13,704,268	6.7	36.6%	36.4%

市税の状況

（単位:千円）

区分		平成25年度 予算額	平成25年度 構成比	平成24年度 予算額	平成24年度 構成比	増減額	伸率(%)
市民税	個人	3,414,872	30.8%	3,370,939	29.9%	43,933	1.3
	法人	1,008,766	9.1%	1,257,465	11.2%	△ 248,699	△ 19.8
固定資産税	固定資産税	5,484,701	49.5%	5,489,412	48.7%	△ 4,711	△ 0.1
	国有資産等	34,737	0.3%	30,442	0.3%	4,295	14.1
軽自動車税		192,375	1.8%	186,908	1.7%	5,467	2.9
たばこ税		687,829	6.2%	677,493	6.0%	10,336	1.5
鉱産税		1	0.0%	1	0.0%	0	0.0
入湯税		4,440	0.0%	5,729	0.0%	△ 1,289	△ 22.5
都市計画税		252,644	2.3%	250,684	2.2%	1,960	0.8
計		11,080,365	100.0%	11,269,073	100.0%	△ 188,708	△ 1.7


H25　市税の構成比
たばこ税 6.2%
都市計画税 2.3%
市民税(個人) 30.8%
軽自動車税 1.8%
固定資産税 49.8%
市民税(法人) 9.1%

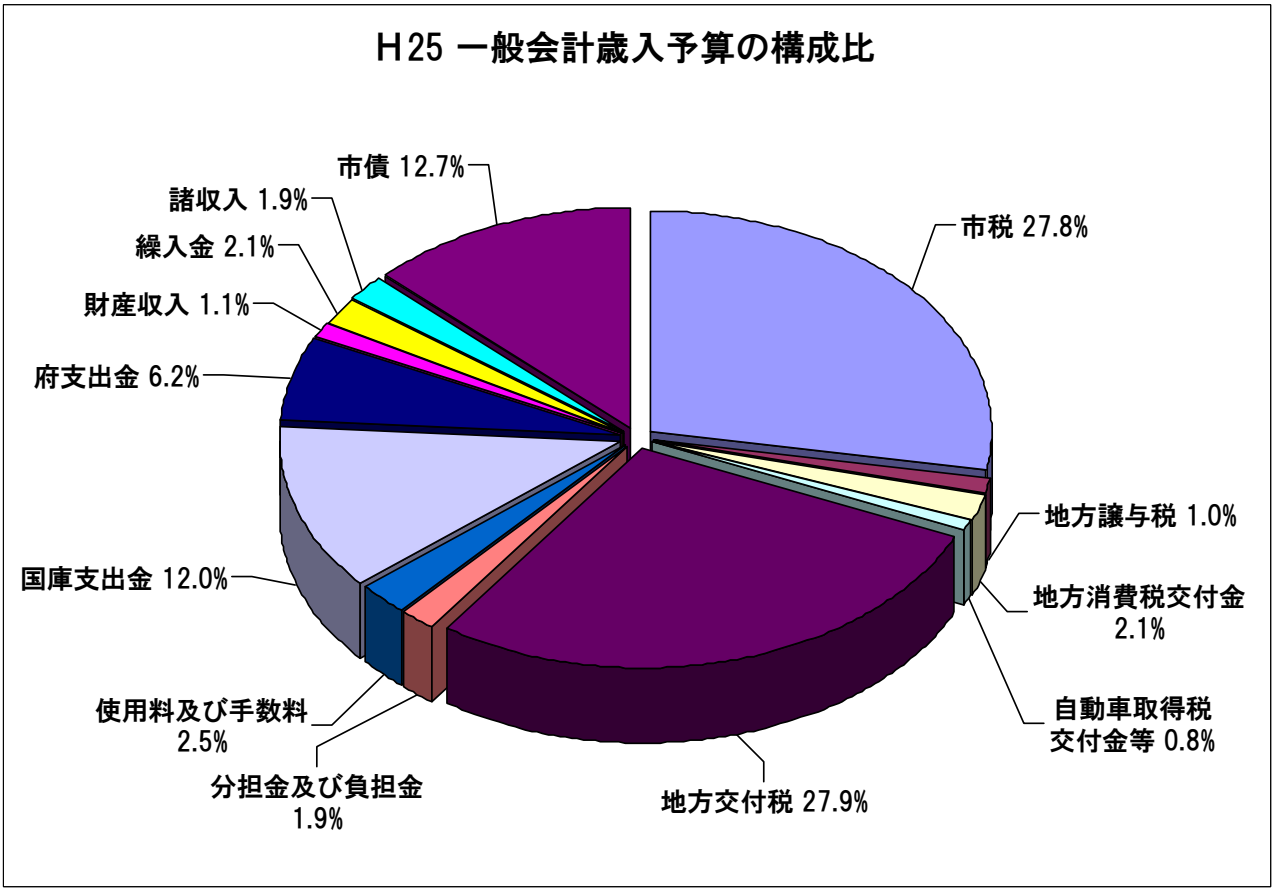

市税の前年度比較
億円
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
24年度
25年度
33.7 34.1
12.6 10.1
55.2 55.2
1.9 1.9
6.8 6.9
0.1 0.0
2.5 2.5
市民税(個人)
市民税(法人)
固定資産税
軽自動車税
たばこ税
入湯税
都市計画税

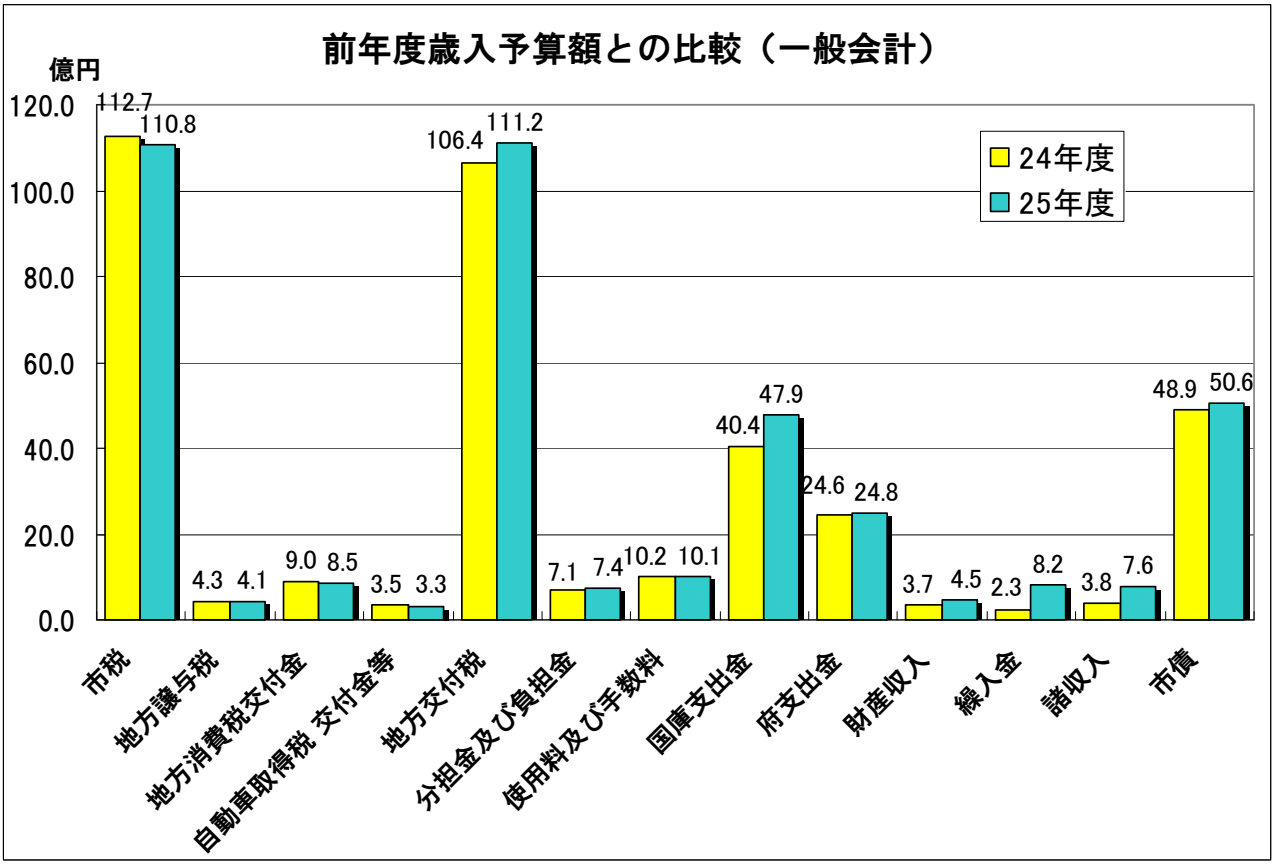
◆一般会計歳入予算

平成２５年度 一般会計予算

（単位　千円、％）

歳入						
科目	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増減額 (A)－(B) (C)	伸率 (C)/(B)	平成25年度 構成比	平成24年度 構成比
市税	11,080,365	11,269,073	△ 188,708	△ 1.7	27.8	29.9
地方譲与税	408,000	428,000	△ 20,000	△ 4.7	1.0	1.1
利子割交付金	28,000	35,000	△ 7,000	△ 20.0	0.1	0.1
配当割交付金	27,000	22,000	5,000	22.7	0.1	0.1
株式等譲渡所得割交付金	4,000	7,000	△ 3,000	△ 42.9	0.0	0.0
地方消費税交付金	852,000	900,000	△ 48,000	△ 5.3	2.1	2.4
ゴルフ場利用税交付金	6,000	10,000	△ 4,000	△ 40.0	0.0	0.0
自動車取得税交付金	177,000	178,000	△ 1,000	△ 0.6	0.4	0.5
国有提供施設等所在市町村助成交付金	20,000	20,000	0	0.0	0.1	0.1
地方特例交付金	50,000	57,000	△ 7,000	△ 12.3	0.1	0.2
地方交付税	11,120,000	10,644,000	476,000	4.5	27.9	28.2
交通安全対策特別交付金	17,000	18,000	△ 1,000	△ 5.6	0.0	0.0
分担金及び負担金	743,267	705,073	38,194	5.4	1.9	1.9
使用料及び手数料	1,005,250	1,024,443	△ 19,193	△ 1.9	2.5	2.7
国庫支出金	4,787,426	4,043,250	744,176	18.4	12.0	10.7
府支出金	2,481,606	2,463,360	18,246	0.7	6.2	6.5
財産収入	454,504	368,222	86,282	23.4	1.1	1.0
寄附金	2,501	4,001	△ 1,500	△ 37.5	0.0	0.0
繰入金	815,818	228,808	587,010	256.6	2.1	0.6
諸収入	762,863	379,170	383,693	101.2	1.9	1.0
市債	5,057,400	4,885,600	171,800	3.5	12.7	13.0
歳入合計	39,900,000	37,690,000	2,210,000	5.9	100.0	100.0


H25 一般会計歳入予算の構成比
市債 12.7%
諸収入 1.9%
繰入金 2.1%
財産収入 1.1%
府支出金 6.2%
国庫支出金 12.0%
使用料及び手数料 2.5%
分担金及び負担金 1.9%
地方交付税 27.9%
自動車取得税交付金等 0.8%
地方消費税交付金 2.1%
地方譲与税 1.0%
市税 27.8%


前年度歳入予算額との比較（一般会計）
億円
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
24年度
25年度
112.7
110.8
4.3
4.1
9.0
8.5
3.5
3.3
106.4
111.2
7.1
7.4
10.2
10.1
40.4
47.9
24.6
24.8
3.7
4.5
2.3
8.2
3.8
7.6
48.9
50.6
市税
地方譲与税
地方消費税交付金
自動車取得税 交付金等
地方交付税
分担金及び負担金
使用料及び手数料
国庫支出金
府支出金
財産収入
繰入金
諸収入
市債

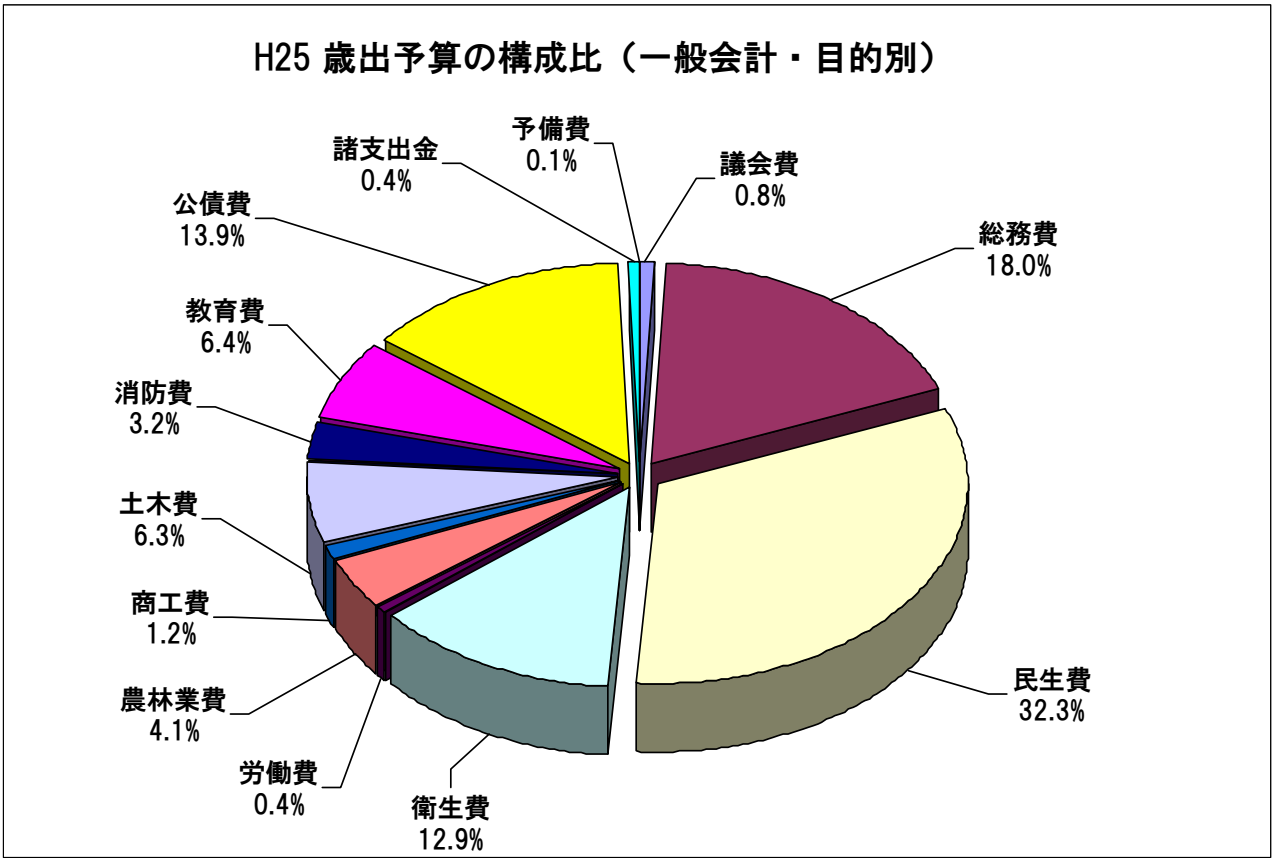
◆一般会計歳出予算（目的別）

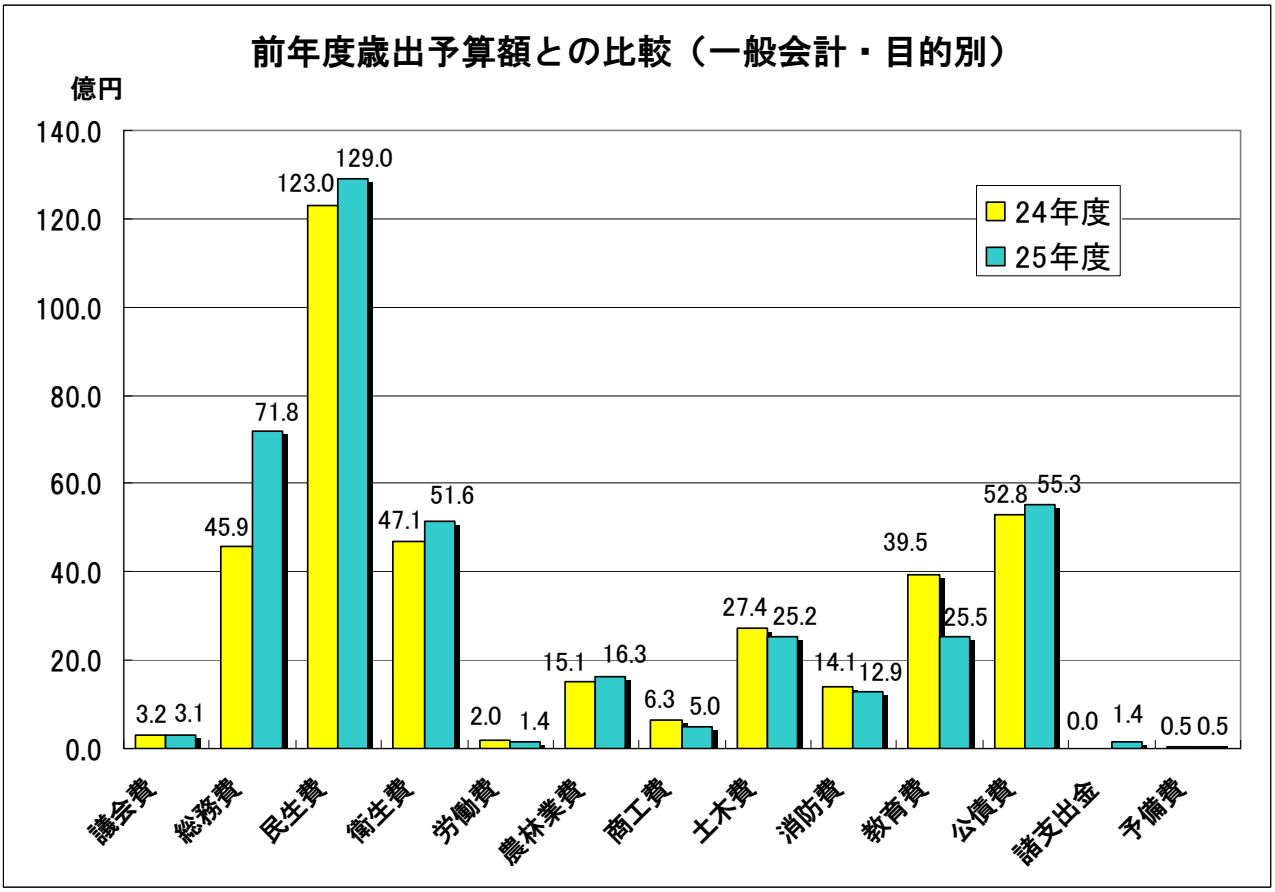
（単位　千円、%）

歳　　出						
科　　目	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増減額 (A)－(B)　(C)	伸率(%) (C)／(B)	平成25年度 構成比(%)	平成24年度 構成比(%)
議　会　費	308,021	320,979	△ 12,958	△ 4.0	0.8	0.9
総　務　費	7,174,216	4,588,608	2,585,608	56.3	18.0	12.2
民　生　費	12,902,311	12,304,907	597,404	4.9	32.3	32.6
衛　生　費	5,159,514	4,706,864	452,650	9.6	12.9	12.5
労　働　費	136,076	200,530	△ 64,454	△ 32.1	0.4	0.5
農林業費	1,633,845	1,508,407	125,438	8.3	4.1	4.0
商　工　費	495,029	626,585	△ 131,556	△ 21.0	1.2	1.7
土　木　費	2,523,466	2,737,522	△ 214,056	△ 7.8	6.3	7.3
消　防　費	1,292,719	1,414,269	△ 121,550	△ 8.6	3.2	3.7
教　育　費	2,553,135	3,953,330	△ 1,400,195	△ 35.4	6.4	10.5
公　債　費	5,527,868	5,277,999	249,869	4.7	13.9	14.0
諸支出金	143,800	－	143,800	皆増	0.4	－
予　備　費	50,000	50,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	39,900,000	37,690,000	2,210,000	5.9	100.0	100.0

（再掲）いわゆる教育予算（教育費+児童福祉費（子育て支援））

科　　目	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増減額 (A)－(B)　(C)	伸率(%) (C)／(B)	平成25年度 構成比(%)	平成24年度 構成比(%)
いわゆる教育予算	7,720,439	8,871,199	△ 1,150,760	△ 13.0	19.3	23.5
教　育　費	2,553,135	3,953,330	△ 1,400,195	△ 35.4	6.4	10.5
児童福祉費	5,167,304	4,917,869	249,435	5.1	12.9	13.0


H25 歳出予算の構成比（一般会計・目的別）
予備費
0.1%
諸支出金
0.4%
議会費
0.8%
公債費
13.9%
総務費
18.0%
教育費
6.4%
消防費
3.2%
土木費
6.3%
商工費
1.2%
農林業費
4.1%
労働費
0.4%
衛生費
12.9%
民生費
32.3%


前年度歳出予算額との比較（一般会計・目的別）
億円
140.0
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
24年度
25年度
3.2 3.1
45.9 71.8
123.0 129.0
47.1 51.6
2.0 1.4
15.1 16.3
6.3 5.0
27.4 25.2
14.1 12.9
39.5 25.5
52.8 55.3
0.0 1.4
0.5 0.5
議会費
総務費
民生費
衛生費
労働費
農林業費
商工費
土木費
消防費
教育費
公債費
諸支出金
予備費

◆一般会計歳出予算（性質別）

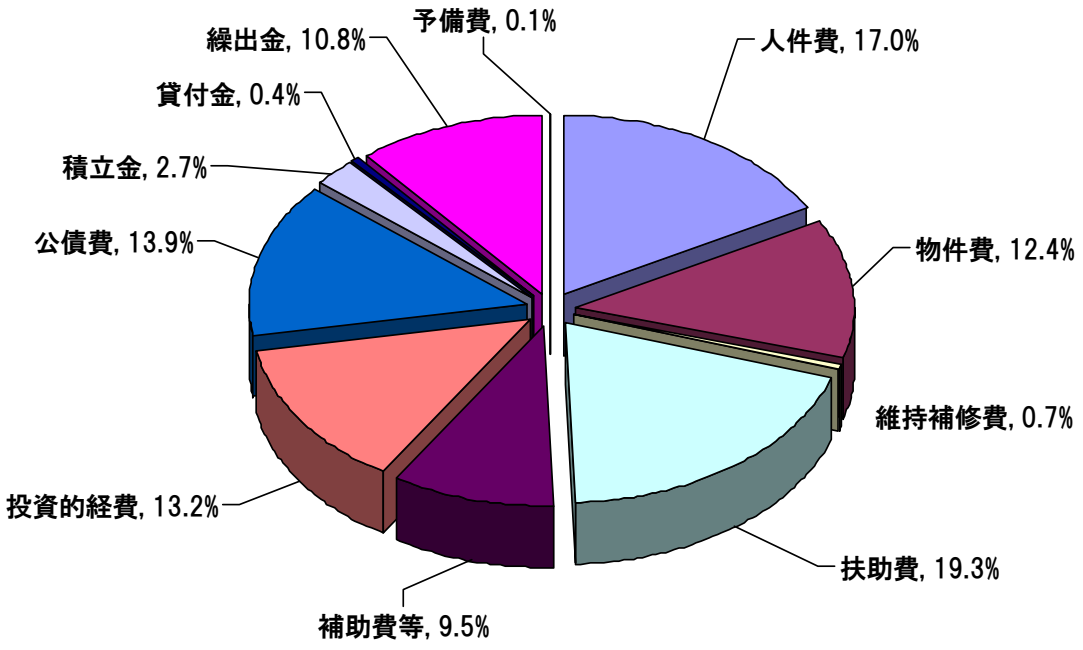
一般会計 性質別予算

（単位　千円、%）

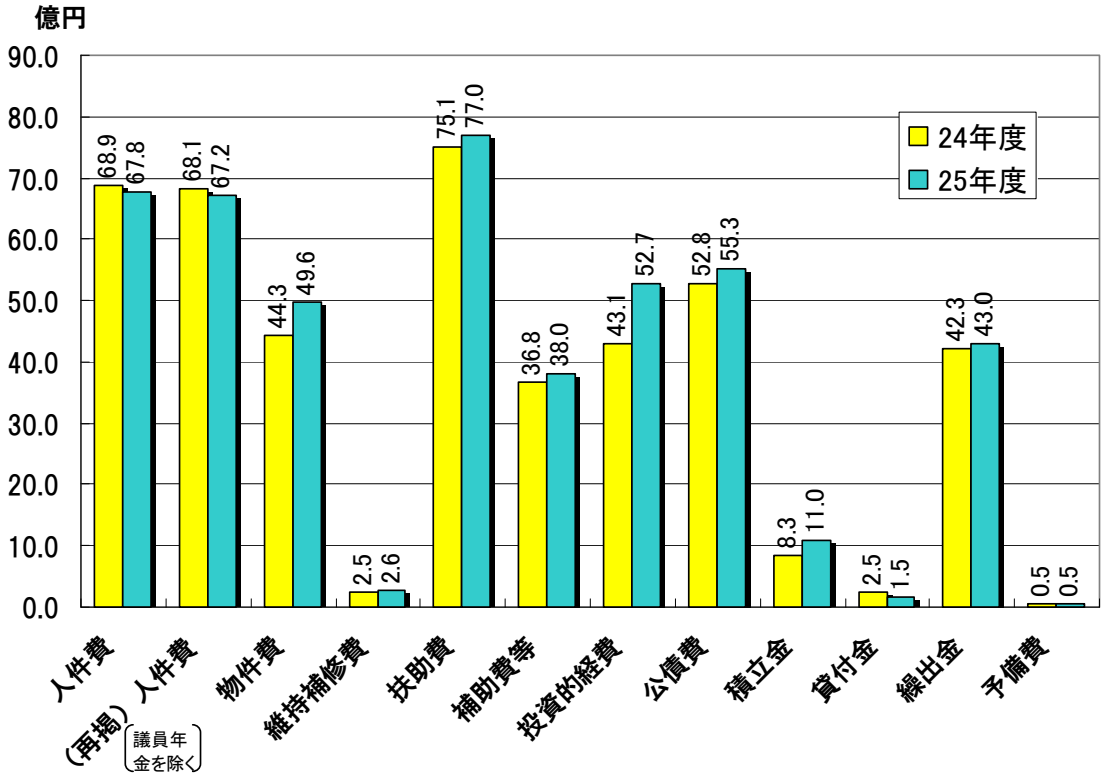
区　　分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増減額 (A)-(B)　(C)	伸率 (C)/(B)	平成25年度 構成比　(%)	平成24年度 構成比　(%)
人　件　費	6,783,916	6,888,700	△ 104,784	△ 1.5	17.0%	18.3%
※議員年金を除いた人件費	6,719,741	6,814,680	△ 94,939	△ 1.4	16.8%	18.1%
うち議員人件費	159,544	165,855	△ 6,311	△ 3.8	0.4%	0.4%
うち職員人件費	5,000,821	5,024,196	△ 23,375	△ 0.5	12.5%	13.3%
物　件　費	4,964,162	4,427,546	536,616	12.1	12.4%	11.7%
維持補修費	263,555	247,687	15,868	6.4	0.7%	0.7%
扶　助　費	7,700,733	7,510,944	189,789	2.5	19.3%	19.9%
補助費等	3,802,536	3,675,634	126,902	3.5	9.5%	9.8%
投資的経費	5,270,383	4,308,089	962,294	22.3	13.2%	11.4%
うち人件費	252,677	214,199	38,478	18.0	0.6%	0.6%
普通建設事業費	5,270,383	4,308,089	962,294	22.3	13.2%	11.4%
補助事業費	2,567,876	866,192	1,701,684	196.5	6.4%	2.3%
単独事業費	2,702,507	3,441,897	△ 739,390	△ 21.5	6.8%	9.1%
公　債　費	5,527,868	5,277,999	249,869	4.7	13.9%	14.0%
積　立　金	1,096,653	830,711	265,942	32.0	2.7%	2.2%
貸　付　金	140,800	247,400	△ 106,600	△ 43.1	0.4%	0.7%
繰　出　金	4,299,394	4,225,290	74,104	1.8	10.8%	11.2%
予　備　費	50,000	50,000	0	0.0	0.1%	0.1%
計	39,900,000	37,690,000	2,210,000	5.9	100.0%	100.0%

※地方議会議員年金制度見直しに係る給付費負担金を除いた人件費のことをさす。

H25 歳出予算の構成比(一般会計・性質別)



前年度歳出予算額との比較（一般会計・性質別）



◆平成 25 年度当初予算案　市長マニフェスト事業一覧

人にいちばんやさしい子育て・環境都市をめざす

～ひと・まちの「絆を育む交流」予算～市民をど真ん中に

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ
① 自然との共生で災害に強い安心安全なまちづくり					
(1)危機管理体制の強化と地域防災計画の全面見直し					
1	地域防災計画整備事業	危機管理室	拡充	1,200	19
2	孤立防止対策事業	危機管理室	新規	294	20
(2)防災行政無線の市全域整備					
3	防災行政無線整備事業	危機管理室	継続	4,000	21
4	大江地域防災行政無線機器購入事業	大江支所	新規	851	22
(3)再生可能エネルギー導入の調査・研究と太陽光発電の設置補助充実					
5	再生可能エネルギー活用調査事業	環境政策室	拡充	4,478	23
6	住宅用太陽光発電システム設置事業	環境政策室	継続	15,300	24
(4)家庭ごみ排出量の削減（府下No.１をめざす）					
7	ごみ端会議開催事業	環境政策室	継続	405	25
② 個性が輝く未来あるまちづくり（オンリーワンの子育て環境づくり）					
(1)不妊治療と出産医療の支援					
8	不妊治療費助成事業	健康推進室	継続	7,318	26-27
(2)「ふくふく医療」対象者の拡大					
9	ふくふく医療費支給事業	子育て支援課	拡充	85,345	28
(3)民間保育園の支援と園庭の芝生化の推進					
10	民間保育所運営事業	子育て支援課	拡充	265,754	29
11	子どもに優しい芝生園庭整備事業（公立・民間保育園）	子育て支援課	継続	1,349	30-31
(4)放課後児童クラブの充実					
12	放課後児童クラブ運営事業	子育て支援課	継続	136,171	32
(5)学校給食の地産地消					
13	学校給食地産地消推進事業	農業振興課	継続	5,007	33
(6)小中学校全教室へのエアコン設置と施設整備					
14	小・中学校施設空調設備設置事業	教育総務課	新規	26,100	34

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

③ 改革進め府市協調で健全な行財政づくり

(1) 自治基本条例の制定

15	市民参加型まちづくり推進事業	市長公室	継続	2,132	35
16	地域力再編！パワーアップ支援事業	市長公室	新規	500	36
17	（仮称）新まちづくり計画策定準備事業	市長公室	新規	2,588	37
18	政策マーケティング（100人ミーティング）事業	市長公室	新規	1,486	38

(2) 市民提案事業の導入

19	市民提案アイデア募集事業	市長公室	拡充	433	39

(3) 市民参加型事業評価システムの導入

20	市民参加型事業評価推進事業（公開事業レビュー）	市長公室	新規	800	40

(4) 土地開発公社の解散

21	第三セクター等改革推進債償還基金積立事業	財政課	継続	153,583	41

(5) 保育園の民営化

22	市立保育園整備計画推進事業	子育て支援課	継続	5,000	42

(6) 平日の時間延長の実施

23	平日の窓口業務取扱時間延長に係る電算システム保守事業	情報推進課	新規	394	43

(7) 総合案内窓口の設置

24	総合案内窓口運営事業	市長公室	新規	3,778	44

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

④ 雇用が進んでまちの活気づくり

(1) 農産物のブランド化と６次産業化

25	６次産業推進事業	農業振興課	新規	2,486	45
26	地場産農産物ブランド化支援事業	農業振興課	継続	3,650	46
27	里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業(6次産業モデル事業)	農林管理課	新規	2,200	47

(2) 有害鳥獣捕獲事業の拡充

28	有害鳥獣捕獲事業	林業振興課	継続	65,984	48
29	有害鳥獣処理施設整備事業	林業振興課	新規	9,338	49

(3) 中小企業サポートセンターの開設

30	中小企業サポートセンター事業	商工振興課	継続	3,026	50

(4) 地元雇用を創出する公契約条例の制定

31	公契約条例調査検討事業	契約監理課	新規	228	51

(5) 夜久野高原花回廊の整備

32	夜久野高原花回廊整備事業	夜久野支所	新規	700	52

(6) 大原産屋の里周辺の整備

33	大原地区産屋周辺整備事業	三和支所	継続	10,916	53

(7) 三段池公園、動物園の整備

34	三段池公園カルチャーパーク整備事業	都市計画課	継続	100,120	54

(8) スポーツ観光の推進（スポーツイベント・合宿誘致の支援）

35	スポーツ合宿補助事業	スポーツ振興課	継続	1,500	55

(9) 元気出す地域活力支援事業の拡充

36	元気出す地域活力支援事業	まちづくり推進課	拡充	2,800	56

(10) 大江山の自然と歴史の有効活用

37	世界鬼学会運営補助事業	生涯学習課	継続	720	57
38	大雲水辺の里づくり事業	大江支所	継続	200	58
39	名勝大江山調査事業	生涯学習課	継続	3,000	59

(11) ＪＲ福知山線複線化の促進

40	鉄道利用促進事業	生活交通課	継続	950	60

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

⑤ ふるさとでいつまでも幸せ実感　福祉と文化のまちづくり

(1) 官民一体となった医療提供体制の構築

41	病院事業（市民病院）	市民病院事務部	継続	10,984,700	154-156

(2) 教育・文化の拠点づくり　（仮称）市民交流プラザの建設

42	（仮称）市民交流プラザふくちやま建設事業	市長公室	継続	1,787,900	61-62
43	（仮称）市民交流プラザふくちやま図書館資料購入事業	図書館	継続	47,700	63
44	（仮称）市民交流プラザふくちやま図書館システム・設備等整備事業	図書館	新規	38,650	64

(3) 敬老乗車券の発行

45	敬老乗車券事業	生活交通課	新規	13,749	65

(3) （仮称）発達支援センターの整備検討

46	（仮称）福知山市発達支援センター整備事業	子育て支援課	継続	5,148	66

(4) 市役所各階に手話や要約筆記のできる職員を養成

47	「絆」プロジェクト事業（市民協働枠）	子育て支援課	新規	1,500	67

(5) 安心生活見守り事業の実施

48	介護保険事業（保険事業勘定）	高齢者福祉課	継続	7,177,100	148-149

(6) 地域包括支援センターの充実

49	介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）	高齢者福祉課	継続	30,600	150-151

(7) 男女共同参画センターの開設と平和・人権若者交流事業の推進

50	男女共同参画センター設立事業	人権推進室	新規	206	68
51	平和事業	人権推進室	継続	550	69

◆平成 25 年度当初予算案　その他の主要事業一覧

北近畿をリードする創造性あふれるまち実現プラン

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ
Ⅰ　市民協働でつくるコミュニティ豊かな自立したまち					
(1)みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
＜市民協働の推進＞					
52	まちなか若者にぎわいプロジェクト推進事業	まちづくり推進課	新規	400	70
53	広報ふくちやま発行事業	市長公室	拡充	11,246	71
(2)地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
＜質の高い行政サービスの提供＞					
54	委員会等ライブ中継事業	市議会事務局	新規	2,577	72
55	議会報告会事業	市議会事務局	継続	30	73
56	施設マネジメント事業	資産活用課	新規	4,800	74
57	市有地販売促進事業	資産活用課	新規	600	75
58	合併算定替逓減対策基金積立事業	財政課	継続	207,124	76
Ⅱ　定住と交流の活力あるまち					
(3)人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
＜公共交通の強化＞					
59	高校生定期乗車券補助事業	生活交通課	拡充	3,690	77
60	市バス整備事業	生活交通課	継続	4,000	78
61	交通空白地域移送サービス支援事業	生活交通課	継続	3,000	79
＜道路網の整備＞					
62	街路事業（多保市正明寺線　高畑工区）	都市計画課	継続	114,900	80
63	中心市街地活性化関連道路整備事業	土木課	継続	20,000	81
64	広域交通網整備促進事業(地域ふるさと農道)	農林管理課	継続	100,000	82
65	橋りょう長寿命化対策事業	土木課	継続	4,000	83
＜高度情報化の推進＞					
66	標的型攻撃等への安全対策事業	情報推進課	新規	3,583	84
67	戸籍副本データ管理システム改修事業	市民課	新規	3,041	85
＜国内・国際交流の推進＞					
68	姉妹都市友好親善市民交流事業	市長公室	新規	1,074	86
(4)地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
＜農林水産業の振興＞					
69	ふくちの農場づくり事業	農業振興課	新規	20,370	87
70	安全安心ブランド農作物推進事業	農業振興課	新規	150	88
71	丹州材活用促進事業	林業振興課	拡充	2,500	89
72	農山村空き家バンク事業	農林管理課	拡充	5,544	90
73	ふくちの農山村応援事業	農林管理課	拡充	5,424	91

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ
＜商工業の振興＞					
74	小規模企業融資制度事業	商工振興課	拡充	18,390	92
75	販路開拓支援事業	商工振興課	継続	2,000	93
76	企業誘致促進特別対策事業	産業立地課	継続	54,140	94
＜観光の振興＞					
77	スイーツフェスティバル事業	観光振興課	新規	1,800	95
78	文庫本ブックカバー作成事業	観光振興課	新規	1,346	96
79	ゆるキャラ資源徹底活用による福知山活性化支援事業	環境政策室	新規	2,200	97
80	友好都市交流事業	観光振興課	新規	450	98
81	特産品活用による三和地域活性化事業	三和支所	拡充	5,000	99
82	福知山観光協会運営補助事業	観光振興課	拡充	7,155	100
＜雇用の確保＞					
83	就職おうえんスキルアップ助成金給付事業	商工振興課	拡充	2,630	101
84	緊急雇用特別対策事業	商工振興課	継続	113,854	102-103

Ⅲ 人と自然が調和し、すこやかに安心して暮らせるまち

(5) 地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり

＜保健・医療の充実＞					
85	障害のある人のためのインフルエンザ予防接種事業	健康推進室	新規	2,006	104
86	女性のためのがん検診推進事業	健康推進室	継続	48,464	105-106
87	健康増進計画推進事業	健康推進室	拡充	3,558	107
＜高齢者福祉の充実＞					
88	介護人材確保対策事業	高齢者福祉課	新規	20,816	108-109
89	いきいきサロン設置事業	高齢者福祉課	新規	620	110
90	成年後見センター運営事業	高齢者福祉課	新規	6,275	111-112
＜障害のある人の福祉の充実＞					
91	居宅介護サービス利用支援事業	社会福祉課	新規	1,200	113
92	障害者相談員・支援員事業	社会福祉課	拡充	1,002	114
93	福祉医療費（障害）給付事業	社会福祉課	継続	234,688	115
＜子育て支援の充実＞					
94	未熟児養育医療給付事業	子育て支援課	新規	1,225	116
95	自立支援医療（育成医療）給付事業	子育て支援課	新規	2,098	117
96	民間保育所施設整備事業	子育て支援課	継続	105,302	118

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ
	(6)人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり				
	＜土地利用及び市街地・集落整備＞				
97	中心市街地テナントミックス推進事業	商工振興課	拡充	3,300	119
98	まちなみ環境整備事業	商工振興課	継続	50,000	120
	＜生活空間の整備＞				
99	暮らし安心・住環境向上支援事業	商工振興課	新規	12,039	121
100	南天田団地建替事業（継続費）	建築課	継続	287,088	122
	＜低炭素・循環型社会の形成＞				
101	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業	環境政策室	新規	500,000	123
102	ガス事業会計清算事業	ガス水道部総務課	新規	143,800	124
	＜消防・救急・防災対策の強化＞				
103	市庁舎耐震化・長寿命化改修事業	総務課	新規	184,716	125
104	めざせ！「救命の絆」世界一のまち事業	消防本部	新規	2,000	126-127

Ⅳ 明日を担う創造力あふれる人材育成のまち

	(7)魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり				
	＜青少年の健全育成＞				
105	公誠子ども教室事業	生涯学習課	継続	2,389	128
106	勤労青少年ホーム耐震改修事業	生涯学習課	新規	2,000	129
	＜学校教育の充実＞				
107	桃映中学校北校舎改築事業	教育総務課	新規	160,782	130
108	中学校配膳員配置事業	教育総務課	新規	18,247	131
109	見守り活動支援事業	学校教育課	新規	864	132
110	学校給食管理運営事業（市給食センター）	学校給食センター	拡充	168,971	133
111	小学校・中学校 学校図書整備事業	教育総務課	拡充	20,000	134
112	小学校・中学校・幼稚園耐震改修事業	教育総務課	継続	12,240	135
113	スクールサポーター配置事業	学校教育課	継続	20,453	136
114	心の安定基地つくり推進事業	学校教育課	継続	7,647	137
	＜生涯学習の推進＞				
115	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業	図書館	新規	30,250	138
116	北陵地域体育館耐震改修事業	中央公民館	新規	6,000	139
	＜文化財の保存・活用＞				
117	天然記念物等総合調査事業	生涯学習課	継続	2,000	140
	＜文化・スポーツ活動の推進＞				
118	佐藤太清記念美術館特別展事業	まちづくり推進課	拡充	30,807	141
119	体育施設設備整備事業	スポーツ振興課	拡充	17,929	142
120	（仮称）福知山北部地域多目的グラウンド整備事業	スポーツ振興課	継続	81,818	143

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

特別会計・企業会計

○社会保障関連

121	国民健康保険事業	保険課	継続	7,970,900	144-145
122	国民健康保険診療所費	保険課	継続	46,700	146
123	休日急患診療所費	健康推進室	継続	21,900	147
124	介護保険事業（保険事業勘定）	高齢者福祉課	継続	7,177,100	148-149
125	介護保険事業（介護サービス事業勘定）	高齢者福祉課	継続	30,600	150-151
126	後期高齢者医療事業	高齢者福祉課	継続	1,882,000	152-153
127	病院事業（市立福知山市民病院）	市民病院事務部	拡充	10,984,700	154-156
128	病院事業（国民健康保険新大江病院）	保険課	継続	42,844	157

○上下水道等関連

129	簡易水道事業	ガス水道部	継続	883,000	158
130	農業集落排水施設事業	ガス水道部	継続	894,400	159
131	水道事業	ガス水道部	継続	2,380,600	160
132	公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業	ガス水道部	継続	4,664,300	161

○土地区画整理関連

133	石原土地区画整理事業	都市整備課	継続	1,341,300	162
134	福知山駅周辺土地区画整理事業	福知山駅周辺整備課	継続	530,800	163
135	河守土地区画整理事業	都市整備課	継続	48,400	164
136	宅地造成事業	農林管理課	継続	30,000	165

○その他

137	と畜場費	農業振興課	継続	27,300	166
138	公設地方卸売市場事業	農業振興課	継続	7,500	167
139	福知山市下夜久野地区財産区管理会	夜久野支所	継続	172	168
140	地域情報通信ネットワーク事業	情報推進課	継続	546,800	169-170

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	地域防災計画整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,200	国	府	市債	その他	一般財源	
		600			600	4,680

1　事業の背景・目的

UPZ圏域が高浜発電所から30ｋｍ圏内に設定され、本市の一部がその区域に含まれることから、平成24年度に原子力災害住民避難計画の策定を行いました。

避難計画の運用を他の市域にも準用するとしていることから、有事の際の避難方法等について全市民に周知する必要があります。

また、平成24年度に改定した福知山市地域防災計画について、自治会長版を作成し、自治会で活用していただくために自治会長に配布します。

2　事業の内容

(1)　原子力災害住民避難計画の概要版を作成し、全戸配布を行います。

(2)　福知山市地域防災計画の自治会長版を作成し、自治会長に配布します。

3　事業費の内訳

印刷製本費　　原子力災害住民避難計画概要版　　300千円

福知山市地域防災計画自治会長版　　900千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金

H24年度
原子力災害住民避難計画案
住民説明会
【H25.1.20三河公会堂】

担当課	危機管理室	電話	直通　24－7503　内線 3511

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	孤立防止対策事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
294	国	府	市債	その他	一般財源	
	147				147	―

1　事業の背景・目的

台風等の災害時には、土砂災害による道路の遮断等により、集落が孤立する恐れがあります。平成16年の23号台風で孤立した集落に対して、衛星携帯電話を配備しているところですが、平成25年度をもって、新しい衛星による電話サービスに切り替わるため、対応機種に更新します。

2　事業の内容

衛星携帯電話の更新

衛星携帯電話　1台　　294 千円

3　事業費の内訳

備品購入費　衛星携帯電話　　294千円

4　主な特定財源

地域防災力向上支援事業

H23年度導入
「災害時資機材整備事業」
衛星携帯電話

担当課	危機管理室	電話	直通　24－7503　内線 3511

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	防災行政無線整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
4,000		2,000			2,000	24,695

1　事業の背景・目的

土砂災害警戒区域の指定に伴い、屋外拡声子局の新設を行います。

また、本市の災害時の情報伝達手段については、防災行政無線を活用した屋外拡声子局や戸別受信機、有線放送などで行っていますが、実際の風雨等の際には、屋外拡声子局から離れた場所では情報が伝わりにくいなどの課題があります。

全市域に確実で速やかな情報を行き渡らせるため、既存の情報伝達手段を活用しつつ、複数の手法で地域特性に応じた最適な方法を取るための情報伝達手段の基本的な整備計画の策定を行います。

2　事業の内容

土砂災害警戒区域への情報伝達媒体として、屋外拡声子局１基（報恩寺）を整備します。

本市全域への防災情報の伝達手段の最適化を図るため、今後の整備計画の基本となる防災情報伝達システム基本計画を策定します。

3　事業費の内訳

(1)　福知山市防災情報伝達システム基本計画策定業務（委託料）1,000千円

(2)　防災行政無線屋外拡声子局整備工事（工事請負費）3,000千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金

H24年度整備
「防災行政無線整備事業」
屋外拡声子局【私市】

担当課	危機管理室	電話	直通　24－7503　内線 3511

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	大江地域防災行政無線機器購入事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
851	国	府	市債	その他	一般財源	
					851	0

1　事業の背景・目的

　大江地域の各自治会公会堂に設置している防災行政無線の受信機及び非常用電源装置が度々の落雷により放送電波を受信できない状況となり、その都度修理対応を図って来ましたが、器機が20数年を経過し、部品を調達出来ない状況となっています。

大江地域の防災行政無線は災害有事の情報伝達に欠かせない設備であることから、新たに受信機及び非常用電源装置を購入します。

2　事業の内容

(1)戸別受信機：5台

上野・波美・金屋・北一自治会、舟越会館

(2)非常用電源装置：2台

天田内・二箇上自治会

連続使用時間：30分

3　事業費の内訳

受信機：5台　94,500円×5台＝473千円

非常用電源装置：2台　189,000円×2台＝378千円

いずれも備品購入費

担当課	地域振興部大江支所	電話	直通 56-1101　内線 75-9312

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	再生可能エネルギー活用調査事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
4,478		2,165			2,313	233

1　事業の背景・目的

本市の地域特性を活かした再生可能エネルギー活用の基本方針となる「福知山市再生可能エネルギー活用プラン」を策定するため、引き続き「福知山市再生可能エネルギー活用調査会」において調査・研究を行います。

2　事業の内容

（１）福知山市再生可能エネルギー活用調査会の運営
　　（委員10名、アドバイザー2名）
（２）福知山市再生可能エネルギー活用プランの策定
　　（再生可能エネルギー賦存量・活用可能量調査）
（３）小水力発電実証試験の実施（１ヶ所）

3　事業費の内訳

（１）報償費　活用調査会委員報償費　360千円
（２）旅　費　委員旅費、研修旅費　105千円
（３）需用費　燃料費　6千円
（４）委託料
　①賦存量・活用可能量調査
　　及び活用プラン策定委託料　2,500千円
　②視察調査運転代行委託料　7千円
（５）負担金補助及び交付金
　　小水力発電実証試験(1ヶ所)　1,500千円

4　主な特定財源

府補助金（みらい戦略一括交付金）
2,165千円

平成24年度
再生可能エネルギー
活用調査会の様子

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

施策名	人と自然が共生する安全･安心･快適環境のまちづくり					
事業名	住宅用太陽光発電システム設置事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
15,300		7,650			7,650	15,300

1　事業の背景・目的

家庭における再生可能エネルギーの活用と地球温暖化対策を図るため、家庭用太陽光発電システムの設置者に対して設置費用の一部を補助します。

制度開始以来、申請件数は着実に増加しており、申請累計数は493件（平成22年4月～）、出力合計は2,133kwに達しています。

2　事業の内容

（１）対象者　　自らが居住する住宅に太陽光発電システムを設置した方、または、新たに太陽光発電システムが設置された建売住宅を購入した方

（２）補助単価　　20,000円/kw

（３）補助限度額　　100,000円(5kw)

（４）予定件数　　150件

3　事業費の内訳

審査手数料　　300千円

補　助　金　　15,000千円（150件）

4　主な特定財源

府補助金（みらい戦略一括交付金）　　7,650千円

普及が進む家庭用太陽光発電。平成24年度は182件の申請を受付けました。

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	ごみ端会議開催事業					継続
予算額(千円)						前年度予算額
405	国	府	市債	その他	一般財源	
					405	405

1　事業の背景・目的

市長マニフェストに掲げる家庭ごみ排出量削減に向けた取組みを、市民目線から検討・提案いただきます。

2　事業の内容

地域から選出された「ごみ端委員」で組織する「ごみ端会議」を開催し、検討・提案いただきます。

委　員　27名

任　期　2年間（第9期委員　平成24年～25年度）

3　事業費の内訳

報償費　　405千円

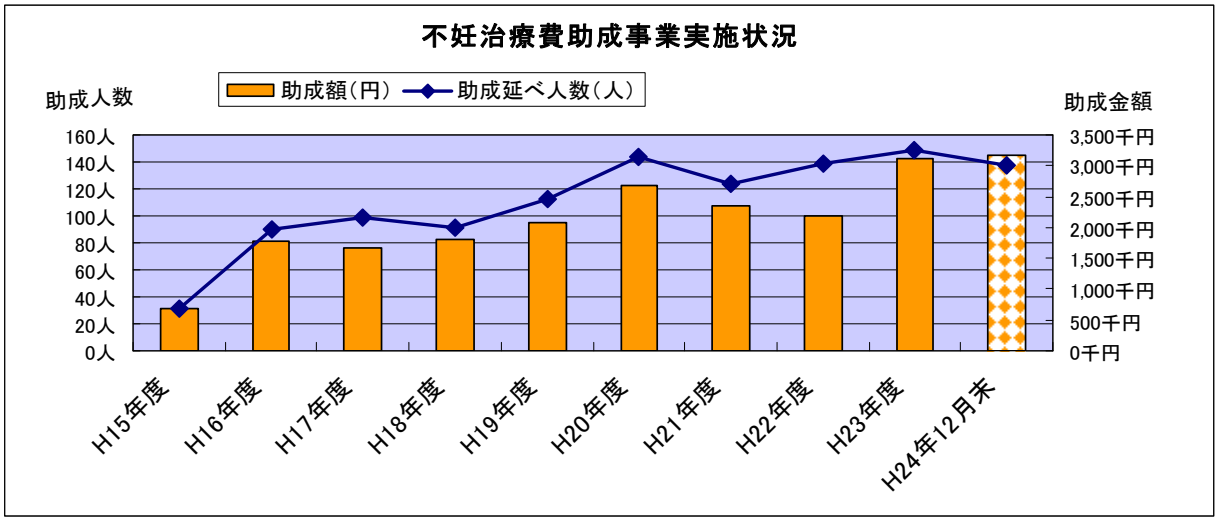
第9期委員によるごみ端会議の様子（H24.9.28開催風景）

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	不妊治療費助成事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,318	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,824			5,494	7,038

1　事業の背景・目的

不妊治療を受けている夫婦の経済的な負担の軽減を図るため、平成15年度から治療費の自己負担金の一部を助成する事業を開始しました。申請件数は年々増加し、平成23年度には対象治療に人工授精も加え、助成限度額も増額しています。さらに、平成24年度治療分から、助成限度額の増額とともに全額助成（限度額内）をしており、平成24年度には、助成件数・助成金額ともに大きな伸びがみられています。



	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年12月末
助成延べ人数(人)	31人	90人	99人	91人	113人	144人	124人	139人	149人	137人
助成額(円)	697,135円	1,790,550円	1,674,491円	1,797,545円	2,072,880円	2,674,265円	2,350,675円	2,196,610円	3,127,146円	3,160,946円

2　事業の内容

【対象は】
①医療保険適用の治療を受けた人
②人工授精を受けた人
※1 年以上京都府内に継続して居住し、福知山市に住民票がある期間の治療費が対象となります。

不妊治療費の自己負担金を限度額内において全額助成
※限度額：1 年度 20 万円
ただし医療保険適用治療のみの場合 12 万円

・申請は、本人の申請による償還払いです。
・申請書は、保健福祉センターの窓口の他、市のホームページからダウンロードすることもできます。申請書類は、郵送でも提出できます。

（次ページに続く）

3　事業費 ・役務費　20千円　・扶助費　7,298千円 4　主な特定財源 府支出金　府補助金　衛生費府補助金 京都府不妊治療給付事業助成費補助金			
担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6220

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	ふくふく医療費支給事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
85,345				2	85,343	69,198

1　事業の背景・目的

子どもの健康の保持・増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ります。

2　事業の内容

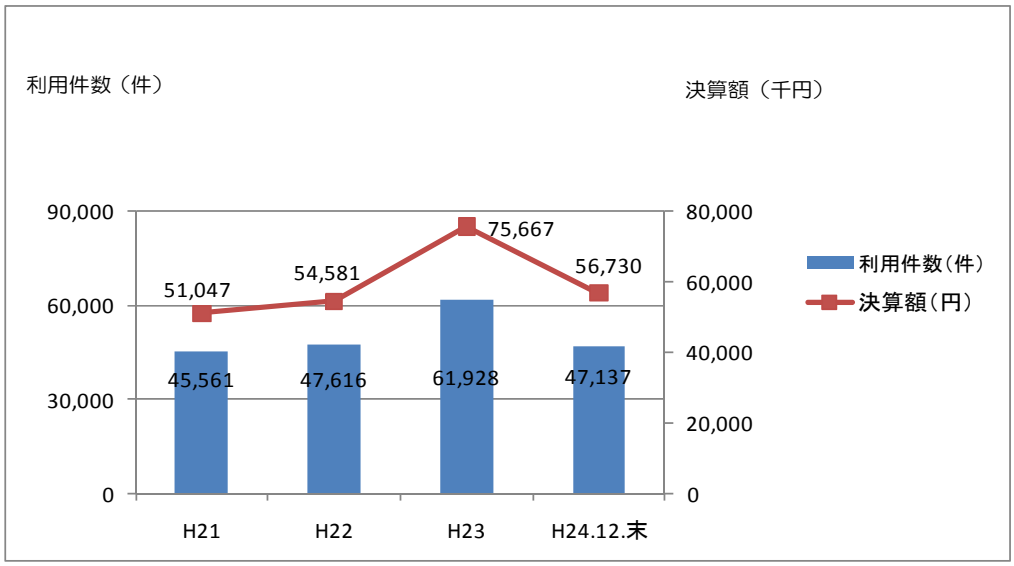
3歳以上小学6年生までの子どもの医療費について、1医療機関1日500円の自己負担で受診できるよう医療費を公費負担します。

※平成25年9月診療分より中学生の医療費についても制度対象として拡充し、次の自己負担額で受診できるようにします。

(1) 入院外について1医療機関1日500円の自己負担で受診ができるよう医療費を公費負担します。

(2) 入院について1医療機関1か月200円の自己負担で受診ができるよう医療費を公費負担します。

○実施状況



3　事業費の内訳

・需用費　203千円
・委託料　2,730千円
・負担金補助及び交付金　100千円
・役務費　6,953千円
・使用料及び賃借料　43千円
・扶助費　75,316千円

4 主な特定財源

・広告収入（窓あき封筒）　2千円

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7011　内線 2114

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	民間保育所運営事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
265,754	8,590	70,602			186,562	240,953

1　事業の背景・目的

保護者の就労形態や保育ニーズが多様化するなか、保育サービスの充実に対応するための保育士の確保が困難になっています。

市内の民間保育所17園での保育所運営にかかる人件費等の補助を行うことで、官民格差の是正を行い、保育士の安定的な確保につなげ、保育サービスの拡充と保護者の就労の支援を図ります。

2　事業の内容

保育士の人件費補助（拡充）、夜間保育（新規）、障害児保育（拡充）、延長保育、家庭支援推進保育、休日保育、一時預かり、地域子育て支援センターなどにかかる運営経費を補助します。

3　事業費の内訳

・旅費　70千円
・需用費　117千円
・役務費　400千円
・負担金　1,150千円
・補助金　263,717千円
・扶助費　300千円

4　主な特定財源

・子育て支援交付金　8,590千円
・福祉施設人材確保サービス向上事業　11,522千円
・保育対策等促進事業　57,758千円
・民間社会福祉施設整備費借入金利子補給　1,322千円

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	子どもに優しい芝生園庭整備事業（公立保育園）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
869	国	府	市債	その他	一般財源	
					869	0

1　事業の背景・目的

芝生は天然のクッションになり、転倒等による衝撃が緩和され、足の指や足の裏を自由に使って土踏まずの形成を促進し脳を刺激する効果もあります。

成長する子ども達の遊び場として園庭を芝生化することにより、園児が安心・安全に活動し遊ぶことができる保育環境を整備します。

2　事業の内容

園庭芝生化に伴う工事（表土すきとり・残土処分・真砂土投入・芝張り）並びに維持管理費（水やり・肥料・除草）

3　事業費の内訳

・工事請負費　　809千円
・備品購入費　　60千円

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	子どもに優しい芝生園庭整備事業（民間保育園）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
480	国	府	市債	その他	一般財源	
					480	4,705

1　事業の背景・目的

芝生は天然のクッションになり、転倒等による衝撃が緩和され、足の指や足の裏を自由に使って土踏まずの形成を促進し脳を刺激する効果もあります。

成長する子ども達の遊び場として園庭を芝生化することにより、園児が安心・安全に活動し遊ぶことができる保育環境を整備します。

2　事業の内容

平成24年度実施園の民間保育園に対し、維持管理用の芝刈り機の購入補助を行います。

3　事業費の内訳

・負担金補助及び交付金　　480千円

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	放課後児童クラブ運営事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
136,171	国	府	市債	その他	一般財源	
		36,382		28,749	71,040	107,634

1　事業の背景・目的

保護者が就労等で昼間家庭にいない児童に対し、保護者の替わりに放課後や学校休業中に安心して遊び生活できる場を提供するとともに健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援します。

2　事業の内容

放課後児童クラブは、市直営12か所、委託1か所、補助6か所、合計19か所で、平日は放課後から午後7時まで、土曜日と長期休業中は午前7時45分から午後7時まで開設しています。

児童クラブに対する保護者ニーズが多様化・高度化するなか、施設の充実や指導員の資質向上を進め、利用児童の安心・安全な環境整備を推進します。

3　事業費の内訳

・賃金	99,200千円	・委託料	5,663千円
・報償費	129千円	・使用料及び賃借料	20千円
・旅費	14千円	・備品購入費	647千円
・需用費	2,800千円	・負担金補助及び交付金	20,356千円
・役務費	1,142千円	・工事請負費	6,200千円

合　　計 136,171千円

4　主な特定財源

・「のびのび育つ」こども応援事業費補助金	36,382千円
・広告収入（窓あき封筒）	4千円
・放課後児童クラブ利用料金	28,745千円

放課後児童クラブ登録児童数（８月１日現在）

年　　度	常時登録数	長期登録数	合　計
■平成２３年度	５１８人	５２７人	１，０４５人
■平成２４年度	４９５人	５８７人	１，０８２人

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7067　内線 2123

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	学校給食地産地消推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
5,007					5,007	2,148

1　事業の背景・目的

地産地消の推進、農業振興に寄与することを目的として、地場産米と地場産野菜の学校給食への導入を支援します。

2　事業の内容

給食用米穀については、京都府学校給食会より供給される府内産キヌヒカリと福知山産コシヒカリの差額を学校給食会に対して負担します。

給食用野菜については、安心・安全な野菜の生産者であるエコファーマーの野菜について、生産者に支援を行います。

3　事業費の内訳

地場産米学校給食活用支援事業（負担金）

差額　kgあたり19円の差額負担

年間使用量（見込）　118,000kg

負担金　19円×118,000kg×1.05≒2,355,000円

学校給食地場野菜導入支援事業（補助金）

給食センターへの供給額の1/2を補助金として生産者に助成。

補助金　2,652,000円

【平成24年度前期実績633,000円×2（通年）×2（規模拡大）】

『地元の野菜で元気な子』
エコファーマーの皆さんが
手塩にかけて届ける安心安全、
学校給食用野菜の栽培圃場。

担当課	農林商工部 農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	小学校施設空調設備設置事業 中学校施設空調設備設置事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
26,100	国	府	市債	その他	一般財源	
					26,100	0

1　事業の背景・目的

教室に空調設備を設置し教育環境の改善を図ることを目的とします。

このため、電力種別の変更が伴うもの、キュービクル（高圧受電設備）の新設を伴うなどの学校については実施設計を委託します。

２５年度実施設計を実施した学校について翌年度に設置をし、以降順次、全校への設置を計画しています。

2　事業の内容

桃映中、南陵中、惇明小、大正小、庵我小、昭和小、の空調設備設置に係る実施設計業務委託を行います。

3　事業費の内訳

①惇明小学校空調設備設置に係る実施設計業務委託　5,000千円
②大正小学校空調設備設置に係る実施設計業務委託　4,600千円
③庵我小学校空調設備設置に係る実施設計業務委託　2,200千円
④昭和小学校空調設備設置に係る実施設計業務委託　6,900千円
⑤桃映中学校空調設備設置に係る実施設計業務委託　2,800千円
⑥南陵中学校空調設備設置に係る実施設計業務委託　4,600千円

平成23年8月開催
未来からの提言―
ふくちやま中学生議会。

学校へのエアコン導入を提案した六人部中学校の皆さん（写真）のアイデアを順次、全小中学校に展開します。

担当課	教育委員会 教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5114

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	市民参加型まちづくり推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,132	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,132					3,841

1　事業の背景・目的

協働型社会を実現するための具体の方策である『自治基本条例（素案）』や『地域運営のあり方』の仕組みの策定のため、「市民協働推進会議」を開催し（平成２３年度より継続）、市民意識の向上を図ります。

2　事業の内容

（１）市民協働推進会議（市民委員２０名、市民ファシリテーター４名）の開催
　・自治基本条例（素案）の策定
　・地域運営のあり方、仕組みの検討
（２）市民意見交換会の実施（地域公民館等単位で実施予定）
（３）職員研修
（４）シンポジウムの開催

3　事業費の内訳

○報償費（推進会議委員、ファシリテーター謝礼等）　1,627千円
○旅費（講師打ち合わせ等）　70千円
○需用費（用紙、消耗品代等）　243千円
○役務費（郵送料等）　42千円
○使用料（会場使用料）　100千円
○負担金（年会費）　50千円

4　主な特定財源

国庫補助　市町村合併推進体制整備費補助金　2,132千円

市民と行政が協働型社会の実現について検討を深める「市民意見見交換会」の様子
（平成24年8月）

担当課	市長公室	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	地域力再編！パワーアップ支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
500	国	府	市債	その他	一般財源	
	500					0

1　事業の背景・目的

地域の課題や将来の目指す姿を検討するため、地域で（仮称）まちづくり協議会等の組織を立ち上げ、地域ビジョン（地域の将来像）を策定する取り組みをモデル地区を公募して実施します。(中学校区等を想定)

2　事業の内容

限界集落、公共交通、福祉など、水平的な視点で、エリア内活性化を図るための最適エリアを、中学校区単位だけでなく、市町堺、府県堺も含む連携エリアとするまちづくりについて、地域内外の住民による地域振興、地域活性化を目的とした計画策定の支援を行います。

計画の策定に当り、市の関係部署も必要に応じて協議に加わるなどにより協働することとしますが、当該地域の多くの住民の意見を吸い上げる取り組みを必須条件に加えるなど、住民主体の議論による練り上げを原則とします。

策定された計画については、当該地域のまちづくり計画として認定し、具体化を支援することとします。

3　事業費の内訳

○交付金（地域計画等策定に向けた交付金）　　500千円

使途例）・報償費　100,000円　（講演会講師等報償費）
・需用費　170,000円　（アンケート経費等）
・役務費　130,000円　（郵送料等）
・使用料　100,000円　（視察バス借り上げ代等）

※地域団体へ交付金として一括交付する予定です。

4　主な特定財源

国庫補助　市町村合併推進体制整備費補助金　　500千円

担当課	市長公室	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	（仮称）新まちづくり計画策定準備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,588	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,588					0

1　事業の背景・目的

次期総合計画（まちづくり計画）を策定するにあたり、変化する社会経済情勢を踏まえ、市民ニーズや市民サービスに対する満足度を把握し、今後の施策展開における基礎資料として活用します。

手法については、京都府北部地域・大学連携機構との連携プロジェクトとして、調査研究した上で、市民アンケート調査やグループインタビュー等を行います。

2　事業の内容

第４次総合計画後期計画の施策体系による３１施策（節）について、満足度と重要度を調査します。

○調査手法等の研究
○グループインタビュー
○市ホームページ等への掲載
○市民アンケート等の実施
○アンケート内容の分析

3　事業費の内訳

○報償費（委員謝礼）	３００千円
○需用費（用紙、封筒代等）	１４１千円
○役務費（郵送料等）	２７０千円
○委託料（市民アンケート委託費）	１，８６３千円
○使用料（コピー機使用料）	１４千円

4　主な特定財源

国庫補助　市町村合併推進体制整備費補助金　　２，５８８千円

大学生とのグループインタビューのイメージ

担当課	市長公室	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	政策マーケティング（１００人ミーティング）事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,486	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,486					0

１　事業の背景・目的

市民協働の推進やまちづくり計画の策定にあたり、広く市民意見を抽出するため、京都府北部地域・大学連携機構との連携プロジェクトとして（龍谷大学予定)、１００人ミーティングを実施します。

２　事業の内容

無作為抽出により募集・選出した市民１００人により、多様な議題を短い時間で討論していくワールドカフェなどを実施し、市民意見の抽出を行います。

○市民１００人を無作為抽出による選出
○１００人ミーティングの実施
○意見のまとめや分析を大学の連携・協力により行う
○市ホームページ等への掲載

３　事業費の内訳

○報償費（講師等謝礼）	２７０千円
○旅費（講師打ち合わせ等）	２９千円
○需用費（用紙代等）	２７３千円
○役務費（郵送料）	９００千円
○使用料（コピー機使用料）	１４千円

４　主な特定財源

国庫補助　市町村合併推進体制整備費補助金　　１，４８６千円

市民 100 人を無作為選出して 100 人ミーティングを開催します。

担当課	市長公室	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	市民提案アイデア募集事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
433	国	府	市債	その他	一般財源	
	433					0

1　事業の背景・目的

「市民をど真ん中に」据えた市政の実現のためには、計画段階から市民意見を反映させる必要があります。

このため、広く市民のみなさんから、まちづくりについてのアイデアを募集し市民協働の意識向上と市政に参画する機会をつくることにより、地域への関心・郷土愛の醸成につなげます。

2　事業の内容

（1）概要

ふるさと福知山の未来が光り輝くような施策のアイデアを募集し、その中から事業効果が見込まれる提案について具現化をめざします。

（2）方法等

広報ふくちやまやＨＰなどを活用し、広く市民全般からまちづくりに関する提案を募集します。

提案内容を、政策マーケティング（１００人アンケート）事業参加者に審査いただき、優秀賞などを決定し、副賞として市の特産品等を贈呈します。

（3）スケジュール

５月　提案募集受付
７月　応募締め切り
８月　内容精査・ヒアリング（必要に応じて）
＊２６年度以降での具現化をめざします。

3　事業費の内訳

○需用費（賞品代、用紙代等）　３９３千円
○役務費（郵送料等）　４０千円

4　主な特定財源

国庫補助　市町村合併推進体制整備費補助金　４３３千円

担当課	市長公室	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	市民参加型事業評価推進事業（公開事業レビュー）					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
800	国	府	市債	その他	一般財源	
		400			400	0

１　事業の背景・目的

市が行う事務事業について、その手法や成果等を市民とともに評価・検証を行い、「市民をど真ん中に」据えた市政推進の実現に寄与するとともに、評価結果を当該年度又は次年度以降の事業執行に反映させ、事務事業の改善やスクラップアンドビルドによる行政経営の実践を図ります。

２　事業の内容

一般市民で構成される「市民判定人」等による公開事業評価（公開事業レビュー）を実施。

３　事業費の内訳

○報償費　３６３千円
（コーディネーター1名、外部評価者3名、市民評価者2名、市民判定人15名）
○旅費（コーディネーター、外部評価者等旅費）　２１７千円
○需用費（用紙代他）　５０千円
○役務費（郵送料等）　１５０千円
○委託料（看板作成等）　２０千円

４　主な特定財源

府補助金　行財政改革支援等特別交付金　４００千円

平成25年2月3日に
市民会館で実施された
公開事業レビュー

担当課	市長公室	電話	直通 24-7030　内線 3115

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	第三セクター等改革推進債償還基金積立事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
153,583	国	府	市債	その他	一般財源	
				153,583		0

1　事業の背景・目的

公社継承等土地・建物から得られる収益をいったん基金にストックし、三セク債の繰上げ償還に活用します。歳計現金に混在させるのではなく、基金を通すことで収益の累積状況と使用目的を明確にし、三セク債の償還過程について議会・市民と情報共有を図ります。

2　事業の内容

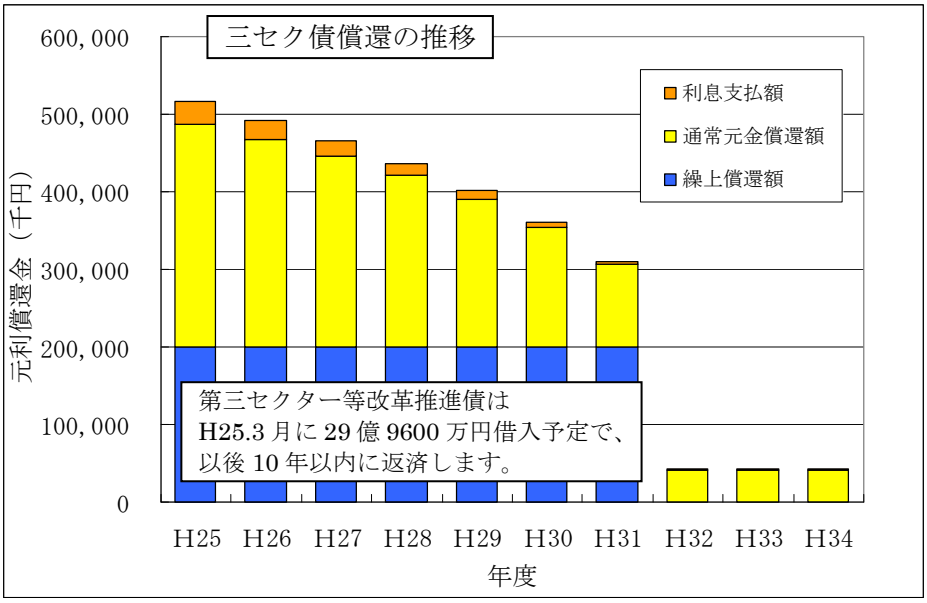
債務保証を履行したことで土地開発公社等から継承した土地・建物にかかる賃借料と売却収入を「第三セクター等改革推進債償還基金」に積立てます。

3　事業費の内訳

基金積立金　153,583 千円

4　主な特定財源

公社継承土地貸付収入　78,984 千円
公社継承土地売払収入　46,000 千円
財団継承土地貸付収入（定期借地）　28,598 千円



土地開発公社等から継承した土地を貸付・売却して得られる収益を基金に積立て、公社の債務解消のために借入れる(H25.3 月借入予定)第三セクター等改革推進債の返済に活用します。

担当課	財政課	電話	直通24－7035　内線3322

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	市立保育園整備計画推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
5,000	国	府	市債	その他	一般財源	
					5,000	4,000

1　事業の背景・目的

公立保育園の建物の多くで老朽化が進んでおり、安心・安全で快適な保育環境を確保するため抜本的な施設改修が必要となってきています。

保育サービスの拡充や施設の適正規模・配置、運営などについて、公・民の特性を活かし、乳幼児期における子育て支援の一層の充実を図るため、統廃合・民営化を進めます。

2　事業の内容

下六人部保育園用地の底地整理、家屋調査等を行います。

3　事業費の内訳

・委託料　　5,000千円

民営化に向け、
境界確定等の
土地家屋調査を
進めます

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	平日の窓口業務取扱時間延長に係る電算システム保守事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
394	国	府	市債	その他	一般財源	
					394	―

1　事業の背景・目的

平成２５年２月より実施する「平日の窓口業務取扱時間延長」に伴い、現行の電算システムの保守契約の平日午後 5 時 15 分までの時間を午後 7 時までに延長します。

2　事業の内容

（1）サポートセンターによるＱ＆Ａ受付対応

（2）システムエンジニアによる電話または訪問対応

3　事業費の内訳

保守管理業務委託料（12か月分）394千円

毎週水曜日は平日の窓口業務を午後7時まで延長（現在試行実施中）―お客様満足度№.１の市役所を目指して5月から本格実施します。

担当課	総務部情報推進課	電話	直通 24-7060　内線 3124

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	総合案内窓口運営事業					新規
予算額(千円)	財源内訳（千円）					前年度予算額
3,778	国	府	市債	その他	一般財源	
					3,778	0

１　事業の背景・目的

案内業務を充実させることで、市役所をより身近な存在とし、来ていただきやすい環境づくりを行います。

２　事業の内容

「お客様満足度ナンバーワン市」を目指し、案内業務を充実するため、フロアマネージャーを配置します。

また、案内業務の支援のため、ディスプレイにより主要な会議等を表示します。

３　事業費の内訳

本庁舎１階玄関付近に総合案内窓口を設置し、臨時職員を常時配置することにより、各課窓口と連携、各種の案内業務等を行います。

・臨時職員賃金　　３，４７８千円

・備品購入費（行事予定表示モニター）　　３００千円

総合案内窓口のイメージ：福岡県大野城市の「まどかフロア」

担当課	市長公室	電話	直通 24-7027　内線 3147

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	６次産業推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,486	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,100			1,386	0

１　事業の背景・目的

米価をはじめとする農産物価格の低迷により、農産物に付加価値をつけて販売することが大切であると考えます。そのため、従来から実施している農産加工組織や新たに取り組む組織に対して加工施設支援を行うことにより、新たな福知山ブランド品の開発が期待でき、加えて販売促進を支援することとし、農家所得の向上を目指します。

２　事業の内容

１）農産加工施設支援事業

（１）農産加工施設支援

農産加工施設整備により規模拡大とブランド品の取り組みを支援する

（２）販売促進支援

農産加工による商品の宣伝・販売経費を支援する

３　事業費の内訳

１）農産加工施設支援事業

（１）農産加工施設支援

・補助率　補助率30%、上限300千円

・補助金　1,200千円(冷蔵庫、オーブン等の施設)

（２）販売促進支援

・補助率　補助率50%、上限200千円

・補助金　　800千円（パッケージ、イベント等宣伝販売経費）

（３）調査活動費

・旅費、需用費等事務費　486千円

４　主な特定財源

みらい戦略一括交付金　　1,100千円

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	地場産農産物ブランド化支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,650	国	府	市債	その他	一般財源	
		2,920			730	0

1　事業の背景・目的

新たな本市のブランド化を図る観点で農業生産法人である有限会社やくの農業振興団が平成22年度より本格的に取り組んでいる「そば」による生産から加工、販売に至る6次産業化の取組を側面から支援することとして、平成23年度に行政支援を行い、さらに平成25年度において生産量の拡大を図るため、堆肥による土づくりを行い本市のブランド化を推進します。

中六人部・田野山田地区でのそばの栽培風景

2　事業の内容

京都府の事業活用を行い、土づくりを行うため、堆肥散布機械の導入支援を行う。

1）事業主体　　（有）やくの農業振興団

2）事業概要　　現在取り組んでいる「そば」の収量の増大と品質の向上を図るため、土づくりを行う堆肥散布機の導入支援

3）事業内容　　そば栽培にかかる生産条件整備支援
機械導入(マニュアスプレッター)

3　事業費の内訳

補助金　３，６５０千円

堆肥散布機　事業費　7,300千円

府補助金　7,300千円×40%＝2,920千円

市費　　7,300千円×10%＝　730千円

4　主な特定財源

京の水田農業総合対策事業費補助金

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業（6次産業モデル事業）					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,200	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,100			1,100	0

１　事業の背景・目的

三岳地域は、６５歳以上が占める高齢化率が４４．１％(平成22年国勢調査)となっており、過疎高齢化が進行しています。高齢者活動促進施設「里の駅みたけ」は、三岳地域の高齢者の活動を支援する施設として平成１１年３月に開設し、平成１８年４月からは指定管理者制度による運営を行っています。

新鮮な地場野菜や特産物の加工品等を販売することにより、農作物の生産意欲と地元雇用に大きな役割を担っていますが、地域の過疎高齢化の進行に伴う本施設の在り方が課題となっています。

こうした中で、昨年９月に「里の駅みたけ」が三岳地域全世帯を対象に「宅配弁当サービスの実施 について」のアンケート調査を行ったところ、実施を望む意見が多くあったことから本施設が地域の高齢者世帯等の日常生活をサポートするために、地産地消推進店として地元食材を使った「宅配弁当」に取り組み、併せて日常の「見守り」を行う活動を支援していきます。

２　事業の内容

平成２５年度から、指定管理者「三岳高齢者活動促進施設運営委員会」が取り組む宅配見守り弁当に必要となる厨房機器及び資材等について支援を行います。

３　事業費の内訳

補助金　　２，２００千円

４　主な特定財源

みらい戦略一括交付金　１，１００千円

見守り弁当宅配事業の拠点となる「里の駅みたけ」の内部と外観。

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4112

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	有害鳥獣捕獲事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
65,984	国	府	市債	その他	一般財源	
		15,000			50,984	58,574

1　事業の背景・目的

本市における、有害鳥獣による農作物の被害増加は、生産者の生産意欲を阻害しているため、福知山市有害鳥獣駆除隊や福知山市有害鳥獣捕獲実施隊の連携を図りながら効果的に有害鳥獣を捕獲し鳥獣被害の軽減を図ります。

2　事業の内容

有害鳥獣の捕獲を行い適正な個体数調整に向けた計画捕獲を行います。

シカ4,000頭・イノシシ600頭の計画

（１）　駆除隊活動委託

有害鳥獣駆除隊に業務委託し鳥獣捕獲対策を進めます。

（２）捕獲実施隊活動委託

週4日（月16日）を8箇月間、有害鳥獣捕獲実施隊に業務を委託し、鳥獣捕獲対策の強化を図ります。

（３）広域捕獲業務委託

府県境に生息する鳥獣を効率的に駆除するため、広域捕獲を実施します。

（４）公用車の更新

クマ出没時の広報活動や災害時の現地調査等に必要なため公用車を更新します。

3　事業費の内訳

報償費40,020千円、旅費73千円、需用費1,004千円、役務費645千円、委託料21,301千円、使用料291千円、備品購入費1,370千円、負担金補助及び交付金 1,242千円、公課費38千円

4　主な特定財源

緑の公共事業（有害鳥獣駆除関係事業）　15,000千円

担当課	農林商工部 林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	有害鳥獣処理施設整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
9,338	国	府	市債	その他	一般財源	
		4,500			4,838	0

1　事業の背景・目的

有害鳥獣対策による捕獲個体の処理は埋設を基本に対応しているが、従事者の高齢化等による労力負担や自然環境等への懸念から、適切な個体処理体制の確立が必要であり、専用の焼却処理施設の整備を検討します。

2　事業の内容

捕獲野生鳥獣（シカ・イノシシ）の焼却処理施設整備に向け、先進地調査や計画策定を行います。

3　事業費の内訳

旅費179千円、需用費13千円、役務費16千円、委託料9,000千円、使用料及び賃借料130千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金　　4,500千円

担当課	農林商工部 林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	中小企業サポートセンター事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
3,026					3,026	2,100

1　事業の背景・目的

市内の中小企業経営を取り巻く環境は厳しく、事業所の減少、デフレの進行に加え、海外経済、為替の動向等の影響により先行きが不透明な状況にあるなか、山積する経営課題の解決をサポートし、中小企業の技術力、人材力、販売力等〝企業力〟の向上を図り、地域経済の活性化をめざします。

2　事業の内容

○機能

企業経営サポート、企業・ビジネスに関するノウハウの習得支援、地域産業活性化施策の立案・実施等

○活動

・企業訪問活動
・行政支援施策、産業関連情報等のネット配信
・セミナー等の開催、市内企業ＰＲ冊子等の発行

3　事業費の内訳

○賃金（臨時職員）	1,215千円
○普通旅費	293千円
○通信運搬費（電信・電話料）	224千円
○その他機器等借上料（ＰＣ・プリンター）	84千円
○（仮称）中小企業等支援機関連絡会議負担金	1,210千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7504　内線 4151

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	公契約条例調査検討事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
228	国	府	市債	その他	一般財源	
					228	0

1　事業の背景・目的

厳しい経済情勢の中、受注競争の激化、それに伴う受注者の利潤の低下、労働環境の低下などから入札契約制度の見直しを進めることで、地域産業や市内業者の育成を図り、労働環境の整備を引き続き行って行くことを目的とします。

2　事業の内容

公契約条例の制定に向けて検討委員会を設置し、調査・研究、パブリックコメントなどに取り組みます。

3　事業費の内訳

委員報酬	120千円
旅費	59千円
需用費	37千円
役務費	12千円

担当課	財務部契約監理課	電話	直通 24-7043　内線 3314

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	夜久野高原花回廊整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
700	国	府	市債	その他	一般財源	
					700	0

1　事業の背景・目的

夜久野高原は「黒ボク」と呼ばれる独特の表土で覆われており、その水はけの良さや、優れた作業性から畑作や樹木育成などに適しており、開墾以来今日まで、夜久野畑での農家によるスイカ・豆・大根・栗・葡萄栽培や、造園関係業者によるサツキ・ツツジ栽培や緑化樹の養成などが行なわれており、京都府、兵庫県双方の緑化センターも設置され、樹木研究と養成の拠点となっている他、京都府緑化センターには毎年春に枝垂桜並木の見学客が大挙して訪れる花の名所となっています。

この好条件を活かし、「夜久野玄武岩台地活性化事業構想」の一環として、道の駅「農匠の郷やくの」を中心に既存の、緑化センターや茶堂、玄武岩公園などの観光スポットを繋ぎ「石仏八十八ヶ所巡りルート」を含む「夜久野高原花回廊」を、地域の協力のもと設定・整備して夜久野高原観光のネットワーク化を進めます。

それにより、夜久野高原への入込客の増加と滞在時間の延長を促進し、観光関連支出の地域投下の条件を拡大して経済循環の輪を広げ、夜久野地域の振興に繋げる目的で本事業を実施します。

2　事業の内容

（1）夜久野高原花回廊検討会の設置

花木等の養成に歴史があり、関係機関や専門家の集積もある夜久野地域で、市民を中心に花回廊事業構想の検討会を設置し、現場検討や最小限の植樹実証も行ないつつ市民の意向を集めて、夜久野高原花回廊のイメージを地域ぐるみで作り上げます。

（2）花回廊石仏等補修等の委託

花回廊構想の主要ルートにあり、現在も散策者の多い石仏八十八ヶ所巡りの石仏補修等を花回廊事業の一環として委託により実施します。

3　事業費の内訳

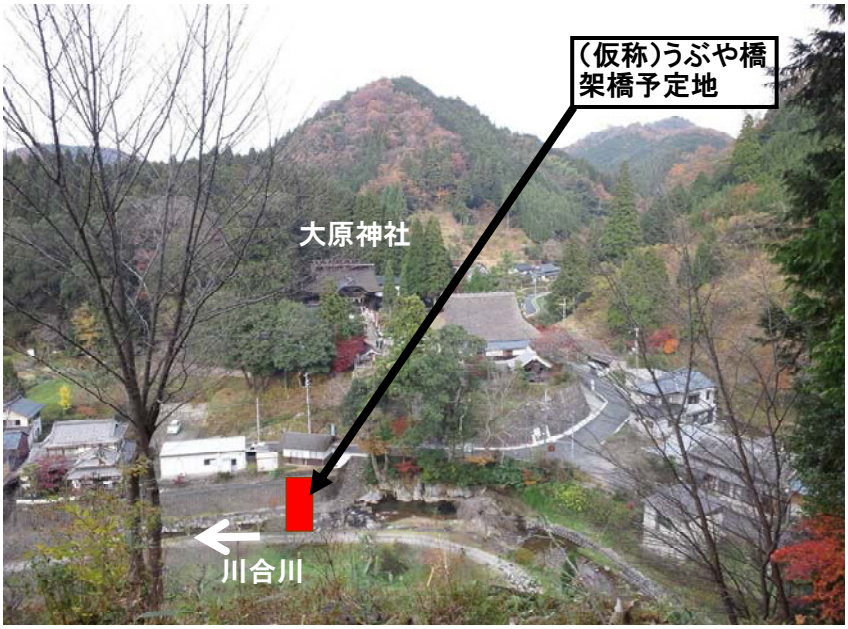
需用費　　100千円
　（会議資料・苗木代100千円）
委託料　　600千円
　（石仏巡り等施設補修）

花回廊構想地域に
点在する石仏のある風景

担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1103　内線 74-9221

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	大原地区産屋周辺整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
10,916			10,800		116	7,000

1　事業の背景・目的



三和町大原地域にある産屋は、全国に残る数少ない産育習俗を伝える京都府指定文化財です。また、産屋を含めた景観や文化財は、平成22年8月に京都府景観資産として登録されています。産屋は、大原神社前を流れる川合川の対岸に位置しており、産屋へ行くルートとしては、川合川に設けてある飛び石を渡るか、歩道のない国道173号を通るしかありません。雨天時に河川が増水すると飛び石の通行が困難になります。

こうした状況を回避するため、川合川に、産屋周辺の景観にマッチした歩道橋を設置することとし、今年度は詳細設計等を行い、文化財の保護と同時に、観光資源を安心して、安全に周遊できるようにします。

事業期間：平成24年度～平成27年度

2　事業の内容

平成24年度　　基本設計
平成25年度　　詳細設計、用地買収・家屋補償等
平成26年度　　橋梁・下部工工事、上部工工事等
平成27年度　　周辺工事

3　事業費の内訳

旅　費　　26千円
委託料　　10,700千円（詳細設計業務、建物調査委託料ほか）
公有財産購入費　　190千円

4　主な特定財源

過疎対策事業債　　10,800千円

担当課	地域振興部三和支所	電話	直通 58-3001　内線 73-9111

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	三段池公園カルチャーパーク整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
100,120	国	府	市債	その他	一般財源	
	50,000		45,000		5,120	31,014

１　事業の背景・目的

文化・スポーツ・レクレーション活動など、多目的な総合公園としてさらに整備を進めます。

２　事業の内容

三段池公園において、動物園の拡張整備・園舎建設を行うとともに、テニスコートの増設等を行います。

動物園の拡張については、現動物園の南側を拡張し、レッサーパンダ舎の建設や拡張部分の園路・外壁等の整備を行い、来春に公開する予定としております。

テニスコート増設においては、現在の１４面のコートに２面を追加整備し、大規模な大会が誘致・開催しやすい規模に整備します。

３　事業費の内訳

・動物園の拡張に伴う園舎の建設・園路等の整備　30,000千円
・テニスコートの２面増設等　70,000千円
・事務費　120千円

４　主な特定財源

・補助金　50,000千円
・起債　45,000千円

テニスコート２面拡張整備予定地

平成26年春公開を目指し、レッサーパンダ舎などを整備します。

担当課	土木建設部都市計画課	電話	直通 24-7052　内線 4313

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	スポーツ合宿補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,500	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,500	1,673

1　事業の背景・目的

本市のスポーツ資源を有効に活用し、スポーツ合宿を通して人の交流促進を図り地域の活性化につなげるため、合宿誘致に取り組みます。

ただし、7月・8月本市の合宿繁忙期を除く期間（10か月限定）とし、空き施設が多い平日を中心に合宿を促進し、施設の有効活用を図ります。

2　事業の内容

合宿で本市に来られる人、団体に対して補助金交付要綱に則り補助金を交付し、合宿費用の一部を補完します。

※補助金の交付額

１回の合宿延べ宿泊日数が20人泊以上の団体（監督、顧問、コーチなどの指導者含む）とし、１団体あたり20万円を限度として、大会宿泊を除いた月曜日から金曜日までの宿泊日数に2,000円を乗じた額を補助金とします。

3　事業費の内訳

1,500千円

【内訳】

補助金	1,500,000円
計	1,500,000円

担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通24－7069　内線5147

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	元気出す地域活力支援事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,800	国	府	市債	その他	一般財源	
				2,800		2,600

1　事業の背景・目的

地域振興基金を活用した事業を展開します。

地域の活力向上や課題解決に向け、地域住民が主体的に参画する団体が、実効性のある地域活性化事業を行うことにより、当該地域はもとより福知山市の活性化に資することを目的として支援します。

2　事業の内容

福知山市元気出す地域活力支援事業補助金交付要綱に基づき予算の範囲内において補助金を交付します。

【一般枠】補助率　　3分の2以内　　補助上限額100千円
【若者創造枠】補助率　10分の10以内　補助上限額200千円
※団体の構成員の平均年齢が30歳未満の団体を対象とする。

〔拡充事業〕
【起業準備支援枠】補助率　3分の2以内　補助上限額100千円

市民団体が主体的におこなっている地域活性化事業や高齢者の生きがいづくり事業を発展させ、特に周辺地域における新たな起業やビジネスモデルの立ち上げ準備を支援します。

3　事業費の内訳

負担金補助及び交付金2,800千円
【一般枠】　　100千円×20件＝2,000千円
【若者創造枠】　200千円×　3件＝　600千円
【起業準備支援枠】100千円×　2件＝　200千円〔拡充分〕

4　主な特定財源

地域振興基金2,800千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3131

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	世界鬼学会運営補助事業					継続
予算額(千円)						前年度予算額
720	国	府	市債	その他	一般財源	
					720	720

1　事業の背景・目的

日本の鬼の交流博物館内に事務局を置く世界鬼学会への運営補助を主な目的とするもので、鬼に興味関心を抱く会員数は全国より450人の登録があります。世界鬼学会会員をはじめ鬼に係わる施設との情報収集や情報発信、ヒューマンネットッワークづくりや大江山の鬼を全国にPRするための役割を担っています。また、これまで長年にわたって蓄積された鬼情報の発信力を生かし、全国に福知山市の鬼文化をPRする効果や大江山および鬼博物館への集客効果を持っています。

2　事業の内容

古来人類が鬼に託してきたユーモアとペーソスにふれながら、文化の深層を考え、豊かな未来を築くことを目指すため、一般市民を対象とした鬼シンポジウムを年一回開催するともとに会報(2012.3現在第16号まで刊行)を発行します。

3　事業費の内訳

【補助金】　720,000円

内訳

・講師謝礼　100,000円×2人＝200,000円
・消耗品費(垂幕、横幕、資料・パンフレット紙)　171,000円
・旅費　40,000円
・世界鬼学会会報印刷代　515円×600冊＝309,000円

鬼シンポジウム2012開催風景

(左：糸井通浩氏講演会　　右：千本ゑんま堂大念佛狂言)

担当課	教育委員会 生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5151

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	大雲水辺の里づくり事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
200	国	府	市債	その他	一般財源	
					200	200

1　事業の背景・目的

大江地域は由良川流域の自然と歴史に育まれた地域で、由良川は当地域にとって母なる川であると共に、洪水など災害の源でもあり、この由良川との共存が大きな課題となっています。そこで母なる川由良川の水運の歴史や水資源に着目し、水に親しめる川づくりを推進し、川を通しての地域間交流の推進、人々の交流の場を創出します。

2　事業の内容

大雲の里を拠点に、水上交通としての川・水運の歴史のある川・こどもの遊び場としての川・水産資源の宝庫としての川・森と海の接点としての川の価値を再認識し、その利活用を考えます。

(1)由良川に生息する魚等、生態系の調査・PR
(2)川下りの実証実験による河川・河岸の現況調査
(3)舟の取得・維持管理方法の検討
(4)運航主体の検討
(5)大雲の里およびその周辺の資源調査及び連携の可能性検討

3　事業費の内訳

大雲水辺の里づくり研究会補助金　　200千円

平成24年7月16日実施の川下りの風景

担当課	地域振興部大江支所	電話	直通 56-1102　内線 75-9322

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	名勝大江山調査事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
3,000				3,000		2,000

1　事業の背景・目的

「文学と伝説の山　大江山」を主題として複数の専門家からなる検討会を設置し、文学とのかかわりの検証と伝説の保護のため必要な情報の集約をはかるとともに国指定名勝地候補としての基礎資料を得るために調査を実施します。

2　事業の内容

調査は2ヶ年継続調査とし、1年目は全体計画の策定のため調査委員会を設置するとともに、保護地域の検討のため土地関係の調査を行います。2年目は引き続き、土地権利関係の調査を行うとともに、歴史・文学・伝説にかかる悉皆調査を行い、報告書の刊行を行います。

事業期間　平成24～25年度

3　事業費の内訳

総事業費3,000千円

【賃金等】	臨時職員賃金	140千円
【報賞費】	委員、調査員謝礼	264千円
【旅　費】	委員、調査員、担当者旅費	350千円
【需用費】	消耗品、燃料費、印刷製本費	431千円
【委託料】	悉皆調査委託、土地調査委託	1,700千円
【その他】	郵送料、レンタカー・会場借上料	115千円

4　主な特定財源

名勝に関する特定の調査事業委託金(文化庁)　100%委託金

担当課	教育委員会 生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5151

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	鉄道利用促進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
950	国	府	市債	その他	一般財源	
					950	1,100

1　事業の背景・目的

「鉄道のまち」として、鉄道とともに発展をしてきた本市にとって、鉄道は現在においても沿線地域の人々の貴重な移動手段であるとともに、地域産業・経済の発展のためになくてはならない公共交通です。

ところが近年、車社会の著しい進展とそれにあわせた高速道路網の整備が進むなど様々な社会情勢の変化の中で、利用者数は減少を続け、地方における鉄道の状況は非常に厳しいものとなっています。

こうした中、今後も北近畿のくらしや経済を守り続けていくためには、鉄道網の整備・拡充を推進する必要があります。そこで、本市においても鉄道に対する市民意識の高揚と利用促進を図るため、市内関係団体で組織する福知山市鉄道利用増進協議会が行う事業に対し支援を行います。

2　事業の内容

鉄道の利用促進を図るため、福知山市鉄道利用増進協議会が行う鉄道利用増進事業に対し補助金を交付します。

① 鉄道通学定期券（大学等）購入助成
② 鉄道団体利用助成（学生等）
③ 利用促進啓発事業

3　事業費の内訳

福知山市鉄道利用増進協議会補助金　　950千円

年間200万人もの人が利用する福知山駅。
鉄道の利便性の向上と複線化に向け、関係機関へ働きかけます。
また関係自治体と協力してKTRの安全で快適な運行の維持に努めます。

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2231

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	（仮称）市民交流プラザふくちやま建設事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,787,900	国	府	市債	その他	一般財源	
	514,000	0	1,209,300	0	64,600	1,137,100

１　事業の背景・目的

まちの中心(顔)である福知山駅北周辺に、「まちと人・人と人をつなぐ交流空間の創造」を基本コンセプトとし、子どもから高齢者まで多くの市民が気軽に「学ぶ・集う・支える」機能を備えた施設を整備します。市民の生活・学習・文化活動を支援し、まちに活気と賑わいをもたらし中心市街地の活性化に寄与する複合施設を建設します。

２　事業の内容

（１）施設の概要

ア　用途：複合施設
　　（図書館、生涯学習機能、京都ジョブパーク北部サテライトほか）

イ　構造：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造

ウ　規模：地上４階

エ　建築面積：２，００１．４４㎡

オ　延床面積：６，６６３．９３㎡

カ　駐車場：１０３台（うち車いすマーク駐車場５台、施設管理用２台）

（２）開館までの工程（予定）

年度等	工事内容等
２４	・駅前市営駐車場の解体等 ・本体建設工事着工
２５	・建設工事
２６	・開館

３　事業費の内訳

（１）継続費（２ヶ年）

年度等	内　訳
２４	１，１１６，０００千円
２５	１，７０４，０００千円

※　工事請負費、施工監理業務委託料

（次ページに続く）

（２）総事業費

	内　容	事業費	財源内訳		
			国補助	合併特例債	一般財源
平成24年度	【継続費】 施工監理委託	12,000	0	11,400	600
	建設工事	1,104,000	281,000	781,800	41,200
	小　計	1,116,000	281,000	793,200	41,800
	【単年事業】 駐車場解体・整地	20,000	8,000	11,400	600
	事務費等	1,100	0	0	1,100
	小　計	21,100	8,000	11,400	1,700
	合　計	1,137,100	289,000	804,600	43,500
平成25年度	【継続費】 施工監理委託	48,000	0	45,600	2,400
	建設工事	1,656,000	514,000	1,084,900	57,100
	小　計	1,704,000	514,000	1,130,500	59,500
	【単年事業】 館内家具	83,000	0	78,800	4,200
	事務費等	900	0	0	900
	小　計	83,900	0	78,800	5,100
	合　計	1,787,900	514,000	1,209,300	64,600
H24～H25　合計		2,925,000	803,000	2,013,900	108,100

４　主な特定財源

国庫補助金　暮らし・にぎわい再生事業　　５１４，０００千円
市債　　合併特例事業債　　１，２０９，３００千円

平成26年春にオープン予定。誰もが利用しやすい交流施設を造ることで、まちの魅力を高め、交流人口の増加を図ります。

担当課	市長公室	電話	直通 24-7030　内線 3115

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	（仮称）市民交流プラザふくちやま図書館資料購入事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
47,700	国	府	市債	その他	一般財源	
				47,700		60,000

1　事業の背景・目的

（仮称）市民交流プラザふくちやま基本計画に基づき、新図書館中央館の開館に向けて、資料整備を図り、図書館の魅力を増し、本を介した交流の場、地域の情報拠点としての機能を高めます。

2年計画の最終年度にあたり、資料の整備を行います。

2　事業の内容

①閲覧用図書購入経費　44,053千円（約17,316点）

・図書資料　　40,919千円（約16,500点）

・視聴覚資料　　3,134千円（約　　816点）

②書誌データ及びＩＣタグ作成業務委託料　　3,647千円

・　書誌データ　　2,192千円

図書分　　90円×16,500点×1.05≒1,559千円

ＣＤ分　　800円×690点×1.05≒580千円

ＤＶＤ分　　400円×126点×1.05≒53千円

・ＩＣダグ　　80円×17,316点×1.05≒1,455千円

3　事業費の内訳

委託料／製作・作成業務／書誌データ及びＩＣタグ作成業務委託料　3,647千円

備品購入費／図書／閲覧用図書　　44,053千円

4　主な特定財源

ふるさと創生基金繰入金　　47,700千円

担当課	教育委員会 図書館中央館	電話	直通 22-3225　　内線 5162

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	(仮称)市民交流プラザふくちやま図書館システム・設備等整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
38,650	国	府	市債	その他	一般財源	
	19,325		17,900		1,425	0

1　事業の背景・目的

「（仮称）市民交流プラザふくちやま」の中核施設として建設を進めている新図書館中央館において、資料の貸出や返却など利用者の利便性の向上と、業務の効率化を目指した図書館サービスの充実が求められております。

こうした資料の適正な維持管理を図るため、自動貸出機やBDS（資料盗難防止装置）を設置するとともに、施設規模の拡大による利用者用パソコン、業務用パソコン端末を増設します。

2　事業の内容

図書館業務システム機器の整備（38,650千円）

・自動貸出機4台、BDSセキュリティーゲート1式、パソコン端末の購入
・上記、図書館業務システムの導入委託
・AVブース等機器の購入

〔自動貸出機イメージ〕

3　事業費の内訳

①備品購入費　32,250千円
②委託料　システム整備導入委託　6,400千円

4　主な特定財源

・暮らしにぎわい再生事業補助金　19,325千円（38,650千円×1/2）
・ 合併特例事業債　17,900千円（37,800千円－18,900千円）×95%

担当課	教育委員会 図書館中央館	電話	直通 22-3225　　内線 5161

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	敬老乗車券事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
13,749				5,450	8,299	0

1　事業の背景・目的

路線バス及び北近畿タンゴ鉄道株式会社（KTR）の利用を促進し、高齢者の通院や買物等の移動手段の確保を図るとともに、高齢者の社会参加を促すことを目的に、75歳以上の高齢者に対し、路線バス及びKTRの乗車券として利用できるお得な助成券を販売します。

2　事業の内容

① 対　象

市内に住所を有し、その年度に、年齢が75歳以上になる方。

② 助成券の内容

・市内を運行する全ての路線バス及びKTRの乗車券として利用できる助成券を、1シート1,000円分（100円券×10枚つづり）として、3シート（3,000円分）を500円で販売します。

・助成券の購入は、同一年度ひとり9,000円分を限度とし、有効期限は購入した年度の翌年度末とします。

＊販売は市役所及び各支所で行います。

＊助成券は、作成年度が判るように年度ごとに色分けして作成します。

＊バス運行事業者及びKTRには、利用された助成券相当額を補助金として交付します。

③ 実施予定時期　　平成25年10月

3　事業費の内訳

需用費　　249千円

補助金　　13,500千円

4　主な特定財源

敬老乗車券販売収入

2,250千円

敬老乗車券事業（過疎基金）

3,200千円

敬老乗車券でバスとＫＴＲがますますお得になります。

お買い物にお出かけにご利用いただくことで、地域の公共交通がもっと身近に。

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2232

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	（仮称）福知山市発達支援センター整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
5,148	国	府	市債	その他	一般財源	
					5,148	2,467

1　事業の背景・目的

発達に課題のある子どもとその保護者を支援していく拠点施設として福知山市障害児通園療育センター「くりのみ園」を開設しています。

くりのみ園の通園希望児童は増加している状況であり、「のびのび福知っ子就学前発達支援事業」により発達に課題のある児童の早期発見のための体制は一定整備出来ましたが、事後支援が不十分な状況です。

発達に課題のある子どもとその保護者を支援し、子どもの発達を保障していくため「くりのみ園」を整備するとともに、支援体制の強化を図ります。

2　事業の内容

（仮称）福知山市発達支援センター基本計画に基づき、くりのみ園で行っている療育の拡充を図るため、基本設計を実施します。

3　事業費の内訳

- 報酬　100千円
- 旅費　28千円
- 需用費　20千円
- 委託料　5,000千円

福知山市障がい児通園
療育センターくりのみ園
の概観

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	地域で支えるみんなに優しい健康・福祉のまちづくり					
事業名	「絆」プロジェクト事業【市民協働枠】					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,500	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,500	0

1　事業の背景・目的

手話や要約筆記は、聴覚、音声、言語に障害のある人のコミュニケーション手段を確保する上で、社会参加（日常の買い物や外出、スポーツ、観劇など）、市役所や事業所における手続き、災害時の避難支援、日ごろの見守りなどに大切な役割を担っています。

また、要約筆記は難聴の高齢者などにとっても、有効なコミュニケーション手段のひとつとなります。

本市では、第2次地域福祉計画に基づき、人権尊重を基本に、住民相互の理解・補完・協働によって誰もが安心して暮らせる地域づくりと社会参加を促進するとともに、福祉文化を創造しユニバーサル社会の形成を推進します。

そのひとつとして、市民とともに策定した「絆」プロジェクト事業を実行します。

2　事業の内容

(1) 市役所窓口において、聴覚、音声、言語に障害のある人等との情報交換や意思疎通の手段として、手話や要約筆記ができる職員を養成するとともに、筆談用ボードを整備します。

(2) 聴覚、音声、言語に障害のある人の社会参加を促進するため、企業や事業所に対して簡単な手話の出前講座を開催し、手話の普及・啓発を行います。

(3) 地域住民に対して、聴覚、音声、言語に障害のある人の生活・福祉制度についての理解と認識を深めるための講座を開催します。

3　事業費の内訳

・報償費　　1,320千円
・需用費　　90千円
・備品購入費　　90千円

市内の手話サークルの活動の様子。市役所でも手話の習得を進めます。

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7088　内線 2112

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	男女共同参画センター設立事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
206	国	府	市債	その他	一般財源	
					206	0

1　事業の背景・目的

福知山市男女共同参画推進条例第17条において、男女共同参画の推進に関する活動を支援するための拠点施設の整備に努めることを定めています。また、男女共同参画計画でも、男女共同参画社会の実現に向けて「教育・啓発」「保護・救済」「協働・支援」を推進するための拠点施設の設立を目指すこととしています。センターの設立により、女性団体等の活動支援やDV被害者やセクシュアル・ハラスメント等の相談・支援体制の充実、男女共同参画の啓発を推進します。

2　事業の内容

・男女共同参画センター設立にかかる女性団体等のニーズの把握
・男女共同参画センター設備等の機能の検討

3　事業費の内訳

報償費　175千円（講師料）
旅　費　　7千円（特別旅費）
需用費　 11千円（消耗品費、燃料費）
役務費　　2千円（通信運搬費）
委託料　　8千円（運転代行）
使用料及び賃借料　3千円（駐車料・高速通行料）

担当課	市民人権環境部 人権推進室	電話	直通 24-7022　内線 2222

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	平和事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
550					550	544

1　目　的

「恒久平和宣言都市　福知山」を広く市民に浸透させるために、平和事業の参加者が、市民に向けて平和の大切さを訴えることで、生命の尊さと人権意識の高揚を図ります。

2　事業の内容

・長崎平和学習の旅

市内に在住、在学する高校生などを対象とし、被爆地長崎で開催される平和事業に参加します。参加者は高校生４人、指導者１人。長崎での研修は、長崎市の主催する「青少年ピースフォーラム」への参加とフィールドワークを中心に行います。

事前事後の学習会を実施するとともに、人にいちばん近いまちづくり事業（人権を考える市民の集い）等で参加報告を行うほか、各学校の文化祭等で啓発活動を行うなど、学習成果を広く啓発していく活動を進めます。

また、「日本非核宣言自治体協議会」「世界連邦宣言自治体協議会」「平和市長会議」に加盟し、平和の大切さを訴えます。

3　事業費の内訳

講師謝礼：10千円（フィールドワーク）　　旅費　：406千円（普通・研修）
需用費　：20千円（消耗品、燃料、印刷製本費）
役務費　：　1千円（通信運搬費）
委託料　：15千円（運転代行業務委託）
使用料及び賃借料　　：15千円（駐車料・高速道路等通行料）
負担金補助及び交付金：83千円（研修等参加負担、協議会分担金）

「長崎平和学習の旅」（写真）
（平成24年8月8日から8月10日）
福知山市から市内高校生3人が参加
平成24年8月9日（原爆投下日）
浦上川付近　万灯流し

担当課	市民人権環境部 人権推進室	電話	直通 24-7022　内線 2221

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	まちなか若者にぎわいプロジェクト推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
400	国	府	市債	その他	一般財源	
					400	0

1　事業の背景・目的

街コンの開催により、中心市街地の回遊性及びまちなか観光・商店街活性化を図ります。

企画段階より若者が主体となって、出会いや賑わいの創出によるあらたな福知山市の魅力を発見します。

2　事業の内容

（1）概要

全国で実施されている「街コン」等、まちなか活性化事業を参考にし、企画・立案・運営について、まちづくり団体を主体として、福知山市独自の事業を実施します。

商店街やゆらのガーデン、各観光スポットでの回遊タイムやまちなか循環路線バス及び観光ルート等の活用や定住促進をコンセプトとして事業計画を策定し実施します。

（2）運営

まちづくり団体を中心にした企画・立案・運営によりに実施を計画します。

（3）予算等　　参加者負担金及び、交付金。

3　事業費の内訳

400千円（まちづくり団体への交付金）

・内容　　チラシ印刷・チケット製作、事務費、広告宣伝費等

4　その他

・本事業は平成24年度職員提案事業による提案です。

・まちの活性化、婚活、若者参加、商工・観光の発展など、多目的な事業であり、市民の主体的な企画・運営を行政がサポートしていきます。

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3131

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	広報ふくちやま発行事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳（千円）					前年度予算額
11,246	国	府	市債	その他	一般財源	
				370	10,876	8,875

1　事業の背景・目的

「広報ふくちやま」は市政を広く市民の方にお伝えし、市政への理解と信頼関係を深める重要なツールとなっています。

「広報ふくちやま」が今以上に多くの方の情報源としての機能を果たし、読みやすく市民とともに作る、親しみやすい広報紙となるよう事業を拡充します。

2　事業の内容

・自治会を通じて全世帯に各戸配布（月２回※１月・５月は１回）
・拡充事業
　①「広報ふくちやま」表紙（表裏４ページ）のカラー化
　②ふくちやま倶楽部との統合

3　事業費の内訳

・報償費（ドッコイセリポーター研修会講師謝礼）　２０千円
・旅費（ふるさとPR事業）　６０千円
・需用費（広報ふくちやま印刷　）　１０，５４４千円
・役務費（ドッコイセリポーター保険料、郵送料、運搬料）　３７０千円
・備品購入費（編集ソフト）　２５２千円

4　主な特定財源

広告収入　　３７０千円

ドッコイセリポーターが取材した話題などをカラー誌面でお届けします。リポーターへの応募、また広告の掲載もお待ちしています。

担当課	市長公室	電話	直通 24-7000　内線 3144

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	委員会等ライブ中継事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,577	国	府	市債	その他	一般財源	
					2,577	0

1　事業の背景・目的

開かれた市政と市民協働でつくるコミュニティー豊かな自立したまちづくりを推進するため、委員会による審査状況や各種会議の協議状況をライブ中継や録画配信を行なうことにより、市民に情報をリアルに提供することができ、市民満足度を向上します。

（予算・決算審査特別委員会と請願の協議に限定して実施します）

2　事業の内容

予算決算審査特別委員会等の委員会による審査状況や会議の状況を中継用カメラ４台等の設備機器の設置によりライブ中継とともに録画配信を行います。

3　事業費の内訳

カメラによるライブ中継設備やシステム構築に要する工事請負費
2,050千円
稼動に必要なシステムを利用する使用料
527千円

平成24年10月の決算審査特別委員会の様子。秋からはネットでもライブ中継をご覧になれます。

担当課	市議会事務局	電話	直通２４－７０３１ 内線５３１２

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	議会報告会事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
30	国	府	市債	その他	一般財源	
					30	0

1　事業の背景・目的

　議会報告会を開催し、市民に対して政策提言や議会活動の状況を報告するとともに議会活動に対する意見、市政に対する提言を聴き、市民の意見・要望を基に市政を推進します。

2　事業の内容

　議員が地域に出向き、直接、市民に対して政策提言や議会活動の状況を報告・説明を行うとともに議会活動に対する批判や意見、市政に対する提言などを聴きます。

3　事業費の内訳

　議会報告会開催場所使用のための施設使用料・入館料等　30 千円

平成24年度に開催された議会報告会の一場面

担当課	市議会事務局	電話	直通２４－７０３１ 内線５３１１

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	施設マネジメント事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
4,800	国	府	市債	その他	一般財源	
					4,800	0

1　事業の背景・目的

市有財産のうち、行政財産として取り扱われてはいるが、実態は未利用状態にあるもの、施設の用途廃止により遊休状態にあるものについて、現状と課題を明確にし、その利活用についての基本方針を定めることにより、市民共有の財産の適正な管理と、公平・公正で透明性のある利活用を推進するため、市有財産の総合的・計画的な活用対策が必要となっています。

2　事業の内容

平成２５年度

資産活用基本計画の策定

基本計画の内容

①　福知山市公共施設の総量把握及び将来更新費用の推計

②　福知山市が保有する公共施設の現状と課題の整理

③　公共施設に関する基本方針

ア　目標設定

イ　公共施設に係るコストの縮減

ウ　総括組織の設置

エ　資産の有効活用

平成２６年度

公共施設利活用計画の策定

活用計画の内容

①　基本方針に基づく施設別活用計画の策定

②　実施手順

3　事業費の内訳

・資産活用基本計画策定業務委託　4,800,000円

担当課	財務部資産活用課	電話	直通 24-7068　内線 4321

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	市有地販売促進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
600	国	府	市債	その他	一般財源	
					600	0

１　事業の背景・目的

市有地・公社継承地・保留地等の早期処分を行い、地方財政の健全化を図ることを目的に、住宅購入資金融資に係る利子を対象とした補給金を交付し市有地販売のインセンティブを図ります。

２　事業の内容

平成 25 年度から 26 年度に金融機関から融資を受け、市有地を購入した市民の住宅購入資金融資に係る利子を対象とした補給金を交付します。

補給額については、市有地の販売金額に100分の１を乗じて得た額を限度に、第１回目の償還日から５年間（60回分）の利子支払実績額を市が補助します。

また補給金は、資金の償還実績に対して、資金の償還を開始する年の翌年から年１回の補給を予定しています。

３　事業費の内訳

債務負担行為による。

交付見込　H25年度　（市有地販売金額）600万円/筆×1/100×10件×5年間

　　H26年度　（市有地販売金額）600万円/筆×1/100×10件×5年間

市有地販売チラシの一例。
販売促進のため、ご購入頂いた方の借入利息を市が新たに補助します。
売却物件は市のホームページにも掲載しています。

担当課	財務部資産活用課	電話	直通 24-7038　内線 3312

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	合併算定替逓減対策基金積立事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
207,124				207,124		0

1　事業の背景・目的

現在福知山市の普通交付税交付額は、合併算定替の特例によって平成 24 年度ベースで約 19 億 4000 万円の加算措置を受けています。この加算措置が平成 28 年度から平成 33 年度にかけて段階的に縮減されることが決定されており、市の財政運営に大きな影響を与えることが予想されます。

本事業は合併算定替が段階的に縮減されることを見越し、将来起こりうる財源不足の際に取崩してこれを活用するため、現在の交付税加算措置額と行政改革による効果額の一部を積立てるものです。

2　事業の内容

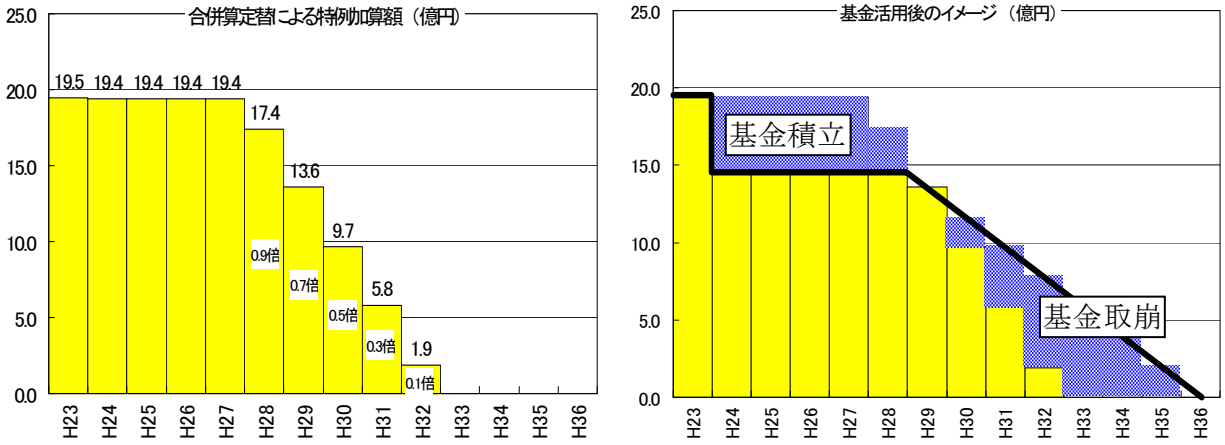
第５次行政改革削減効果額 31 億 4000 万円と第三セクター等改革推進債償還額のうち一般財源対応予定分 9 億 2000 万円との差額約 22 億円を目標として合併算定替逓減対策基金に積み立てます（H24～H28）。

3　事業費の内訳

基金積立金　　207,124 千円

4　主な特定財源

ガス事業剰余金収入　　205,524 千円
ガス事業出資金譲渡収入　　1,600 千円



合併算定替による特例加算額の逓減（左図）と、基金活用後のイメージ（右図）

担当課	財政課	電話	直通２４－７０３５ 内線３３２２

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	高校生定期乗車券補助事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,690	国	府	市債	その他	一般財源	
				1,503	2,187	3,690

1　事業の背景・目的

市内高校生の通学において、三和・夜久野・大江地域などの遠隔地から路線バスなどを利用して通学する生徒の保護者の経済的負担は非常に大きく、公共交通の利用者減少の要因にもなっています。

こうしたことから、路線バスや鉄道を利用して遠距離通学する高校生の定期乗車券購入費用の一部を助成することにより、保護者の負担を軽減し、高等教育の機会均等を図るとともに、公共交通のさらなる利用を促進することを目的に本事業を実施します。

2　事業の内容

過去2年間の制度利用状況等を確認する中で、さらなる利用促進を図るため補助対象範囲の一部見直しを行います。

対象範囲の見直し

現行：京都府内の公立高等学校もしくは市内の私立高等学校

改定：京都府内の高等学校（対象範囲の拡大）

① 対　　象

路線バスや鉄道の通学定期券を購入し、京都府内の高等学校へ通学する市内在住の高校生の保護者を対象とします。

② 補助基準

通学定期券購入金額が１か月の金額で7,200円を超える場合、超えた額の75%相当額を補助金として交付します。ただし、複数月にわたる定期券の場合は、1か月当たりに換算した金額を基準とします。

＊補助金額は100円未満の端数切捨て

＊補助対象となる1か月当たりの購入金額の上限額は22,100円

3　事業費の内訳

事務費（需用費・役務費）　150千円

補助金　3,540千円

4　主な特定財源

高校生定期乗車券補助事業基金繰入　1,503千円

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2231

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	市バス整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
4,000			4,000			7,000

1　事業の背景・目的

現在、運行している市バスは、三和地域4台、夜久野地域3台、大江地域2台の合計9台あり、老朽化した車両を計画的に更新し、市バスの安全な運行を確保します。

2　事業の内容

平成25年度は、三和地域の細見線を運行している車両を更新します。

更新対象車両：乗合自動車（15人乗り）
3,000cc、ディーゼル車
平成13年取得、走行距離51万km

購入予定　　平成26年3月

3　事業費の内訳

バス購入費	3,345千円
需用費（消耗品費）	540千円
登録手数料等	95千円
自動車重量税	20千円

4　主な特定財源

市バス整備事業（過疎対策事業債）　　4,000千円

平成24年度に更新した夜久野地域の市バス。これと同型のバスを整備し、安全快適な運行を図ります。

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2232

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	交通空白地域移送サービス支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
3,000				3,000		3,000

1　事業の背景・目的

三和・夜久野・大江地域等の鉄道やバス路線から離れた交通空白地域においては、通院や買物等の移動手段の確保が大きな問題となっています。現在、NPO法人3団体が過疎地有償運送実施団体の登録を受け、当該地域の登録会員の移送を行っています。

交通空白地域にお住まいの方の持続可能な交通手段を確保するため、活動事業に対する補助金により支援を行います。

2　事業の内容

過疎地有償運送実施団体に対し、1団体100万円を上限として補助金を交付します。ただし、運行収益が補助対象経費の20分の11に満たない団体は適用外とします。

補助額は、補助対象経費から交通空白地域移送サービス事業によって得た収益及び会費、その他市長が認める収益を控除して得た額に10分の7を乗じた額とします。

3　事業費の内訳

過疎地有償運送実施団体収支欠損補助金　　3,000千円

4　主な特定財源

交通空白地域移送サービス支援事業基金繰入　　3,000千円

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2232

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	街路事業（多保市正明寺線　高畑工区）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
114,900	国	府	市債	その他	一般財源	
	56,100		41,300		17,500	170,267

1　事業の背景・目的

現高畑橋は昭和35年に架設されてから50年以上経過し、橋面・高欄の損傷等、老朽化が著しく進んでいます。また、幅員4.5mと狭小で歩道がなく、交通渋滞や歩行者の安全な通行に支障を生じ、地元自治会及び利用者から早期整備が望まれています。

(仮称)新高畑橋の架け替え事業は、橋長178m、車道幅員を7mに拡幅し、両側に2.5mの歩道を設けるものです。

新橋完成により、福知山市東部と中心市街地とのアクセスを強化と長田野工業団地と国道175号との交通の流れも円滑となり、また歩行者にとっても安心・安全な通行確保が図ることができます。

2　事業の内容

[仮称]新高畑橋築造

橋脚1基(3基のうち)、旧高畑橋及び水管橋撤去予備設計]他

3　事業費の内訳

委託料

・高畑橋撤去予備設計　5,000千円

・水管橋撤去予備設計　4,000千円

その他の業務委託

・現場技術業務　7,000千円

・道路用地維持管理業務　900千円

工事請負費

・P2橋脚工１基　90,000千円

・取り合い道路築造　8,000千円

4　主な特定財源

・補助金　56,100千円

・起債　41,300千円

高畑橋現況。水内側から撮影。

担当課	土木建設部都市計画課	電話	直通 24-7050　内線 4315

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	中心市街地活性化関連道路整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
20,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	10,000				10,000	5,000

1　事業の背景・目的

歩行者や通行車両の安全を確保するため、老朽化により損傷が著しい広小路本町線について、全面的な改良を行います。

また、中心市街地活性化基本計画に基づく街並み環境整備事業の一環として、リニューアルが進む広小路商店街の景観に配慮した道路改良を実施します。

京町線についても、街並み環境整備事業の一環として、周辺の街並み景観と調和した道路改良を行うことにより中心市街地の活性化に寄与します。

2　事業の内容

広小路本町線について、予備設計を実施し、順次改良工事に着手します。また、京町線について改良工事実施に向けた測量設計を行います。

3　事業費の内訳

事業費　20,000千円

（内訳）工事請負費　10,000千円

委託料　10,000千円

4　主な特定財源

交付金（社会資本整備総合交付金）10,000千円

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059　内線 4217

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	広域交通網整備促進事業（地域ふるさと農道）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
100,000	国	府	市債	その他	一般財源	
			95,000		5,000	81,700

1　事業の背景・目的

平成１４年１１月に開通した府道談夜久野線「ゆずりトンネル」開通を発端に、国道４２９号、府道福知山山南線等主要幹線道路の整備進行により、福知山西部地域から市内に流れる交通量は年々、徐々に増加しています。本地域の市道、福知山停車場奥榎原線の沿道である、正明寺、市寺、今安及び室地区においても安全通行の確保を図る地域の要望も強いため、この状況を打開し、地域の安心・安全と通行の確保の観点から継続して本道路を整備します。

2　事業の内容

○全体事業概要

事 業 量　Ｌ＝1,900m　総幅員W＝10.0m　（片側歩道W＝2.5m）

総事業費　900,000千円

事業期間　平成17年度～平成27年度

○本年度事業内容

工事延長　371m

道路築造工事費　100,000千円（道路工、排水工、舗装工等）

平成25年度進捗率　82%

3　事業費の内訳

工事請負費　100,000千円

4　主な特定財源

合併特例事業債　100,000千円×95%＝95,000千円

整備が進む地域ふるさと農道。市寺から室方面を撮影。

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7042　内線 4116

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	橋りょう長寿命化対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
4,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,200				1,800	6,000

1　事業の背景・目的

市内全域の橋りょうが経年による老朽化が進んでおり、近い将来、同時期に複数の橋りょうの架け替えが必要となる恐れがあります。

こうした事態が生じた場合、長期的に非常に大きな予算が必要となります。

この対策として、橋りょうの延命化を目的とする「橋梁長寿命化計画」を策定することにより、有利な財源を活用した計画的な補修を行い長期的なコスト縮減を図ります。

2　事業の内容

14.5m未満の橋梁　66橋について橋梁長寿命化計画策定業務を実施します。

14.5m未満の橋梁長寿命化計画策定状況

	H22	H23	H24	H25	計
点　　検	20	52	30	－	102
計画策定	－	－	36	66	102

3　事業費の内訳

委託料　4,000千円

4　主な特定財源

交付金（社会資本整備総合交付金）2,200千円

（算定方法）

補助対象経費　4,000千円×0.55＝2,200千円

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059　内線 4217

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">標的型攻撃等への安全対策事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3,583</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3,583</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

近年、全国において業務端末のウイルス感染による遠隔操作や情報漏えい事件が頻発しており、新たな情報セキュリティ対策として、本市システムの安全対策を講じます。

2　事業の内容

ウイルス感染による情報漏えいの通信を遮断する等の対策を講じます。

3　事業費の内訳

初年度（6か月分）	3,583千円
賃貸借費用	1,905千円
保守費用	1,678千円
総額（5年間）	35,830千円

担当課	総務部情報推進課	電話	直通 24-7060　内線 3124

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	戸籍副本データ管理システム改修事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,041	国	府	市債	その他	一般財源	
					3,041	0

1　事業の背景・目的

東日本大震災において、自治体が保管している戸籍の正本が消失したことを受け、これまで磁気テープに格納し、管轄法務局に保管していた戸籍副本データを遠隔地のデータ管理センターに保管する戸籍システムの改修を実施します。

これにより、戸籍の正本と副本との同時消失を防止し、災害による早期の業務復旧が可能になります。

2　事業の内容

総合行政ネットワーク（LGWAN）回線を通じて、新たに法務省が設置する遠隔地のデータ管理センターに、毎日、更新のあった戸籍ファイルの戸籍副本データを自動作成・自動送信し、保管管理を行います。

3　事業費の内訳

委託料（システム保守料）16,000円　×　6月　×　1.05　＝　100,800円
委託料（システム改修費）1式　＝2,940,000円

担当課	市民人権環境部 市民課	電話	直通 24-7014　内線 2247

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	姉妹都市友好親善市民交流事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,074	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,074	0

1　事業の背景・目的

長崎県島原市と福知山市は、昭和 58 年 3 月 1 日に姉妹都市盟約を締結し、平成 25 年度は 30 周年という記念すべき節目の年となります。島原市は、本市との姉妹都市提携 30 周年を記念し「島原市友好親善訪問団」を結成、来福される計画です。

この訪問団が来福されるにあたり、歓迎式を開催するとともに、両市民との親善交流会を開催します。

2　事業の内容

■姉妹都市「島原市友好親善訪問団歓迎式」

来福された「島原市友好親善訪問団」を、アトラクション等で市民をあげてお迎えし、歓迎します。

■姉妹都市「島原市・福知山市市民親善交流会」

島原市、福知山市両市民との新たな親交を図り、さらに友好の絆を深めるため、「島原市友好親善訪問団」と、福知山市の関係団体、一般市民の皆様との親善交流会を開催します。

3　事業費の内訳

・報償費（アトラクション出演団体等謝礼）　５５千円
・需用費（看板、記念品、お土産等）　７９９千円
・役務費（郵送料、手数料）　２０千円
・使用料及び賃借料（施設入館料）　２００千円

担当課	市長公室	電話	直通 24-7032　内線 3142

	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	ふくちの農場づくり事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
20,370	国	府	市債	その他	一般財源	
		17,770			2,600	0

1　事業の背景・目的

力強い農業構造を実現していくためには、地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を、将来においても確保していくための展望を作っておくことが必要です。

このため、「京力農場プラン」の作成を推進するとともにプランを作成した地域を対象に、プラン実現のための支援を行います。

2　事業の内容

京力農場プランを作成した地域を対象とし、地域の中心となる集落営農組織等の組織育成を図るため、農業機械施設導入に係る支援を行う。

3　事業費の内訳

○京力農場プラン作成事業

プラン作成経費（定額、府１００％）

・推進事務費　　４２０千円

○集落営農発展型農場づくり事業

農業機械施設導入に係る支援（府５０％、市０％）

・補助金　　１４，７５０千円

○集落営農組織育成事業

農業機械導入に係る支援（府０％、市３０％）

ただし、補助金の上限１，０００千円

・補助金　　５，２００千円

4　主な特定財源

京力農場づくり事業費補助金　１５，１７０千円

みらい戦略一括交付金　　２，６００千円

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	安全安心ブランド農作物推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
150					150	0

1　事業の背景・目的

農産物の差別化を図ることが今後の農業を推進する上で大変重要となり、そこで本市の農産物に安全安心の付加価値を付けるため、環境負荷低減の取り組みを全市的に展開するため、エコファーマー認定の取得に対して支援を行い、福知山市で生産される農産物のブランド化を推進します。

2　事業の内容

H24年5月現在で80名がエコファーマー認定を取得しているが、さらにエコファーマー認定取得を推進するため、取得経費に対して支援を行う。

3　事業費の内訳

補助金　１５０千円

野菜栽培のエコファーマー認定取得にかかる土壌調査経費に対して１／２以内を助成

福知山産農産物のブランド化に力を発揮するエコファーマーの皆さん。これから認定を取得する方に、土壌調査経費の一部を助成します。

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	丹州材活用促進事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
2,500					2,500	2,000

1　事業の背景・目的

本市では、間伐材の搬出を推進しており、これらの木材利用は重要な課題となっているため、その対策として丹州材（福知山産材）を利用した住宅等の新築・増改築を支援します。

併せて、これらの丹州材活用の促進を一層推進するため、平成25年度において会議の設置や、先進地視察等の取り組みを実施します。

2　事業の内容

（1）丹州材活用補助金

ア　補助要件

○福知山市内で、かつ福知山産材を使用して新築（5 ㎥以上使用）または増改築（1 ㎥以上使用）する住宅・店舗・事務所等

○暮らし安心・住環境向上支援事業等の対象事業で、1 ㎥未満を使用する住宅等

イ　交付対象者　　施主

（2）会議の開催、先進地視察

3　事業費の内訳

会議費（先進地視察等）　150 千円

丹州材活用補助金　　2,350 千円

内訳：丹州材活用補助 1,750 千円

福知山市転入加算 100 千円

暮らし安心・住環境向上支援事業等加算 500 千円

丹州材活用事例。
暮らし安心・住環境向上支援事業（p121）等との併用で、施主様に直接補助金を交付する制度を新たにスタートします。

担当課	農林商工部 林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	農山村空き家バンク事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
5,544	国	府	市債	その他	一般財源	
		2,500			3,044	143

1　事業の背景・目的

本市農山村地域では、過疎高齢化が進行し、地域の担い手が不足することによって集落活動などが困難になりつつあります。

こうした集落内にある空き家や住宅建築が可能な空き地を活用して集落への定住者を確保し、地域の維持・活性化のために「空き家情報バンク要綱」に基づいて情報を登録し、利用希望者へ情報の提供を行います。

2　事業の内容

空き家バンク情報資料の作成を行い、利用者への情報提供を密にするとともに、空き家等の登録を促進します。

(1)空き家バンク登録促進

空き家バンクでの成約を高めるために制度を拡充

①固定資産税相当額補助

・登録された物件を対象として、登録年前年の固定資産税相当額1年分を補助

・１件当たり年3万円を上限

②空き家改修費補助

・市外からの移住者（5年以上定住）と空き家所有者の間で成約した物件に対して空き家改修費を補助

・100万円以上の改修工事に対して1/2補助、100万円を上限

・市内に住所または営業所を有する業者が施行（丹州材の活用を推進）

(2)空き家見学ツアー

・バンク登録物件を見学するバスツアーを実施

3　事業費の内訳

需用費	152千円
役務費	48千円
委託料	9千円
使用料及び賃借料	35千円
負担金補助及び交付金	5,300千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金	2,500千円

空き家見学ツアー（H24.8.18）

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4114

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	ふくちの農山村応援事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
5,424		1,300			4,124	2,655

1　事業の背景・目的

本市農山村地域では、人口減少及び少子高齢化が進行し、農林業の衰退、集落機能の低下などが喫緊の課題となっています。

こうした過疎高齢化が進行した農山村集落を維持、再生し、元気な集落づくりを行うため、「ふくちの里づくり支援員」を配置するなど、集落の実情に合わせた支援を実施します。

2　事業の内容

(1)ふくちの元気な里づくり事業対象

・65歳以上が50％を超え、集落人口50人未満、地理的要件により選定
25集落　上限100千円/地区（10/10補助）

(2)ふくちの輝く地域づくり事業対象

・60歳以上が50％を超え、集落人口100人未満、地理的要件により選定
37集落　上限200千円/地区（2/3補助）

(3)ふくちの里づくり支援員

・上記(1)の集落に総務省の集落支援員制度を活用して支援員2名を配置し、集落の状況に応じて活動を支援（25集落で活動）

(4)福知山市農山村活性化計画基本計画の修正

・平成20年度に策定した基本計画の修正

3　事業費の内訳

報酬	1,478千円
報償費	177千円
旅費	28千円
需用費	52千円
役務費	32千円
委託料	1,000千円
使用料及び賃借料	47千円
負担金補助及び交付金	2,610千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金　1,300千円

才谷地区：才谷元気の出る会作成「案山子」

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4114

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	小規模企業融資制度事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
18,390	国	府	市債	その他	一般財源	
					18,390	21,475

1　事業の背景・目的

市内の小規模企業者の経営の安定・合理化を図るため、低利な融資制度を設け、小規模企業の資金繰りを支援します。また、中小企業金融円滑化法が平成25年3月末に終了することを踏まえ、緊急経営支援として、新たに小規模事業者経営改善資金（マル経融資）についても利子補給を行います。

2　事業の内容

○マル福

京都府の「小規模企業おうえん融資」を利用する小規模企業に対して、福知山市小規模企業融資制度事業「マル福」として扱います。この場合には、貸付金利の内0.5%分を福知山市が貸付金融機関へ利子補てんし、小規模企業の金利負担を軽減します。利子補給対象の融資限度額は2,500万円です。

また、経済不況に伴い、平成20年12月1日以降、融資実行後の償還1回目から6回目分（半年間）の末端金利が実質0%となるように小規模事業者へ直接利子補給する「緊急経営支援」を実施しています。この支援について、平成25年度も引き続き実施します。

○マル経

小規模事業者経営改善資金（マル経融資）について「緊急経営支援」として新規融資実行後の償還1回目から6回目分（半年間）の金利を小規模事業者に利子補給し、小規模企業の金利負担を軽減します。

（参考）

小規模事業者経営改善資金（マル経融資）とは、小規模事業者が商工会議所や商工会の経営指導を受けて経営を改善し、事業の発展を図るために必要な資金を商工会議所や商工会の推薦により、日本政策金融公庫から無担保・無保証人で融資を受ける制度です。

3　事業費の内訳

○小規模企業融資制度「マル福」金融機関への利子補給　12,012千円
○緊急経営支援「マル福」分　5,937千円
○緊急経営支援「マル経」分　441千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4143

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	販路開拓支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,000	国	府	市債	その他	一般財源	
					2,000	2,000

1　事業の背景・目的

市内の中小企業者等が、自社商品及びサービスの販路開拓のため、市外での展示会や見本市等に出展するには、会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても出展しにくい状況等があるため、展示会等参加に係る経費の一部を補助し、市内中小企業者等の販路開拓を支援し、振興を図ります。

2　事業の内容

○展示会等出展補助金

市内の中小企業者等が自社の技術や製品・サービス等の販路拡大のために市外で開催される展示会・見本市等へ出展する経費の１／２を上限１０万円まで助成します。

○補助対象経費

経費区分	補助対象経費
会場借上費	出展小間料、会場使用料
小間内装飾費	会場等の装飾に係る設営又は撤去に要する経費、光熱水費及びその使用に係る設備工事に要する経費
広告宣伝費	パンフレット、カタログ、ポスター、名刺、案内状及び販促品等の作成に要する経費、展示会等の主催者が発行する発行物への広告掲載に要する経費
委託費	展示物等製作業務の外部委託に要する経費
梱包運搬費	製品、資材等の梱包又は運搬に要する経費
旅費	公共交通機関利用運賃、有料道路通行料、レンタカー代　駐車場代
人件費	説明員・販売員設置費(展示会等への出展に伴い、臨時に雇入れをする場合の経費に限る。)
謝礼	専門的知識を有する専門家に依頼し、指導または相談等を受けた場合に謝礼として支払われる経費
通訳・翻訳料	展示会での通訳に支払われる経費、資料等の翻訳に支払われる経費
委託費	販路開拓に関する調査を委託するために要する経費

3　事業費の内訳

○負担金補助及び交付金

・販路開拓支援事業補助金　2,000千円（100千円×20件）

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4143

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	企業誘致促進特別対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
54,140	国	府	市債	その他	一般財源	
				51,000	3,140	51,647

1　事業の背景・目的

アネックス京都三和への企業誘致と既存企業の操業を支援するため、企業誘致活動と工場の新設、増設、除去費及び雇用に対して支援を行い、地域経済の活性化、雇用の創出、若者の定住を図るとともに工業団地の環境整備を行います。

2　事業の内容

（１）工場の新設、増設、除去費及び雇用に対して奨励金を交付
（２）企業誘致協議会等への負担金
（３）アネックス京都三和のＰＲ
（４）長田野工業団地案内看板の修繕
（５）井ノ奥調整池展望施設改修工事(アネックス京都三和)

3　事業費の内訳

（１）工場の新設、増設、除去費及び雇用に対して奨励金の交付	51,000千円
（２）企業誘致協議会負担金	580千円
（３）アネックス京都三和のＰＲ	
・新聞広告費	50千円
・海外企業向け誘致パンフレットの作成	60千円
（４）長田野工業団地案内看板の修繕	450千円
（５）井ノ奥調整池展望施設改修工事(アネックス京都三和)	2,000千円

4　主な特定財源

企業誘致促進特別対策事業基金繰入　51,000千円

長田野工業団地
アネックス京都三和。

担当課	農林商工部産業立地課	電話	直通 24-7077　内線 4161

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	スイーツフェスティバル事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,800	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,800	0

1　事業の背景・目的

本市にはスイーツを扱う数多くのお店があります。最近では、これら市内の店舗が関西方面の雑誌に特集として取り上げられたことや、福知山のスイーツを紹介した「福知山スイーツマップ 2012」の発行により、市内はもとより京阪神からスイーツファンが訪れています。

福知山のスイーツの魅力を更に市内外に発信するとともに、市民の声を意見や要望から一歩進めて事業や施策に反映させる新しいプランとして、福知山市内のスイーツが一堂に会するフェスティバルを開催し、福知山のスイーツのイメージアップ及び消費拡大を目指し集客を図ります。

2　事業の内容

（仮称）スイーツフェスティバル実行委員会に対して補助を行います。

(1)「（仮称）丹波福知山スイーツ・スプリングフェスティバル」

開催日時	平成25年5月19日（日）　午前10時から午後3時
開催場所	福知山市厚生会館
事業内容	①スイーツコレクション2013 ・市内の菓子店を一堂に集めたスイーツの試食・販売 ・ワンコイン（500円）で買えるフェスティバル当日限定のオリジナルスイーツの詰め合わせ（5個程度）の限定販売 ・イートインコーナー（お茶席・コーヒー（有料）の設置） （お茶席は、高校の茶道部・華道部） ・市内の高校等（福知山高校、淑徳高校、成美大学短期大学部）の生徒（学生）が制作したスイーツの限定販売 ・あめ細工の実演販売 ・和菓子作りの体験コーナー ②スイーツスタンプラリーの開催

(2)「福知山スイーツマップ2013～2014年版」の作成（右は現在のもの）

(3)「ひろしま菓子博2013」にて、ステージパフォーマンスによる本市のPR（福知山踊り振興会、ゴーヤキャンディーズ）

3　事業費の内訳　　交付金　　1,800千円

担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076　内線 4150

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	文庫本ブックカバー作成事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,346	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,346	0

1　事業の背景・目的

本市を全国にＰＲするために、文庫本のブックカバーを作成し、大型書店で無料配布します。「福知山城」や「明智光秀」など本市を代表する内容を広告として掲載し、幅広い層の書籍購入者や移動広告として購読者以外に、本市の魅力を強くイメージ付けることで、本市の知名度アップ及び観光誘客の拡大を図ります。

2　事業の内容

文庫本ブックカバーを作成し、京阪神を中心とした大型書店で無料配布します。

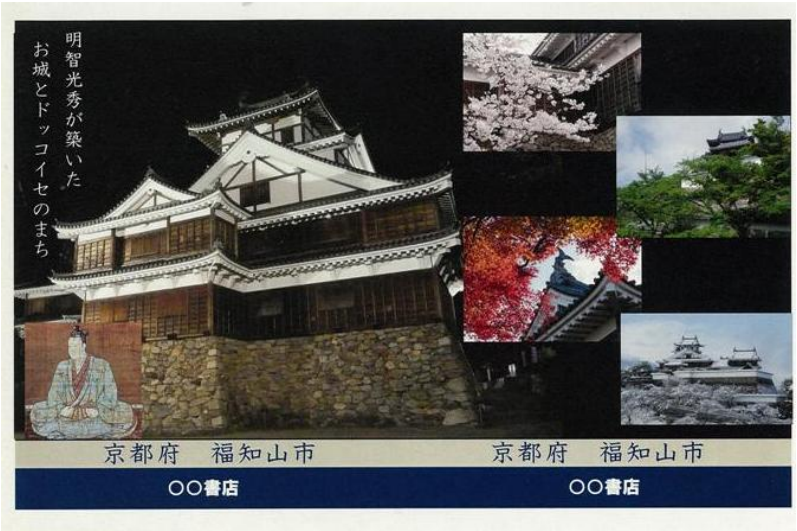
概要	サイズ：文庫本サイズ、4色カラー刷り
作成部数	70,000部（最少契約部数）
内容	福知山を代表するイメージ広告、地図（アクセス情報） 福知山市の概要説明文、ＱＲコード
発行時期	平成25年10月頃

3　事業費の内訳

業務委託料　　1,346千円

（デザイン制作、印刷、店頭での店員による差し込み手数料）

（㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ福知山支店に委託）



福知山版ブックカバーのイメージ。
スタイリッシュなデザインで福知山の観光情報を発信し、知名度アップを図ります。

担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076　内線 4150

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	ゆるキャラ資源徹底活用による福知山活性化支援事業【市民協働枠】					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
2,200					2,200	0

1　事業の背景・目的

本事業は、環境市民団体である「福知山環境会議」（平成１７年６月に発足。１６団体１５個人会員で構成）の幹事会（１９名）で検討され、提案のあった事業です。

現在、本市には１５体の着ぐるみ（ゆるキャラ）がいますが、それらがひとつにまとまって活動することで、もっと「市民に笑顔と元気！」を与えることができます。

2　事業の内容

（1）市内ゆるキャラユニット「チームドッコ隊（仮称）」を結成し、市内イベントでチームとして活動します。

ステッカー、パンフレット等を作って配布　410千円

（2）市内イベントを支援・企画します。

自治会や公民館、商店街イベントを支援します。　250千円

（3）市外イベントへ積極的に参加し、福知山をＰＲします。

ゆるキャラ「どっこちゃん」の作製等　1,540千円

3　事業費の内訳

（1）旅費　430千円
（2）需用費　750千円
（3）役務費　190千円
（4）備品購入費　820千円
（5）負担金　10千円

環境会議幹事会の様子

姫髪山の姫子ちゃんとゴーヤ先生。

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	友好都市交流事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
450	国	府	市債	その他	一般財源	
				204	246	0

1　事業の背景・目的

平成24年9月21日に静岡県小山町と観光友好都市提携を締結したことから、今後は、行政だけでなく民間レベルでの交流の促進が不可欠となってきます。小山町とは、昭和57年から交流をしてきましたが、小山町は富士山という世界的な観光資源に加え、富士スピードウェイなど魅力的な観光名所を抱える町です。

今回の友好都市提携締結により、民間レベルの交流の第１歩として、小学生を対象とした交流を促進し、小山町の財産である富士山の雄大さの体験や本市とゆかりのある金太郎生誕地の歴史を探索します。

また、他のまちを知ることでわがまち福知山の歴史や自然資源を見つめ直してもらうため、小山町と相互協力による2泊3日の行程による夏休み富士山バスツアーを開催します。

2　事業の内容

「（仮称）夏休み富士山チャレンジ自然体験」の開催

開催日	平成25年7月20日（土）～平成25年7月22日（月）（予定）
出帰時間	20日：午前7時出発　22日：午後6時帰着（予定）
場　所	静岡県駿東郡小山町
事業内容	①夏休みを利用した親子の富士山自然体験 ・34人（17組）市内小学生等限定公募（参加負担金徴収）による2泊3日のバスツアー（随行：6人うち1人保健師）計40人 ②小山町の観光名所めぐり・体験会の開催 ・富士スピードウェイ見学・体験 ・国立公園指定富士山清掃活動体験 ・自衛隊富士学校見学・体験 ③小山町児童等との交流会の開催 ・交流食事会（各自負担）
実施主体	福知山市

3　事業費の内訳

旅費（随行者日当）	40千円	消耗品費	35千円
バス使用賃借料	340千円	高速道路通行料	35千円

担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076　内線 4150

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	特産品活用による三和地域活性化事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
5,000				2,500	2,500	1,000

1　事業の背景・目的

三和地域の活性化拠点を整備するため、学校給食センター建設予定跡地に、三和地域の特産品の直販施設を中心とした付加価値の高い農産加工品の加工施設等の建設整備を図り、農林商工業の活性化を図ります。

跡地で地域特産品の直販を実施し、加工販売、更には都市間交流拠点を段階的に整備することにより地域振興、活性化を図ります。

2　事業の内容

平成25年度は地域特産物の直販施設を基本とした地域活性化計画の立案企画を行うため、市民公募により立ち上がった「丹波みわ活性化協議会」に補助金として助成し、協議会での調査費用とします。

協議会での企画立案を受け、市は基本計画・基本設計を行います。

平成25年度　　基本計画・基本設計
平成26年度　　実施設計
平成27年度　　工事発注(整備工事)

3　事業費の内訳

基本計画・基本設計委託料　　4,000千円
丹波みわ活性化協議会への補助金　　1,000千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金　　2,500千円

担当課	地域振興部三和支所	電話	直通 58-3003　内線73 - 9117

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	福知山観光協会運営補助事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,155	国	府	市債	その他	一般財源	
					7,155	4,365

1　事業の背景・目的

本市の観光振興を図ることを目的に、その中核的役割を担う福知山観光協会が展開する事業、組織運営に要する経費に対して昭和54年度から補助を行っています。

観光協会の職員は、現在専任職員は1人であり、観光振興課職員が兼務で観光協会の事務事業にあたっています。観光協会と行政の役割分担、機能分担を図り、観光協会が自主性を発揮し観光事業を推進させるためには、専門職員の設置が必要です。　観光協会の自主財源の急激な増加が見込めない中で、スムーズに民間に移管できるよう今までの補助に加えて新たな職員の設置（2名分）について支援します。

2　事業の内容

福知山観光協会が展開する事業、組織の運営に要する経費に対して補助を行います。さらに観光協会職員の人件費2名分（事務局長、臨時職員）を増額します。行政と観光協会が行う観光事業のすみ分けを進め、効率化を図ります。

行政	観光協会
・観光施策の具現化、推進、検証 ・観光関連団体の自主的な取組の支援及び調整 ・新たな観光メニューの創出（広域観光コースの開発、売り込み） ・情報収集（ニーズの把握）と積極的な情報発信（広告媒体を活用した知名度アップ戦略） ・受入れ態勢の充実（ガイド養成、観光施設・案内板の整備）	・観光案内所運営事業（観光案内業務、特産品・土産品ＰＲコーナー、歴史街道ｉセンターの設置、観光ガイドの拠点、レンタサイクル、観光情報の提供等） ・地場産品の開発宣伝事業（観光土産品推奨事業、うまいもの展） ・ＪＲとタイアップしたハイキングの実施 ・観光関連団体連携強化と活動充実
【連携】 ・パンフレットの作成、観光キャンペーン、ホームページ等での情報発信 ・ＮＨＫ大河ドラマ誘致推進協議会、大丹波連携推進協議会、京都府観光連盟、北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会、若狭・中丹広域観光誘客協議会等観光関連団体との連携・協力 ・観光イベント支援（お城まつり、ドッコイセまつり、花火大会）	

3　事業費の内訳　　補助金　　7,155千円

担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076　内線 4150

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	就職おうえんスキルアップ助成金給付事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,630	国	府	市債	その他	一般財源	
				2,630		2,630

1　事業の背景・目的

今日、資格等が無い者の就職が難しい現状を踏まえ、就職に向けた資格取得（スキルアップ）等に取組み、就業を目指している求職者に助成金を支給し、円滑な就職を支援します。

2　事業の内容

平成26年3月31日までに受講を修了した、資格取得等を目的とした講座の、入学金と受講料の3分の2を助成金として交付。（1人1講座を対象とし、交付限度額5万円）

（１）助成対象者の要件

①福知山市に住民登録がある方

②ハローワーク（公共職業安定所）に求職登録し、求職活動をしている方

③再就職おうえんスキルアップ助成金（平成21年8月1日～平成25年3月31日）の交付を受けていないこと。

（２）対象となる講座

国の教育訓練給付制度により、厚生労働大臣が指定する教育訓練が目指す資格を取得するための講座

3　事業費の内訳

○負担金補助及び交付金

・就職おうえんスキルアップ助成金　　2,600千円

○需用費　　30千円

4　主な特定財源

○ふるさと就職おうえん基金繰入金　　2,630千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4143

平成２５年度緊急雇用特別対策事業一覧

依然として厳しい雇用失業情勢のもと、失業者に対し、次の就職までのつなぎとなる雇用の機会を創出し、生活の安定を図るとともに、地域の人材を育成するため、京都府緊急雇用対策基金を活用して緊急雇用特別対策事業を実施します。

１　震災等緊急雇用対応事業

震災等の影響による失業者に対する短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業で平成２４年度中に着手（雇用開始）した事業。原則１年以内の雇用。

整理番号	事業名	所管	事業費（千円）	新規雇用人数（延人数(人日)）	備考
1	市民協働のまちづくり応援事業	市長公室	1,497	2　(184)	
2	市ホームページ情報発信事業	市長公室	1,351	2　(240)	
3	「ｅ-ふくちやま」整備事業サポート運用事業	情報推進課	2,031	2　(252)	
4	やくの木と漆の館機能強化事業	夜久野支所	2,035	1　(240)	
5	夜久野観光交流推進事業	夜久野支所	4,257	1　(252)	
6	丹後天橋立大江山国定公園観光ガイド事業	大江支所	2,398	2　(204)	新
7	健診受診勧奨事業	健康推進室	3,217	4　(384)	
8	子育て家庭の保育ルーム事業	健康推進室	2,364	4　(336)	
9	健康増進計画推進サポート事業	健康推進室	1,622	2　(192)	
10	福祉バス運営事業	子育て支援課	1,281	1　(184)	新
11	放課後児童クラブ拡充事業	子育て支援課	2,000	2　(253)	新
12	児童館・子育て支援事業	子育て支援課	1,281	2　(184)	
13	子育て支援ニーズ調査事業	子育て支援課	2,216	2　(253)	新
14	未熟児養育医療・自立支援医療活用事業	子育て支援課	2,216	2　(253)	新
15	児童遊園等遊具点検保守事業	子育て支援課	4,301	4　(506)	
16	聴覚障害者情報支援事業	社会福祉課	1,921	2　(242)	新
17	くらしの資金等債権管理事業	社会福祉課	334	1　(42)	
18	介護認定訪問調査支援事業	高齢者福祉課	1,281	2　(184)	新
19	認定審査会運営支援事業	高齢者福祉課	2,621	4　(368)	新
20	高齢者保健福祉計画策定事務等補助事業	高齢者福祉課	2,179	2　(230)	新
21	訪問型介護予防事業	高齢者福祉課	1,633	2　(184)	新
22	農山村集落活動支援事業	農林管理課	2,065	2　(240)	
23	農業振興地域整備促進事業	農業振興課	1,048	2　(144)	
24	有害鳥獣捕獲に係る事務事業	林業振興課	1,937	2　(240)	
25	再就職おうえんスキルアップ助成金給付業務支援事業	商工振興課	950	1　(119)	
26	介護・看護人材確保事業	高齢者福祉課	3,364	2　(410)	新
合計			53,400	55　(6,320)	

２　重点分野雇用創出事業

失業者に対する短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業で、重点分野（介護、医療、農林、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用、教育・研究、各地方公共団体が設定する地域の成長分野)に係るもの。原則１年以内の雇用。

整理番号	事業名	所管	事業費（千円）	新規雇用人数（延人数(人日)）	備考
1	障害児・者の生活介護支援事業	社会福祉課	5,678	3　(660)	新
2	障害者ホームヘルパー養成事業	社会福祉課	2,155	1　(200)	
3	知的障害児の療育支援人材の拡充事業	社会福祉課	4,024	2　(484)	
4	介護・看護人材確保対策事業	高齢者福祉課	21,465	11　(2,718)	新
5	スクールサポーター充実事業	学校教育課	4,705	6　(1,170)	新
6	豊かな教育活動支援事業	学校教育課	7,973	14　(2,730)	新
合計			46,000	37　(7,962)	

３　起業支援型雇用創造事業

起業後１０年以内で、本社が同一都道府県内に所在する企業（分割・合併による新会社設立は含まず、新分野進出・多角経営化は含む。）であって、事業終了後も委託先で雇用が継続し、委託先が将来地域の雇用の受け皿となりうる企業であるかについて、有識者（金融機関・起業支援の専門家等）の意見による適格性の判断を経た企業に事業を委託し、失業者を雇用するもの。原則１年以内の雇用。

整理番号	事業名	所管	事業費（千円）	新規雇用人数（延人数(人日)）	備考
1	夜久野地場産直料理企画開発支援事業	夜久野支所	5,854	1　(264)	新
2	夜久野ジビエ活用促進支援事業	夜久野支所	4,616	1　(240)	新
3	中心市街地ガーデニング促進事業	商工振興課	3,984	1　(252)	新
合計			14,454	3　(756)	

平成２５年度　緊急雇用特別対策事業　合計　　事業費　113,854 千円
新規雇用延人数　95 人

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">障害のある人のためのインフルエンザ予防接種事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2,006</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2,006</td><td>0</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

免疫力が低下している障害のある人がインフルエンザに罹患すると重症化し、命に関わる危険が高くなります。予防接種を積極的に受けることで、罹患や重症化を予防し、社会的な流行を防ぐことができるため、障害のある人に対し、予防接種費用の一部助成を行います。

2　事業の内容

①対象者：身体障害者手帳1・2級、療育手帳Aのいずれかを保持する人
②実施方法：委託医療機関で2回（13歳以下）または1回（14歳～64歳）接種
③予定人数：13歳以下　…　56人
　　14歳～64歳 … 372人
④自己負担金：1,000円
　　（ただし、市民税非課税世帯、生活保護世帯は申請により無料）

3　事業費

・賃金　276千円　・需用費　9千円
・役務費　52千円　・委託料　1,508千円
・扶助費　161千円

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6210

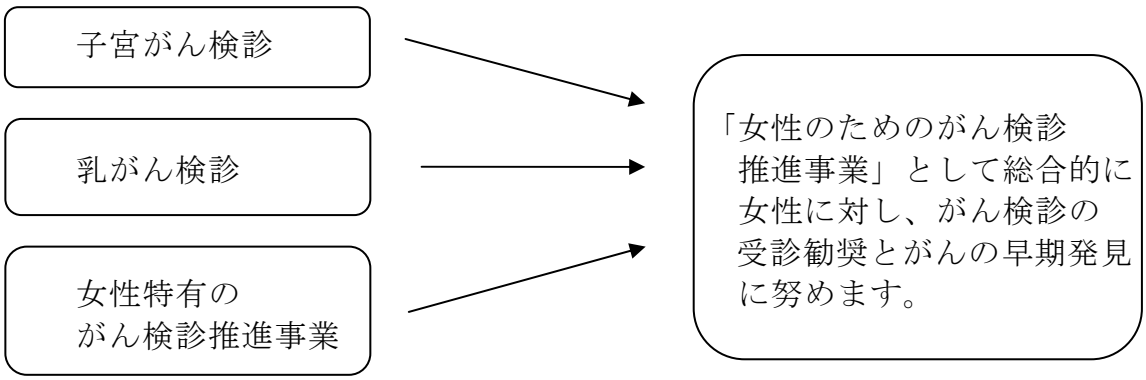
施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	女性のためのがん検診推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
48,464	国	府	市債	その他	一般財源	
	9,845			366	38,253	43,383

1　事業の背景・目的

子宮頸がんは罹患率のピークが若年化しており、平成19年度の人口10万対罹患率は30～34歳で58.2、35～39歳で61.0と高くなっています。また、死亡率も諸外国の低下に反して上昇しています。

乳がんは、検診受診率が低く死亡率が上昇しています。

こうした状況から受診率が低く、罹患率の高い女性のがん検診の受診促進を図り、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を行い、健康の保持・増進をはかります。



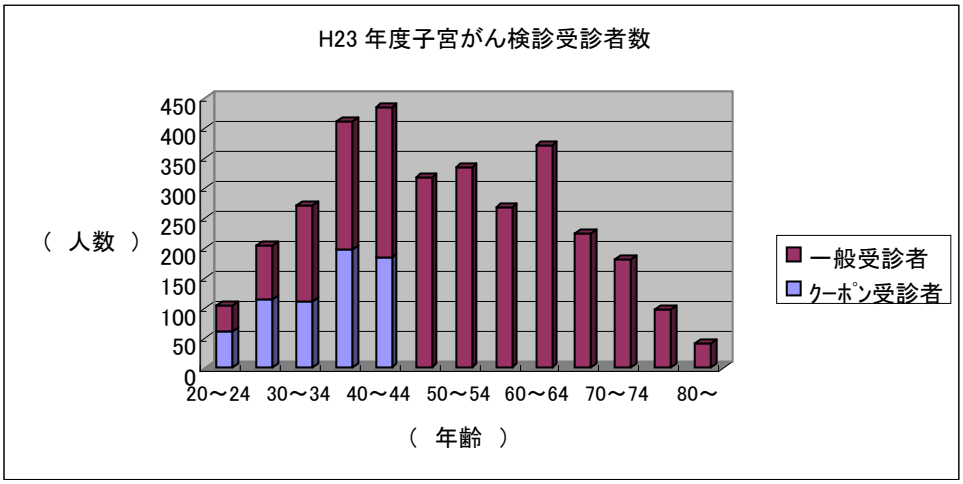
2　事業の内容

①検診の内容　子宮頸がん検診：直接採取による膣細胞診、組織診。
子宮体がん検診：子宮内膜の直接採取による細胞診、組織診。
乳がん検診：30歳代…　視触診とエコー併用検診
40歳以上…視触診とマンモグラフィー併用検診
（40歳代は2方向、50歳以上は1方向撮影）

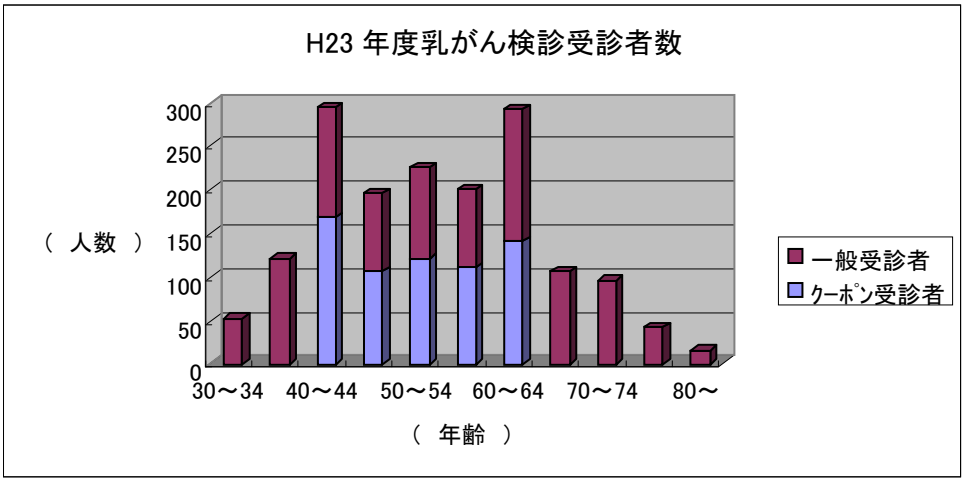
②対象者のがん検診台帳の整備
対象者：子宮がん検診　20歳以上
・無料クーポン券対象者
（H25.4.1現在、20･25･30･35･40歳）
乳がん検診　30歳以上
・無料クーポン券対象者
（H25.4.1現在、40･45･50･55･60歳）

③啓発用検診手帳と無料クーポン券の送付

④クーポン対象者で市実施の子宮頸がん検診、乳がん検診を受診した人の自己負担金補助



特に20歳代の若い世代でクーポン券を利用して受診した人が増えました。あわせて、子宮がん検診受診者が増えました。30歳代から急増する子宮がんの早期発見・早期治療につながっています。



クーポン券を利用して受診した人の83%が新規受診者でした。受診者層の拡大につながり、市民のみなさんの関心の高さもうかがえます。2年に1度の検診であり、継続して受診されるよう啓発に努めます。

3　事業費

・賃金　384千円　・需用費　1,033千円　・役務費　991千円
・委託料　46,035千円　・扶助費　21千円

4　主な特定財源

国庫支出金　国庫補助金　衛生費国庫補助金　疾病予防対策事業費補助金

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6210

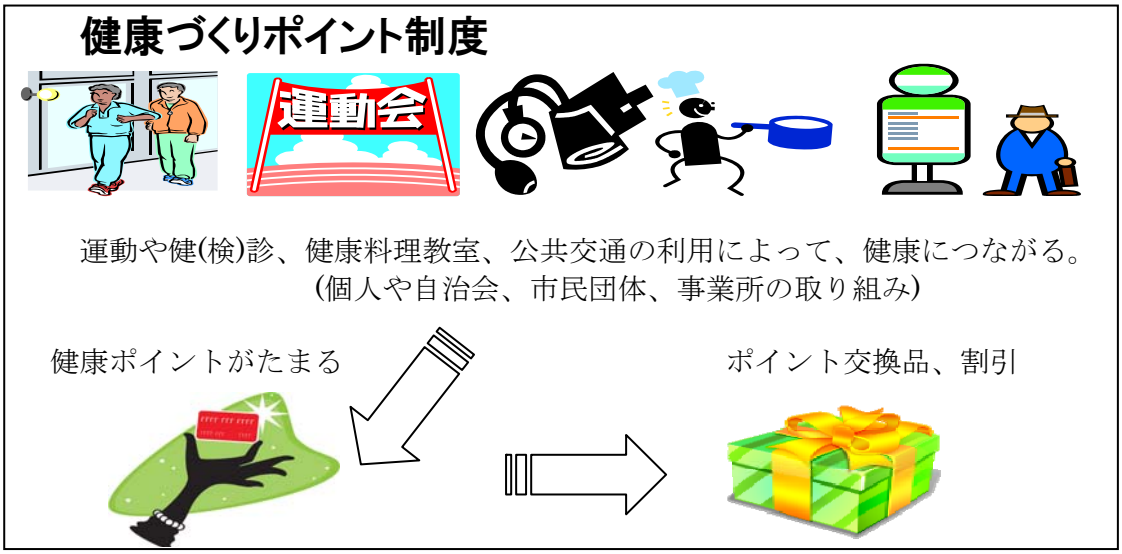
施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	健康増進計画推進事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
3,558				609	2,949	1,100

1　事業の背景・目的

市民の健康寿命の延伸と生活の質の向上に資することを目的に策定した「健康増進計画」に基づき、健康づくりや疾病予防推進のための目標達成を図るべく、啓発と市民協働事業を展開します。

2　事業の内容

・市民のみなさんが日常生活において、健康づくりに取り組むとともに、自主活動グループの交流のきっかけをつくるため、「元気いっぱい健康フェスタ」イベントを開催
・市民のみなさんの心に残るウォーキングコースを募集し「いきいき健康ウォーキングＭＡＰ」を作成
・ウォーキングを愛好されている市民の交流会「ウォーキング交流会」の開催
・健康増進員(仮称)を認定(健康づくりに取り組んでいる人)し、実績に応じてポイントを付与する「健康増進員ポイント制度」創設（拡充）
・健康づくり推進協議会の開催



3　事業費

・報酬　　120千円・賃金　2,429千円・報償費　127千円
・旅費　　7千円・需用費　383千円・役務費　75千円
・使用料及び賃借料　67千円・負担金補助及び交付金　350千円

4　主な特定財源

諸収入　　雑入　　雑入　　長寿社会づくりソフト事業費交付金

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6200

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	介護人材確保対策事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
20,816	国	府	市債	その他	一般財源	
		4,800		16,016		0

1　事業の背景・目的

市内の介護事業所における介護職員の不足は深刻な状況にあり、施設・事業所によっては、建物は完成しているが、介護職員不足により、全面開設できないところもあります。その他のほとんどの施設・事業所についても最低数の介護職員で運営している状態です。

介護人材の確保は、多くの施設、事業所に共通した喫緊の課題で、一施設・事業所のみでは解決できない問題となっており、本市としても、PR活動や介護職員が長く働ける環境整備、さらに新たに介護の世界を志す若者の支援等にかかる施策の予算化を行うものです。

市内の高齢者介護施設・事業所における介護職員の状況

現在の職員数	不足している職員数
１,０４０人	１４０人

＊H24.10現在

2　事業の内容

（1）　UIターン家賃助成　4,800千円

ア　京都の地域包括ケア総合交付金を活用して、平成25年度新規採用介護職員のうち、UIターン者に家賃助成を行います。

イ　助成額は、家賃の1/2とし、次の上限額を設定します。（助成額上限（月）：１年目40千円、2年目30千円、3年目20千円）

ウ　助成期間は、3年間とします。

（2）　介護福祉士奨学金貸付　15,000千円

ア　介護福祉士を養成する学校の入学金及び授業料を対象として、年間1,000千円（最大2年間）を無利子で貸与します。

イ　介護福祉士を取得し、市内の施設・事業所で3年間勤務した場合、返還は不要とします。

（3）　介護職員キャリアアップ助成　300千円

ア　キャリアアップ助成として、市内の施設・事業所に勤務しながら、初級研修（旧ヘルパー2級）を取得した人に、資格取得費の1/2相当額（上限あり）を支給します。　上限　30千円

（4）　福祉人材登録　716千円

ア　介護職員確保のため次の取り組みを行います。

（ア）ポスター、チラシを作成し、公共施設でのPRを行うとともに、各種団体等（特に子育てを終えた女性等が対象の中心）にも積極的にPRします。

（イ）市役所本庁玄関、支所、高齢者福祉課等に介護人材情報コーナ

ーを設け、ハローワークやジョブパークと連携して、気軽に一般の市民が情報に触れることができるようにします。

イ　高齢者福祉課で、福祉人材の登録ができるようにします。

（ア）高齢者福祉課に、市内の施設・事業所の募集状況等の具体的な情報を備え、随時更新を行います。

（イ）高齢者福祉課で、福祉現場で働きたい方の登録（就職、ボランティア（介護支援サポーター含む））を受け付け、必要に応じて、ジョブパークの相談員やハローワークへつなぐなど、より専門的な斡旋ができるようにします。

3　事業費の内訳

（１）　UIターン家賃助成（補助金）　40千円×10人×12ヶ月=4,800千円

（２）　介護福祉士奨学金貸付（貸付金）　1,000千円×15人=15,000千円

（３）　介護職員キャリアアップ助成（補助金）　30千円×10人=300千円

（４）　福祉人材登録　716千円

ア　ポスター印刷（需用費）　70円×450枚×1.05=33,075円

イ　チラシ印刷（需用費）　10円×5,000枚×1.05=52,500円

ウ　マガジンラック（備品）　60千円×10カ所×1.05=630千円

4　主な特定財源

地域包括ケア総合交付金 4,800千円、地域福祉基金 15,300千円

長寿社会づくりソフト事業費交付金 716千円

みんなにやさしい健康･福祉のまちづくりを地域で支えるため､介護職員の確保養成に新たな支援を講じます。

担当課	福祉保健部 高齢者福祉課	電話	直通 24-7013　内線 2148

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	いきいきサロン設置事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
620	国	府	市債	その他	一般財源	
		620				0

１　事業の背景・目的

認知症高齢者やひとり暮らし高齢者等が増加する中、高齢者の孤独死や引きこもりなどを防止するために、身近な地域で気軽に集える場所を設置し、高齢者が自然に集うことで、見守りや安否確認を実施します。

２　事業の内容

中心市街地活性化事業と協同で事業展開し、空き家、空き店舗を有効活用していく手段として、高齢者が気軽に集える場を設置していきます。

管理運営については、地域の団体に委託していき、高齢者が自然に集える企画・内容を立案しながら自然に集える場を提供していきながら、地域での見守りや安否確認の強化を図ります。

初年度の立ち上げ整備に対して、サロン開催に必要な備品に対する助成を実施します。

３　事業費の内訳

補助金　　620千円

４　主な特定財源

地域包括ケア総合交付金　620千円　（補助率　10/10）

担当課	福祉保健部 高齢者福祉課	電話	直通 24-7073　内線 2151

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	成年後見センター運営事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
6,275	国	府	市債	その他	一般財源	
	835				5,440	0

1　事業の背景・目的

平成27年には団塊の世代が前期高齢者に到達し、平成37年には高齢者人口3,500万人に達すると推計され、福知山市でも平成37年には高齢者人口がピークに達すると見込まれています。

認知症高齢者についても国の発表では、平成24年には305万人、平成37年には470万人に達すると推計されています。

今後本市においても、高齢化率の増加に伴い認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加が見込まれます。認知症高齢者等が尊厳をもって住み慣れた地域で暮らし続けるために、成年後見制度の必要性は一層高まってきます。

また、改正老人福祉法が平成24年4月1日から施行され、市町村の努力義務として、後見等の審判請求が円滑に実施されるよう、後見等に係る体制の整備を行うことが規定されるとともに、同日施行の障害者自立支援法の一部改正では成年後見制度利用支援事業を市町村の地域生活支援事業の必須事業とすることにもなり、認知症のみならず、知的障害や精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利擁護業務について市町村の責務で積極的に事業展開する必要があります。

本市としてもこうした状況の中、いち早く住民ニーズを把握しながら、高齢者や障害のある人の権利擁護対策を全市的に推進するため、成年後見制度に関する総合窓口として「成年後見センター」を開設していくものです。

○認知症高齢者の将来推計(H24.8.24厚労省発表)　　(単位:万人)

将来推計(年)	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
日常生活自立度Ⅱ以上	280	345	410	470
	9.5%	10.2%	11.3%	12.8%

※下段は65歳以上人口に対する比率

○成年後見市長申立件数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
件数(高齢者、障害)	2	6	0	7

○権利擁護に関する相談件数

	平成22年度	平成23年度
件数	179	150

２　事業の内容

　認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人を支援するため、権利擁護に関わる成年後見制度の利用促進、普及啓発を更に推進し、制度に関する相談・利用支援、後見業務に係る人材育成等関連業務をワンストップ化した形で提供できる地域福祉の拠点として成年後見センターを運営委託していくものです。

（１）成年後見制度に関する相談及び利用支援
（２）市民後見人に係る人材育成及び活用について
（３）成年後見制度に関する広報及び啓発
（４）成年後見制度に関わる関係機関との連携業務

３　事業費の内訳

○事業費　6,275千円
　委託料　6,275千円（センター業務運営委託料）

担当課	福祉保健部 高齢者福祉課	電話	直通 24-7073　内線 2151

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	居宅介護サービス利用支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,200	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,200	0

1　事業の背景・目的

介護保険に比べて事業所数が少ない障害のある人の在宅生活を支援する居宅介護事業者の活動を支援し、経営の安定化、ヘルパー等マンパワーの確保、事業者の新規参入を促進し、もって、障害のある人の在宅生活の安定化を図ります。

2　事業の内容

本市が支給決定を行っている受給者に、障害福祉の居宅介護サービス（家事援助）を提供した場合、その事業者に対して助成を行います。

（交　付　方　法）年1回交付。

（対象サービス）居宅介護（家事援助に限る）。

（対 象 事 業 者）市内の指定居宅介護事業者に限る。

（交　　付　　額）障害福祉サービスの家事援助の報酬単価と介護保険の生活援助の報酬単価の差額を考慮し、1時間あたり100円を交付します。

（実　施　期　間）平成25～26年度の2年間。ただし、平成27年度以降については、国の報酬改定を考慮し、平成26年度中に再検討します。

3　事業費の内訳

・扶助費　1,200千円　　（12,000時間×100円）

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7017　　内線 2138

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	障害者相談員・支援員事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,002	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,002	782

1　事業の背景・目的

障害者自立支援法（平成25年4月1日より障害者総合支援法）により身体・知的・精神の三障害の一元化が図られ、障害の種別にかかわらず公平な福祉サービスを受けることができるようになりました。

障害者相談員においては、平成24年度に身体障害者相談員及び知的障害者相談員について京都府から権限移譲を受け、市の身近なピアカウンセラーとして相談業務にあたっています。

今回新たに精神障害者相談員を加え、三障害それぞれの障害に応じたきめ細かな相談業務を行い、関係機関と連携しながら障害者相談事業のより一層の充実を図ります。

また、第3期福知山市障害福祉計画の基本理念である、すべての人が住み慣れた地域社会の中で「障害のある人もない人も、すべての人が共に生きていくまちづくり」を実現するため、地域で一人暮らしを始める、また一人暮らしをしている障害のある人が安心して生活を送ることができるように、一人暮らし支援員を派遣し日常的な見守り等の支援を行います。

2　事業の内容

・身体障害者相談員は障害のある人の中から、また、知的障害者及び精神障害者相談員は保護者等の中から相談員を委嘱し、生活上の助言などの相談業務にあたります。

身体障害者相談員　　15人
知的障害者相談員　　6人
精神障害者相談員　　3人

・公営住宅や民間アパートなどで一人暮らしをしている障害のある人に対し、日常的な見守り等の支援を行う支援員の派遣を行います。
試行として6か月間事業を行います。

3　事業費の内訳

・報償費　852千円　相談員24人分
　　支援員 1人分
・旅費　　101千円
・需用費　　14千円
・役務費　　35千円

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7017　　内線2135

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	福祉医療費（障害）給付事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
234,688	国	府	市債	その他	一般財源	
		63,223			171,465	238,655

1　事業の背景・目的

障害のある人は、疾病や事故率が高く二次障害などが生じやすいなど、医療の持つ重要度が高くなっています。そのため府と市町村が共同で障害のある人が安心して必要とする医療を受けられるよう、医療機関における自己負担分について助成を行っています。

本市の福祉医療制度は、市単独分もあわせると府内でも最も充実していますが、厳しい財政状況中で制度の継続を図るため、平成23年8月更新分より、市単独事業分について所得制限の見直しを行い、府の所得制限に加え「本人が市町村民税非課税」としました。

今後についても、障害のある人の自立と社会参加を支援するとともに、健康の保持と増進が図れるように医療費の自己負担分の助成を行います。

2　事業の内容

75歳未満の重度障害児・者が保険による治療を受けた場合、その保険診療の自己負担分を助成（ただし、後期高齢者医療制度該当者は除く）

（対象者）

・府補助対象分

身体障害者手帳　1～2級所持者／療育手帳A判定所持者

・市単独事業分

身体障害者手帳　3～4級所持者／療育手帳B判定所持者

精神障害者保健福祉手帳　1～3級所持者（ただし、精神疾患での入院は除く）

（所得制限）

市単独事業分については、平成23年8月より府の所得制限に加え、「本人が市町村民税非課税者」のみ該当

（制度拡充）平成24年9月～

訪問看護ステーションによる訪問看護療養費に係る医療についても対象

3　事業費の内訳

・旅　費　　14千円

・需用費　　74千円

・役務費　　3,042千円（府手数料1,260千円・市手数料1,530千円・郵送料）

・扶助費　231,558千円（府扶助費 124,186千円・市扶助費 107,372千円）

4　主な特定財源

府補助金　府補助対象者の扶助費・手数料の1/2

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7017　　内線 2138

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	未熟児養育医療給付事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,225	国	府	市債	その他	一般財源	
	600	300			325	0

1　事業の背景・目的

身体の発育が未熟なまま出生した乳児について、正常児が出生時に有する諸機能を得るために必要な医療にかかる費用の給付について、都道府県知事が処理している事務が平成25年4月からすべて市へ権限移譲されます。

2　事業の内容

出生時体重が2,000ｇ以下など医師が指定医療機関への入院養育を必要と認めた未熟児を対象とし、医療にかかる費用について医療保険各法より給付される額を除いた額を給付し、健やかな成長を支援するとともに対象世帯の経済的負担を軽減します。

3　事業費の内訳

・旅費　　7千円
・需用費　　4千円
・役務費　　14千円
・扶助費　1,200千円

4　主な特定財源

・未熟児療育医療給付事業（国）　　600千円
・未熟児療育医療給付事業（府）　　300千円

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7011　内線 2114

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	自立支援医療費（育成医療）給付事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,098	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,040	524			534	0

1　事業の背景・目的

身体に障害のある児童（１８歳未満）について、生活の能力を得るために必要な医療にかかる費用の給付について、都道府県知事が処理している事務が平成25年4月からすべて市へ権限移譲されます。

2　事業の内容

身体に障害のある児童、またはそのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童（１８歳未満）に対して指定医療機関の医師が効果が期待できると判断される治療にかかる費用について、医療保険各法より給付される額を除いた額を給付し、健やかな成長を支援するとともに対象世帯の経済的負担を軽減します。

3　事業費の内訳

・需用費　　3千円
・役務費　　15千円
・扶助費　　2,080千円

4　主な特定財源

・自立支援医療（育成医療）給付事業（国）　1,040千円
・自立支援医療（育成医療）給付事業（府）　524千円

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7011　内線 2114

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">民間保育所施設整備事業</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">105,302</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td>70,201</td><td></td><td></td><td>35,101</td><td>89,534</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

老朽化した花園保育園の全面改築と、多様な就労環境から夜間保育所のニーズも高まっています。

民間保育園の施設整備並びに夜間保育所の開設に伴う賃貸借料の補助を行い、保護者の就労支援をするとともに、安心・安全な保育環境を整備します。

2　事業の内容

保育に欠ける子どもの保育を良好な環境で実施するため、平成24年度から実施している民間保育所花園保育園の全面改築を継続し、平成25年度完成に係る保育所施設整備の補助金を支出します。

また、多様な就労環境に対応するため、夜間保育所を開設するにあたり、夜間保育所の賃貸借料に対する補助金を支出します。

3　事業費の内訳

・負担金補助及び交付金　　105,302千円

4　主な特定財源

・京都府こども未来基金　　70,201千円

担当課	福祉保健部 子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	中心市街地テナントミックス推進事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,300	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,650			1,650	3,300

1　事業の背景・目的

空き家・空き店舗等の積極的な有効活用を推進し、商店街の活性化と中心市街地の賑わいの創出、まちなか居住の促進を図るため、事業者に対し支援を行います。

2　事業の内容

中心市街地活性化エリアにおいて、福知山まちづくり株式会社並びに民間事業者等が国の補助金の採択を得て、空き家や空き店舗等を活用したテナントミックス事業を行う場合、その初期投資を軽減するための支援を行います。

3　事業費の内訳

○中心市街地テナントミックス推進事業補助金　　3,300 千円

○事業主体：福知山まちづくり株式会社、民間事業者等
（今年度からは福知山まちづくり株式会社以外の民間事業者等も対象とする。）

○補 助 率：国庫補助対象事業費の 1/9 の額（10 万円止め）
（国2/3・福知山市1/9・事業主体2/9）

4　主な特定財源

○みらい戦略一括交付金　　1,650千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4142

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	まちなみ環境整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
50,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	25,000				25,000	14,190

1　事業の背景・目的

城下町福知山のまちのシンボルである福知山城から京街道、新町、広小路界隈、御霊神社など一帯には江戸時代の『まち割り』から明治・大正・昭和の佇まいを残す町並みや建造物が数多く残っている。これらの歴史資産や文化を活用し、地元住民により定められた『福知山城下町東部地区街づくり協定』に基づく景観整備に対して支援を行うことで、福知山ならではの地域資源を生かした町並み形成を促進します。

2　事業の内容

地元住民により定められた『福知山城下町東部地区街づくり協定』に基づく重点区域において、協定に基づく修景整備に対して福知山市街なみ環境整備事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付します。

○修景助成

国補助：補助対象経費の1/3以内（市を介した間接補助）

市補助：補助対象経費の1/3以内

（補助金交付額は国補助と市補助を合わせた2/3以内）

ただし、補助金限度額は1件につき2,000千円

3　事業費の内訳

○負担金補助及び交付金

・街なみ環境整備事業補助金　　50,000千円

（3,000千円×25件×2/3（国1/3＋市1/3）＝50,000千円）

4　主な特定財源

○社会資本整備総合交付金（国補助）25,000千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4142

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	暮らし安心・住環境向上支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
12,039	国	府	市債	その他	一般財源	
					12,039	0

1　事業の背景・目的

高齢化社会の進展や防災への配慮等から、既存の住宅の改修制度との組み合わせにより、住宅の性能や機能の向上を促進し、日々の暮らしの安心・安全、住環境の向上に寄与します。

2　事業の内容

本市に存する住宅の所有者等が、次の制度によるバリアフリー改修・住宅耐震改修に基づく工事(「必須工事」という。)に併せて、各制度の補助対象とならない住宅の性能や機能を向上させる改修を行う場合、その費用の一部を助成します。

○必須工事

・すこやか住まい改修費助成事業
・介護予防安心住まい推進事業
・介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修費
・高齢者住宅改修費助成事業
・住宅耐震改修事業

○助成対象

必須工事と併せて行うことにより助成対象とする住宅等の機能の維持、向上のための工事で工事費用が５万円以上のもの

・屋外工事(屋根･外壁･雨樋･バルコニー等の改修、修繕工事)
・屋内工事(壁紙の貼替え･畳替え･建具の交換･床の改修工事･トイレ･風呂などの改修、修繕工事)
・設備改修(システムキッチンの設置など)　など

※対象とならない工事の例

・物置、車庫等の工事
・家具、調度品、電化製品の設置のみの工事
・造園、門扉、塀などの外構工事
・電話、インターネットの配線工事　など

○助成額　　工事費用の合計の１０％（上限１０万円）

○丹州材活用の場合の加算

本事業による住宅改修に丹州材を利用する場合、丹州材の使用量に応じて、助成額が加算されます。(丹州材活用促進事業)

3　事業費の内訳

○補助金　10,000千円　(100件×@100千円)
○賃　金　1,337千円　(臨時職員１名・16日勤務)
○事務費　702千円　(パソコンリース、パンフレット作成など)
合計　12,039千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4142

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	南天田団地建替事業（継続費）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
287,088	国	府	市債	その他	一般財源	
	82,500		101,100		103,488	191,392

1　事業の背景・目的

福知山市長寿命化計画に基づき、居住水準等の向上により安心、安全、快適環境を提供することを目的とし、南天田団地2期棟32戸（RC造6階建）を平成24年度から3か年の継続工事にて建設します。

2　事業の内容

市営住宅南天田団地2期棟32戸（RC造6階建、建築工事、機械設備工事、電気設備工事）を3か年の継続工事にて施工します。

3　事業費の内訳

事業名	年度	年割額	特定財源			一般財源
			国　府支出金	地方債	その他	
南天田団地建替事業（継続費）	２４	191,392	54,900	67,400	－	69,092
	２５	287,088	82,500	101,100	－	103,488
	２６	134,020	40,700	50,100	－	43,220
	計	612,500	178,100	218,600	－	215,800

4　主な特定財源

社会資本整備総合交付金

国費補助率45％

担当課	土木建設部建築課	電話	直通 24-7053　内線 4242

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
500,000	165,705		300,000		34,295	0

1　事業の背景・目的

平成12年度から稼動しているごみ焼却施設の機器設備や電気設備が、長期使用(13年間)により部品の磨耗が激しく、近年、稼動に支障を来たしています。

そのため平成24年度に策定した「長期整備計画」に基づき、基幹的設備改良事業（国庫補助事業）により、平成25年度から平成28年度までの4ヵ年、総事業費20億円の継続事業として修繕を行います。

2　事業の内容

循環型社会形成構築のため、長年使用により経年劣化、老朽化したごみ焼却施設の整備を図ります。

基幹的設備、機器の更新を適切な時期に計画的に行うことにより、施設の延命化を図ります。

3　事業費の内訳

工事請負費（継続事業分）　　基幹的設備改良事業　　500,000 千円

4　主な特定財源

国庫補助金

ごみ焼却施設基幹的設備改良事業　　165,705千円

廃棄物処理債

ごみ焼却施設基幹的設備改良事業　　300,000千円

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

施策名	人と自然が共生する・安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	ガス事業会計清算事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
143,800	国	府	市債	その他	一般財源	
				143,800		0

1　事業の背景・目的

平成25年4月1日付のガス事業民間譲渡に伴い、公営企業会計を閉鎖し、平成24年度ガス事業会計の清算及び決算整理を行うために必要となる事業です。

公営企業会計の閉鎖時に計上された未収入金の収入や、未払金として計上された経費の支払い及び決算整理完了までの間に継続して発生する費用を支出します。

2　事業の内容

（1）歳入

諸収入　雑入　ガス事業余剰金の収入

（2）歳出

諸支出金　公営企業費　ガス事業清算経費の支出

3　事業費の内訳

（1）歳入

諸収入　雑入

ガス事業余剰金収入　359,500千円

（内訳）ガス事業会計引継金　338,607千円

営業雑収益、営業外収益に係る未収入金ほか　20,893千円

[上記のうち、143,800千円を本事業の財源に充当]

（2）歳出

諸支出金　公営企業費

ガス事業清算経費　143,800千円

（内訳）　委託料　18,497千円 (ガス基地運転委託業務等)

原材料費　51,538千円 (ＬＮＧ,ＬＰＧ原料購入代等)

工事請負費　4,816千円 (ガス管受注工事費等)

その他　68,949千円 (公課費ほか)

担当課	ガス水道部総務課	電話	直通22-6503　内線72-370
	営業課		直通22-6500　内線72-210
	ガス課		直通22-4645　内線72-350

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	市庁舎耐震化・長寿命化改修事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
184,716	国	府	市債	その他	一般財源	
			175,400		9,316	6,800

1　事業の背景・目的

市本庁舎は、昭和51年9月に竣工した鉄筋コンクリート造、地下1階、地上6階建て（延べ面積13,607平方メートル)で、建築後36年が経過しており、現在の耐震基準を満たしていない建築物である。

このため、平成21年度に実施した市庁舎耐震診断結果に基づき、市役所本庁舎の耐震性能を満たすため耐震化を行うこととし、市民サービスの拠点施設として、また、地震災害時においても、災害対策の本部機能を担う施設として、市民の安心・安全を確保することとします。

2　事業の内容

市庁舎耐震診断結果に基づき、庁舎耐震改修工事を平成 25 年度から 3 か年計画で行います。

工事の工法は、建物に設置する制震装置（オイルダンパー）を設置することで地震エネルギーを吸収し、建物全体の揺れを抑える「制震工法」で施工します。

なお、工事の施工は、工事エリアを細分化し、執務を行いながら実施します。

また、耐震化にあわせ、便所等の改修が必要となる設備の大規模改修工事を同時に施工し、市庁舎の長寿命化を図ります。

3　事業費の内訳

工事請負費

	耐震化改修	長寿命化改修	計
平成25年度	141,316千円	43,400千円	184,716千円
平成26年度	508,594千円	50,700千円	559,294千円
平成27年度	156,230千円	47,300千円	203,530千円
計	806,140千円	141,400千円	947,540千円

※長寿命化改修内容

便所排水・2階吹抜手摺・受変電設備・誘導灯等改修工事他

4　主な特定財源

起債（合併特例事業債）　　175,400千円(平成25年度分)

担当課	総務部総務課	電話	直通 24-7036　内線 3211

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	めざせ！「救命の絆」世界一のまち事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	0	2,000	0

1　事業の背景・目的

市民自らの手で市民救命士を育成し、市内のどこで倒れても、近くの市民による応急手当で、**市民**から**救急隊**、そして**医療機関**へとつなぐ**「救命の絆」**世界一のまち「福知山」をめざします。

（1）福知山市の救命率（1ヶ月生存率）

全国平均に比して、約２倍と高い水準で推移しています。

（2）福知山市の抱える課題

しかし、管轄区域が広範なため、救急車の到着時間には限界があります。

（3）救命するためには

心停止後、約５分で救命率は 50%。

⇒５分以内の応急手当開始が救命率向上のキーワードです。

2 具体的な事業内容

（1）応急手当普及員※１の養成　⇒　平成 25 年度 30 人　平成 26 年度 30 人

（2）市民救命士※２の育成　⇒　応急手当普及員による育成　（指導員組織の設立）

※現在の市民救命士は 15,000 人。今後、応急手当普及員による指導で 20,000 人を育成し、35,000 人（1 世帯に１人）を目指します。

※１　応急手当普及員　⇒市民救命士の育成指導者（24 時間の消防職員による講習受講者）
※２　市 民 救 命 士　⇒心臓マッサージ・AED 等の応急手当を習得された市民（3 時間の応急

3　事業費の内訳

市民救命士の講習に必要な救急訓練用資器材の購入　2,000 千円

（内訳）	訓練用人形	30 体	750 千円
	ＡＥＤトレーナー	30 個	600 千円
	普及員用ユニフォーム	60 着	300 千円
	訓練用人形用消耗品等		350 千円

4 めざす将来像

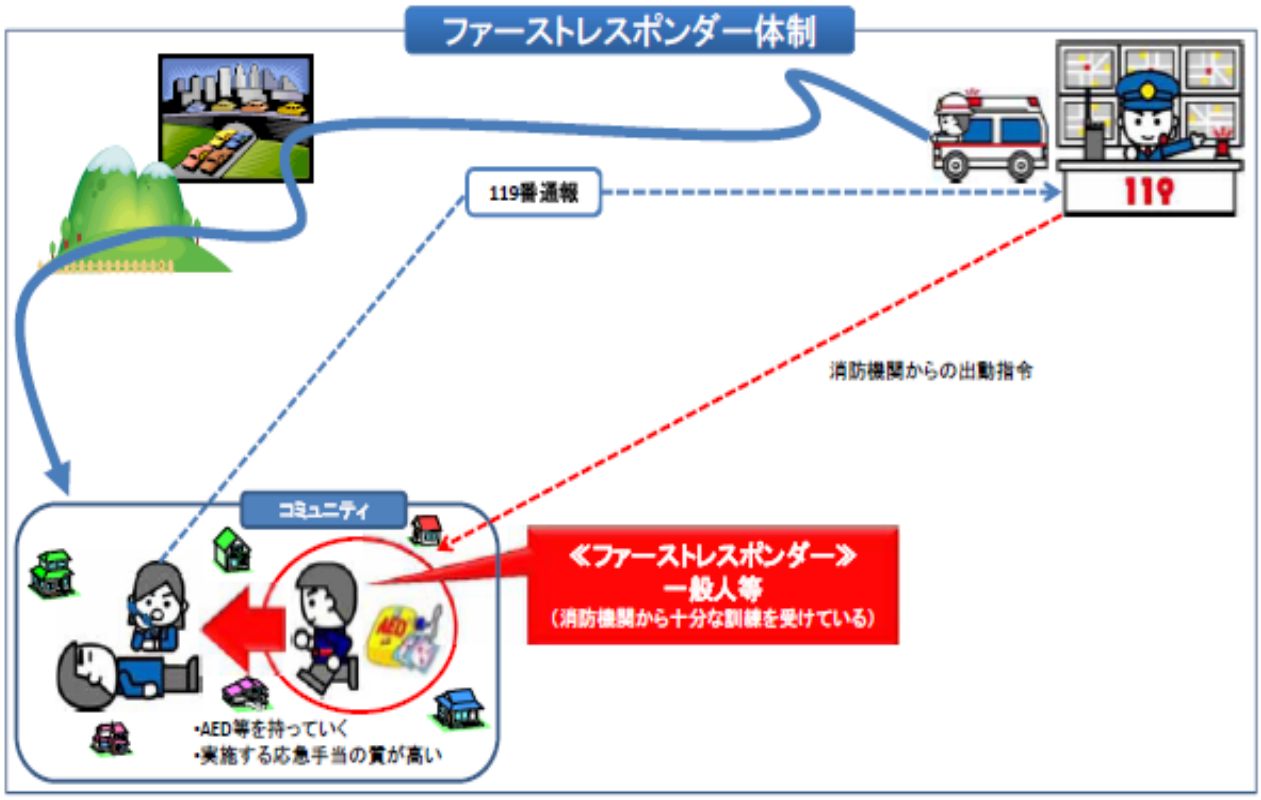
市民との救命の協働体制を確立し、次の二つの事項を推進していくことで、「救命の絆」世界一のまち「福知山」をめざすものです。

（1）１世帯１人の市民救命士が全地域に誕生

（2）「市民によるファーストレスポンダー体制※３」の確立

※3　ファーストレスポンダー体制（イメージ図⇒次ページ）

応急手当に関して十分な訓練を受けた市民が、いち早く傷病者に駆け付け、心臓マッサージを開始。救急隊に引継ぎ医療機関へ搬送することにより救命率向上を図る体制。



担当課	消防署警防課	電話	直通 23-0119　内線 2420＋102

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	公誠子ども教室事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,389	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,592			797	2,149

1　事業の背景・目的

国の提唱する「放課後子どもプラン」（府事業名「京のまなび教室推進事業」）の推進と、学校統廃合による公誠小学校の休校に伴う「地域に子どもの声が残るように」という教育的配慮から、公誠子ども教室を実施します。

公誠小学校区在住の児童に対し、放課後等における安全で健やかな居場所づくりと心豊かな青少年の育成を図るとともに、地域の子どもを地域で育てることで、住民の相互理解を深める世代間交流の場を設け、地域の活性化を図ります。

2　事業の内容

公誠地域の住民で構成された「公誠まなびの教室運営委員会」（事務局は北陵コミセン）と連携し、旧公誠小学校区の児童を対象に学童保育を行う。

地域住民に参画してもらい、子どもたちの安全な居場所の確保を図るとともに、スポーツ活動、文化活動や自然体験などを通して、子どもたちを心豊かに育む。

3　事業費の内訳

報償費　講師謝礼　安全管理員謝礼 2,241,600円
　　コーディネーター謝礼 17,280円
　　学習アドバイザー謝礼 64,800円
需用費　消耗品費　事務用品・用紙その他教室運営用工作材料等 41,000円
　　燃料費　冬季ストーブ燃料費 23,760円

4　主な特定財源

京のまなび教室推進事業費補助金
1,592千円
補助率2/3
（内　国負担1/3、府負担1/3）

〈子ども教室の風景〉

担当課	教育委員会 生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5142

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	勤労青少年ホーム耐震改修事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,000	国	府	市債	その他	一般財源	
			2,000			1,800

1　事業の背景・目的

勤労青少年ホームは、市内の中小企業に勤務する勤労青少年の皆さんの福祉と仲間づくりを目的に昭和50年3月に竣工し、以来36年が経過するなかで、勤労青年をとりまく社会環境の変化に伴い今日的にはその目的が達成したと考えられます。そこで、いじめなど子どもたちを取り巻く今日的課題を克服するとともに、教職員の資質向上を図るための機能をもたせ、施設としてさらに活用するために、平成２５年度は昨年度に実施した耐震診断に基づいた耐震改修工事の設計を行います。

2　事業の内容

平成２４年度に実施した耐震診断に基づいた耐震改修工事の設計業務委託

3　事業費の内訳

委託料　2,000,000円

4　主な特定財源

緊急防災・減災事業債　2,000千円×100％＝2,000千円

担当課	教育委員会 生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5142

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	桃映中学校北校舎改築事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
160,782	国	府	市債	その他	一般財源	
	35,928		103,700		21,154	0

1　事業の背景・目的

耐力度の低い危険な校舎を改築し、安全・安心の確保を図ります。

桃映中学校北校舎については、耐力度が4,135点（5,000点以下で改築の対象）のため改築を実施します。

2　事業の内容

桃映中学校北校舎改築工事（平成25～26年度の継続工事）

建築確認申請等の関連事務

3　事業費の内訳

北校舎改築工事費　160,000千円（全体工事費400,000千円）

確認申請等事務経費　782千円

4　主な特定財源

学校施設環境改善交付金　35,928千円

学校教育施設等整備事業債　103,700千円

（現在の桃映中学校北校舎）

担当課	教育委員会 教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5114

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	中学校配膳員配置事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
18,247	国	府	市債	その他	一般財源	
					18,247	0

1　事業の背景・目的

旧福知山市内の中学校給食開始に伴う配膳員を配置することにより、安全安心で円滑な給食の実施を行います。

2　事業の内容

旧福知山市内の6中学校に配膳員を23人配置します。
また、各校2人ずつの学校用務員も配膳員を兼務します。

旧福知山市内の6中学校の給食開始日　平成25年4月30日

3　事業費の内訳

中学校給食配膳員賃金　17,485千円
中学校配膳員被服料（配膳員 23 人＋用務員 12 人）　184 千円
中学校配膳員保菌検査手数料（配膳員23人＋用務員12人）　578千円

担当課	教育委員会 教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5112

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	見守り活動支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
864	国	府	市債	その他	一般財源	
					864	0

1　事業の背景・目的

平成24年4月に亀岡市の事故が発生し、ハード面の対策が進められる中で、ソフト対策としてそれぞれの地域にある見守り隊への見守り活動を支援します。

2　事業の内容

通学路における不審者や交通安全の対策として見守り活動の充実のために、見守り活動やパトロールに要する用品を支給します。

3　事業費の内訳

見守り活動用ベスト・・・・・・・・・・・・・864千円

1800円×24地区×20枚＝864,000円

担当課	教育委員会 学校教育課	電話	直通 24-7063　内線 5128

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	学校給食管理運営事業（市給食センター）					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
168,971	国	府	市債	その他	一般財源	
					168,971	0

1　事業の背景・目的

福知山市学校給食センターと三和学校給食センターの老朽化のため、また文科省による学校給食衛生管理基準の改定に伴い、ドライ方式による新学校給食センターの整備がすすめられました。新衛生管理基準に準拠した調理方式により、これまで以上に安全安心な完全給食を全市立学校へ供給できるようになります。

2　事業の内容

新学校給食センターの施設運営管理を行います。

新学校給食センターの運用を開始することにより、旧市内6中学校を含む全33市立学校への完全給食が可能となりました。

あわせて夜久野学校給食センター、大江学校給食センターの調理配送業務委託も契約を1本化し、経費節減、事務の効率化を図ります。

3　事業費の内訳

委託料	105,485千円
（うち調理配送業務委託（３ｾﾝﾀｰ分）	104,885千円）
需用費	60,206千円
（うち光熱水費（電気・上下水道・ｶﾞｽ）	59,353千円）
役務費	2,533千円
（うち手数料	2,001千円）
負担金補助及び交付金（学校給食会交付金）	461千円
使用料及び賃借料	212千円
公課費、旅費	74千円

〔新学校給食センター〕

〔調理室〕

担当課	教育委員会 学校給食センター	電話	外線 23-5766

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	小学校・中学校学校図書整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
20,000				20,000		3,000

1　事業の背景・目的

本市の学校図書館の蔵書冊数は、近隣他市と比較して低い状況です。

情報化社会で多くの情報の中から自らが必要な情報を収集し、選択し活用する能力が求められている一方で、子どもの読書離れが指摘されており、その読書離れを防ぐために学校図書館の果たす役割が一層大きく期待されています。

その役割を果たすために、重点的に図書を購入し、学校図書館の環境を充実させます。

「新しく、旬の、学校が希望される本」を整備することで、子どもたちの講読意欲を高めることができます。

2　事業の内容

現在の本市の小中学校の学校図書館の平均蔵書冊数は、文部科学省が定める学校図書館の標準蔵書冊数を下回っています（小学校65.7%、中学校65.1%）。

整備目標はあくまでも標準の100%とし、まずは各校それぞれが各校の基準冊数の70%に到達することを目指し、不足冊数に応じて購入します。

また、本事業は「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金」を財源とし、均等割として全校へ一律配分した分で購入した図書を佐藤文庫（仮称）として各校に設置します。

3　事業費の内訳

備品購入費　　小学校・中学校　それぞれ　10,000,000円

〔小学校〕

均等割（佐藤文庫（仮称））1,200円 × 100冊 × 24校 ＝ 2,880,000円

不足冊数割　7,120,000円

〔中学校〕

均等割（佐藤文庫（仮称））1,400円 × 100冊 × 9校 ＝ 1,260,000円

不足冊数割　8,740,000円

【参考】

文部科学省が定める学校図書館の標準蔵書冊数に対する蔵書率と整備見込

	H24末 平均蔵書率	H25 購入予定冊数	H25購入後 平均蔵書率（見込）
小学校	65.7%	8,333冊	70.6%
中学校	65.1%	7,142冊	73.7%

担当課	教育委員会 教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5113

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	小学校耐震改修事業 中学校耐震改修事業 幼稚園耐震改修事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
12,240	国	府	市債	その他	一般財源	
	3,932		7,400		908	75,638

1　事業の背景・目的

学校施設の耐震化を行い、生徒等の安全と安心の確保を図ります。耐震補強工事を実施するための実施設計等を行います。

2　事業の内容

実施設計

小学校　昭和小学校管理棟以下 2棟
中学校　桃映中学校体育館以下 3棟
幼稚園　大正幼稚園園舎以下　4棟

耐震改修検討委員会の設置

国指定文化財の惇明小学校管理棟の補強・改修に係る検討委員会の設置

3　事業費の内訳

検討委員会経費　440千円
実施設計業務委託　11,800千円

4　主な特定財源

住宅・建築物安全ストック形成補助金　3,932千円
過疎対策事業債　1,000千円
旧合併特例事業債　6,400千円

（上六人部小学校　H24 年度施工）

（昭和小学校　H24 年度施工）

担当課	教育委員会 教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5114

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	スクールサポーター配置事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
20,453	国	府	市債	その他	一般財源	
					20,453	21,151

1　事業の背景・目的

小中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする子どもたちに対して、個々に応じた教育的対応が求められています。

2　事業の内容

障害のある児童生徒や日本語理解が不十分な児童生徒を、教室において担任教師と連携して支援していきます。

3　事業費の内訳

臨時職員賃金（児童生徒の困難度により週時間を決定）

920円/時間×25時間/週×39週×11名＝9,867,000円
920円/時間×20時間/週×39週×11名＝7,893,600円
920円/時間×15時間/週×39週×　3名＝1,614,600円
920円/時間×10時間/週×39週×　3名＝1,076,400円
・・・・・・・・・20,451,600円≒20,453千円

担当課	教育委員会 学校教育課	電話	直通 24-7062　内線 5122

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	心の安定基地つくり推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,647	国	府	市債	その他	一般財源	
		3,000			4,647	7,379

1　事業の背景・目的

不登校総合対策事業として、学校と連携を密にして、不登校の児童生徒に対して、適切な援助や指導体制をとり、不登校児童生徒の減少と自立を目指すとともに、教育相談の充実を図ります。

2　事業の内容

○訪問指導員の配置（4人）

不登校児童生徒の未然防止・早期対応を図るため、学校に訪問指導員を配置し、学校に行きにくい児童や家庭を支援します。

○訪問指導専門員の配置（1人）

学校と連携を図り、不登校児童生徒宅の訪問や情報交流等を通して、児童生徒・保護者を支援し、学校復帰や自立を目指します。

○不登校対策コーディネーターの配置

学校と連携を密にし、分析や施策立案を行います。

○教育相談の実施

教育に関する相談に教育相談員と臨床心理士があたります。
市外から来福する臨床心理士に旅費を支給します。

○適応指導教室「けやき広場」の運営

不登校児童生徒が通級し、指導員の個々に応じた対応のもと、自立・学校復帰を目指します。

3　事業費の内訳

賃金（訪問指導員・不登校コーディネーター）・2,735千円
謝礼（カウンセリング講座講師他）・・・・・・　100千円
臨床心理士謝礼（3人・週3日）・・・・・・・・　3,528千円
旅費（講師旅費・研究協議会旅費他）・・・・・　631千円
需用費（インク・教材資料・画用紙他）・・・・　107千円
役務費（電話料・通信料・郵送料）・・・・・・　250千円
補助金（遠隔地通級の交通費補助・宿泊学習補助）142千円
その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　154千円

4　主な特定財源

京都府みらい戦略一括交付金　　3,688千円

担当課	教育委員会 学校教育課	電話	直通 24-7040　内線 5124

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
30,250	国	府	市債	その他	一般財源	
				30,250		0

1　事業の背景・目的

平成26年6月の新図書館オープンに向けて、「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金」を有効に活用し、中央館のみならず三和・夜久野・大江の３分館の図書の充実を図るため、平成25年度は、新図書館用の児童書の充実と、三和・夜久野・大江分館の児童書の刷新を図り、子どもたちが読書に親しめる環境づくりをします。

2　事業の内容

（１）児童用資料購入事業

①閲覧用図書購入経費　26,633千円（約16,224点）

・中央館　21,044千円（約13,930点）
・三和分館　1,000千円（約500点）
・夜久野分館　1,500千円（約750点）
・大江分館　1,000千円（約500点）
・視聴覚資料　2,089千円（約544点）

②書誌データ及びＩＣタグ作成業務委託料　3,267千円

・書誌データ　1,904千円
　図書分　90円×15,680点×1.05≒1,482千円
　ＣＤ分　800円×460点×1.05≒387千円
　ＤＶＤ分　400円×84点×1.05≒35千円
・ＩＣダグ　80円×16,224点×1.05≒1,363千円

③基金事業啓発経費　シール印刷　100千円

（２）子ども読書活動支援事業

・「子ども読書の日」記念講演会、ボランティア養成講座、夏休み子ども講座など、子どもたちに本の楽しさを伝える事業の実施　250千円

3　事業費の内訳

報償費／講師謝礼　220千円
旅費／　講師旅費　30千円
需用費／印刷製本費　100千円
委託料／書誌データ及びＩＣタグ作成業務委託料　3,267千円
備品購入費／図書／閲覧用図書　26,633千円

4　主な特定財源

佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金繰入金　30,250千円

担当課	教育委員会 図書館中央館	電話	直通 22-3225　内線 5162

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	北陵地域体育館耐震改修事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
6,000			6,000			0

1　事業の背景・目的

昭和54年度に建設された北陵地域体育館は、災害時の広域避難所等の機能を持つ地域拠点施設です。

平成22年度に広域避難所として耐震診断調査を実施し、その結果、耐震補強工事が必要と診断されています。

広域避難所の機能を有している北陵地域体育館の耐震性の確保は急務であり、地域住民の安心・安全を確保するために耐震補強改修を行います。

2　事業の内容

北陵地域体育館の耐震補強改修工事を実施します。

3　事業費の内訳

・委託料／測量設計・施工監理業務／測量・設計業務

北陵地域体育館耐震補強改修工事にかかる設計委託　　1,500千円

・工事請負費／工事請負費／北陵地域体育館耐震改修工事

北陵地域体育館耐震補強改修工事　　4,500千円

4　主な特定財源

・辺地対策事業債　　6,000千円×100％＝6,000千円

〔北陵地域体育館〕

担当課	教育委員会 中央公民館	電話	直通 22-9551　内線 5170

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	天然記念物等総合調査事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
2,000					2,000	1,000

1　事業の背景・目的

福知山市の文化、深い歴史を育んだ豊かな自然を保全保護し、活用していくことは福知山市行政の責務であり、天然記念物を頂点とした保全の形の基礎として調査・資料化が必要です。調査内容を福知山市の資産として活用、発信を図ることが可能なように資料化することを目的とします。

事業の実施により福知山の自然の価値を行政が認識していることを示すことができるほか、市民参加型の公開調査、普及版冊子などの事業展開を通し、自然・環境保護に関心のある市民と文化財の保護を結びつけ、将来的な市民協働の基礎とすることも目的とします。

【H23,24年度実績】

・実行実行委員会定例会議(月１回)、分野別現地調査(月2～3回)
・情報募集「あなたがおもうふくちやまの自然」実施　(情報総数518件)
・公開調査フィールドワーク開催(6回)

2　事業の内容

３か年計画の最終計画年度

市域に所在する自然の詳細を調査し、その所在を明らかにした冊子(仮)「福知山の自然遺産」を作成するとともに、天然記念物として保全する方法を検討します。

現地調査、報告書作成(報告書500円×100部、普及版1,200円×1000部)

調査実行委員会を中心に、府下大学関連等の学識経験者の協力を得て、調査を進めています。

3　事業費の内訳

総事業費2,000千円

【賃金等】	臨時職員賃金	35千円
【報賞費】	調査委員・講師謝礼	296千円
【旅　費】	委員、調査員、担当者旅費	14千円
【需用費】	消耗品、燃料費、印刷製本費	1,485千円
【その他】	保険料等	170千円

担当課	教育委員会 生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5151

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	佐藤太清記念美術館特別展事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
30,807	国	府	市債	その他	一般財源	
				30,807		2,967

1　事業の背景・目的

平成25年に福知山市名誉市民で文化勲章受章者佐藤太清画伯生誕100年の記念の年を迎えます。佐藤太清画伯の名を冠する美術館を有する福知山市が、全国6会場の「生誕100年佐藤太清展」巡回の事務局として実行委員会を組織して100年展を実施することにより、佐藤太清画伯の業績の顕彰、後世への継承ならびに福知山市のＰＲにつとめます。また、美術館において特別展を開催し、市民に親しまれる美術館をめざします。

2　事業の内容

平成25年度生誕100年佐藤太清展巡回展（全国６箇所）の実行委員会運営ならびに運営業務経費及び直営事業の経費とします。巡回展は富山県立水墨美術館・板橋区立美術館・京都文化博物館・茨城県立天心記念五浦美術館で開催。26年度岡山県新見美術館・佐藤太清記念美術館で開催予定。

また、佐藤太清記念美術館で京都府収蔵「京都心の百景」展、並びに市内作家（市展委嘱作家クラス）の展覧会を実施します。

3　事業費の内訳

(1)生誕100年佐藤太清展　30,016千円

内訳：講師謝礼40千円／旅費800千円／消耗品82千円／印刷製本1,066千円
／郵送料28千円／委託料500千円／使用料500千円
／実行委員会分担金27,000千円

(2)京都心の百景展　691千円

内訳：旅費21千円／消耗品20千円／印刷製本75千円／郵送料28千円
／看板書替47千円／委託料500千円

(3)市内作家展　100千円　内訳：委託料100千円

4　主な特定財源

基金繰入（佐藤太清記念美術館整備基金）30,807千円

担当課	地域振興部 まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3133

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	体育施設設備整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
17,929	国	府	市債	その他	一般財源	
			8,400	210	9,319	8,988

1　事業の背景・目的

体育施設の設備等の整備改修を行い、施設の充実と使用者の利便性・安全性の向上を図ります。

2　事業の内容

体育施設の設備等の整備・改修を実施します。

3　事業費の内訳

（１）委託料　1,400千円

・市民体育館耐震改修に伴う実施設計業務委託料

（２）工事請負費　16,000千円

・有路下体育館耐震改修工事　7,000千円

・市民運動場野球場改修工事　9,000千円

（市民運動場野球場外野フェンス改修工事　9,000千円）

（３）備品購入費　529千円

・市民運動場庭球場用長椅子購入

20,000×10脚×1.05＝210千円

・由良川猪崎河川敷運動広場簡易防球ネット３基

90,000円×2基×1.05＝189千円（エバニューEKC144）

・市民体育館卓球IFサポートセット

4,500円×20セット×1.05＝94千円

・由良川猪崎河川敷運動広場仮設トイレ簡易式座椅子

11,000円×3基×1.05＝34千円

4　主な特定財源

市民運動場野球場広告収入　210千円

（10,000円/月×1.05×4件×5ヵ月＝210,000円）

体育施設整備事業（過疎対策債）　7,000千円

体育施設整備事業（防災対策事業債）1,400千円

担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通24－7069　内線5147

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	（仮称）福知山北部地域多目的グラウンド整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
81,818	国	府	市債	その他	一般財源	
			77,100		4,718	145,000

1　事業の背景・目的

多目的グラウンドを整備することにより、住民のコミュニティの維持と市民の健康増進を図ります。

2　事業の内容

（仮称）福知山北部地域多目的グラウンドの整備工事費　81,818千円

・工事の概要

グラウンド整備工事（上下水道場内配管、場内舗装、防球フェンス設置、駐車場・トイレ管理用照明灯設置工事他）

・業務の概要

多目的トイレ等グラウンド設備設計業務、進入路測量設計業務、残地森林保全業務委託、公共嘱託登記業務他に要する経費

3　事業費の内訳

役務費	344千円
委託料	17,640千円
（ 多目的トイレ等グラウンド整備設計業務	3,900千円 ）
（ 進入路測量設計業務	10,000千円）
（ 公共嘱託登記業務	3,240千円）
（ 残地森林保全業務	500千円）
工事請負費	63,500千円
（ グラウンド整備工事	63,500千円）
負担金補助及び交付金	334千円
計	81,818千円

4　主な特定財源

（仮称）福知山北部地域多目的グラウンド整備事業（合併特例事業債）

77,100千円

5　参考　　平成２３年度⇒用地購入　97,105千円

平成２４年度⇒グラウンド整備工事費　145,000千円

担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通24－7069　内線5147

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	国民健康保険事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,970,900	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,823,756	410,370		5,736,774		8,160,500

1　事業の背景・目的

職場の健康保険など他の医療保険に加入していないすべての市民を対象に、法律に基づき国民健康保険事業を運営しています。

国民健康保険の保険者として、保険給付をはじめ被保険者の健康保持・増進のための保健事業、これらの事業の財源に充てるための保険料の賦課・徴収などを行います。

2　事業の内容

【主な事業】

○保険料の賦課・徴収

年々増大する医療費支出に対応する保険料の賦課については、前期高齢者を中心に保険給付費の支出が増加しており、大変厳しい経済状況下ではありますが、国保事業を安定して運営するために被保険者に保険料の負担増をお願いすることといたしました。保険料全体における一人あたりの平均保険料は102,153円（5.14%引き上げ）となります。

○国保人間ドック事業　　予算額：19,890 千円（24 年度比　2,977 千円増）

対　象　保険料滞納がない世帯で、受診日に満 30 歳以上の国民健康保険被保険者
受診見込人員　　800 人（24 年度比　120 人増の見込）
人間ドック費用　　35,000円
自己負担額　　10,500 円（24 年度と同額）
受診方法　　市内の指定医療機関で受診

○特定健康診査等事業　　予算額：51,835 千円

対　象　　受診日に満 40 歳以上の国民健康保険被保険者
受診見込人員　　4,000 人（集団 1,500 人、個別 2,500 人）（24 年度と同じ）
自己負担額　　500 円　※70 歳以上、非課税世帯は無料（24 年度と同額）
受診方法　　集団健診（各保健福祉センター・地域公民館など）
　　個別健診（市内の指定医療機関）

＊満75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者については別途健診事業あり。

3　事業費の内訳　　計　　7,970,900千円　　（　）内%は予算構成比率

総務費（人件費、物件費）	149,945千円	（ 1.9%）
保険給付費	5,511,128千円	（69.1%）
後期高齢者支援金、介護納付金など	1,368,980千円	（17.2%）
共同事業拠出金	783,489千円	（ 9.8%）
保健事業費（国保検診ほか）	99,916千円	（ 1.3%）

その他		7,442千円	(0.1%)
予備費		50,000千円	(0.6%)
4 主な特定財源		( ) 内%は予算構成比率	
保険料(税)	1,567,157千円	(19.7%)	
国庫支出金	1,823,756千円	(22.9%)	
療養給付費交付金	436,375千円	(5.5%)	
前期高齢者交付金	2,281,604千円	(28.6%)	
京都府支出金	410,370千円	(5.1%)	
共同事業交付金	837,675千円	(10.5%)	
一般会計繰入金	594,216千円	(7.5%)	

担当課	市民人権環境部 保険課	電話	直通 24-7015・24－7019 内線 2261、2265

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	国民健康保険診療所費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
46,700	国	府	市債	その他	一般財源	
				46,700		45,600

1　事業の背景・目的

国民健康保険の被保険者の診療やその他の便益を図り、住民の健康を保持するために雲原診療所を設置運営します。

2　事業の内容

診療日　　毎週月曜日・水曜日・金曜日

医　師　　市民病院からの派遣

3　事業費の内訳

歳入

診療所診療収入	33,600千円
国保特別会計繰入金	3,000千円
一般会計繰入金	9,998千円
その他（手数料・雑入）	102千円

歳出

診療所管理費	25,918千円
医業諸費	19,657千円
元利償還金	125千円
予備費	1,000千円

4　主な特定財源

国民健康保険調整交付金	3,000千円
一般会計繰入金	9,998千円

担当課	市民人権環境部 保険課	電話	直通 24-7019　内線 2265

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	休日急患診療所費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
21,900				21,900		21,800

1　事業の背景・目的

休日において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診療を提供することにより市民が安心して生活できる環境を整備するため、昭和５２年から福知山市休日急患診療所を社団法人福知山医師会、福知山薬剤師会の協力を得て、実施している。

2　事業の内容

（1）診療科目　　内科・小児科

（2）診 療 日　　日曜日、祝日
１２月２９日・３０日・３１日、１月１日・２日、３日
（＊年間７１日開設）

（3）診療時間　　午前９時～午後０時３０分（受付時間午前９時～正午）
午後１時３０分～午後６時（受付時間午後１時３０分～午後５時３０分）

3　事業費　　21,900千円
・総務管理費　7,240千円
・医業費　14,153千円
・公債費利子　7千円
・予備費　500千円

4　主な特定財源
・一般会計繰入金　9,196千円

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6200

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,177,100	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,775,877	1,022,303		4,378,920		6,943,000

１　事業の背景・目的

平成１２年度からスタートした介護保険制度は、介護を社会全体で支える仕組みとして定着してきました。

しかし、一方で介護や支援を必要とする方の急増による給付費の増大、認知症や一人暮らし高齢者の増加など様々な環境や状況の変化から見直しを迫られ、数度にわたり制度の改正も行われてきたところです。

市町村は、介護保険の保険者として、第１号被保険者（６５歳以上の方）の保険料賦課徴収、介護認定、各種負担軽減制度の実施、介護保険制度の周知、地域密着型サービス事業所の指定・指導、介護給付費の支払い、福祉用具・住宅改修の許可など様々なサービスの提供やそれに関連する事務を行っています。そのほかにも、地域支援事業として、地域包括支援センターと連携しながら、介護予防事業や保険外の各種事業にも取り組んでいます。

これらにかかる経費を予算化するものです。

２　事業の内容

（１）一般管理費　・介護保険運営にかかる事務費、人件費
（２）賦課徴収費　・介護保険料の賦課徴収にかかる事務費、人件費
（３）介護認定審査会費　・介護認定にかかる事務費、人件費
（４）保険給付費　・介護給付費として、国保連合会等に支払う経費
（５）介護予防事業費
　・二次予防対象者把握、訪問型・通所型介護予防、訪問リハビリなど、介護予防にかかる経費
（６）包括的支援・任意事業
　・介護用品、安心生活見守り、配食サービスなど介護保険外で任意に行う事業にかかる経費
（７）基金積立金　・介護給付費準基金の利子積立
（８）公債費　・基金繰替運用利子
（９）予備費　・緊急対応時に備えた予算
（10）償還金及び還付加算金　・第１号被保険者保険料還付金

３　事業費の内訳

（１）一般管理費　148,250千円
（２）賦課徴収費　19,692千円
（３）介護認定審査会費　52,997千円
（４）保険給付費　6,789,715千円

（５）介護予防事業費（人件費除く）　37,309千円
（６）包括的支援・任意事業（人件費除く）　116,604千円

（７）基金積立金　317千円
（８）公債費　96千円
（９）予備費　10,000千円
（10）償還金及び還付加算金　2,120千円
計　7,177,100千円

４　主な特定財源

介護保険料（現年度分）	1,260,817千円
介護保険料（滞納繰越分）	3,338千円
督促手数料他	251千円
介護給付費国庫負担金	1,217,443千円
調整交付金	492,254千円
地域支援事業交付金（国庫補助分）	66,180千円
支払基金交付金	1,984,387千円
介護給付費府負担金	989,213千円
地域支援事業交付金（府補助分）	33,090千円
財産収入	317千円
一般会計繰入金	1,068,070千円
基金繰入金	60,404千円
延滞金	300千円
雑入	1,036千円
計	7,177,100千円

担当課	福祉保健部 高齢者福祉課	電話	直通 24-7013　内線 2148

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
30,600	国	府	市債	その他	一般財源	
				30,600		25,900

1　事業の背景・目的

高齢化が進み、要支援認定者（介護予防サービス対象者）が増加傾向にあります。この要支援者を対象にした介護予防サービスの介護予防ケアプラン作成については、地域包括支援センターが受け、直轄で作成を行う分と、その他の介護支援事業所に委託する分があります。この介護予防ケアプラン作成等にかかる経費の予算計上を行います。

2　事業の内容

（１）地域包括支援センター運営事業　932千円

・センター運営にかかる事務費。本庁と支所を結ぶパソコン・ソフトウエアの長期継続契約がきれたため、平成24年度予算（1,307千円）に比べて、△375千円の減額となっています。

（２）地域包括支援センター運営事業（人件費）　11,876千円

・プランを作成するセンター職員の人件費。平成24年度までは、3人分の人件費をとっていましたが、平成25年度から4人分の人件費をとることとしたため、平成24年度予算(8,973千円)に比べて2,903千円の増額としています。

（３）居宅介護支援事業費　17,621千円

・センターから介護支援事業所にプラン作成を委託する委託経費。プラン作成数の増加から平成24年度予算(15,376千円)に比べて2,245千円の増額となっています。

（４）基金積立金　65千円

・介護サービス事業基金にかかる利息を積み立てます。

（５）一時借入金利子　6千円

・支払いのために一時借入金（基金繰替運用）を行う際の利息。平成24年度までは、一時借入金利子として予算を組んでいましたが、平成25年度は基金繰替利子として積算します。そのため、平成24年度予算（44千円）に比べて、△38千円の減額となっています。

（６）予備費　100千円

・不足の事態に備えて予備費を計上します。

3　事業費の内訳

（１）地域包括支援センター運営事業　932千円

・消耗品費　394千円、電信・電話料　46千円、
システム保守委託料　492千円

（２）地域包括支援センター運営事業（人件費）　11,876千円

・嘱託職員　４名分

（３）介護予防サービス計画作成事業　17,621千円

・センターで受けるプラン作成のうち、介護支援事業所に委託する委託料（委託率58％）

（４）基金積立金　65千円

（５）一時借入金　6千円

（６）予備費　　100千円

４　主な特定財源

介護予防サービス計画作成料　　30,535千円

介護サービス事業基金利子　　65千円

担当課	福祉保健部 高齢者福祉課	電話	直通 24-7013　内線 2148

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	後期高齢者医療事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,882,000	国	府	市債	その他	一般財源	
				1,882,000		1,798,700

１　事業の背景・目的

75歳以上の高齢者を対象とした制度である。京都府後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、高齢者の医療の確保に関する法律第４８条に規定する後期高齢者医療の事務を行う。

２　事業の内容

（１）一般管理費　　・後期高齢者医療事業運営に係る一般経費。

（２）一般管理費（人件費）　・後期高齢者医療事業運営に係る人件費。

（３）後期高齢者医療保険料徴収事業

・京都府広域連合が賦課を行った保険料を市が徴収を行う。

（４）後期高齢者医療広域連合納付金

・京都府後期高齢者医療広域連合規約に基づき算出された納付金を納める。

① 共通経費

広域連合の組織運営に要する事務費負担金

② 保険料納付金

特別徴収、普通徴収により徴収した保険料負担金

③ 保険基金安定負担金

低所得者等の保険料軽減分を公費補填する負担金

④ 療養給付費負担金

療養の給付に要する負担金

（５）後期高齢者医療保健事業

・疾病予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制する。

（６）後期高齢者医療人間ドック

・疾病予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制する。

（７）公債費　　・一時借入金の利子

（８）保険料還付金　　・保険料の還付金

（９）予備費　　・緊急対応時の備えた予算

３　事業費の内訳

（１）一般管理費　　8,674千円

（２）一般管理費（人件費）　　20,056千円

（３）後期高齢者医療保険料徴収事業

・旅費　　14千円

・需用費　　533千円

・役務費　　2,654千円

（４）後期高齢者医療広域連合納付金

・共通経費負担金	23,799千円
・療養給付費負担金	824,767千円
・保健基盤安定負担金	227,670千円
・保険料等負担金	739,223千円

（５）後期高齢者医療保健事業

・賃金	947千円
・需用費	215千円
・役務費	701千円
・委託料	22,176千円
・使用料及び賃借料	13千円

（６）後期高齢者医療人間ドック事業

・需用費	68千円
・役務費	20千円
・委託料	5,985千円

（７）公債費	100千円
（８）保険料還付金	1,385千円
（９）予備費	3,000千円

４　主な特定財源

・特別徴収保険料（現年分）	477,695千円
・普通徴収保険料（現年分）	240,653千円
・普通徴収保険料（過年度分）	2,740千円
・証明手数料	1千円
・督促手数料	225千円
・一般会計繰入金	1,124,837千円
・保険料延滞金	374千円
・保険料還付金	1,385千円
・健康診査事業補助金	16,289千円
・広告収入	40千円
・繰越金	17,761千円

担当課	福祉保健部 高齢者福祉課	電話	直通 24-7018　内線 2145

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	病院事業（市立福知山市民病院）					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
10,984,700	14,000	340,350		10,630,350		9,761,600

1　事業の背景・目的

市民病院は福知山市域のみならず広域化する医療ニーズに対応するため引き続き医療機能の拡充を行うとともに平成24年3月に京都府から北部地域では初の指定を受けた「地域救命救急センター」の機能や透析医療の拡充のための事業を実施します。

2　事業の内容

【主な事業】救命救急棟建築事業

敷地内に新たに救命救急棟を建築し、重篤な救急患者等の専門的な受入施設として整備します。また、同棟の中に透析病棟を設置し、増え続ける透析患者に対応できる施設・設備の整備を進めます。

○建築位置　　敷地内（本館と外来立体駐車場との間）
○建築面積等　　ＲＣ造り　地上４階建て　延べ床面積　3,200㎡
○各階機能　　１階　救急外来、治療室
　　２階　透析病棟
　　３階　救急専用病床（ICU、CCU等）
　　４階　機械室、受電室、発電機室等
○事業実施年度　平成２５年度～平成２６年度
○総事業費　　１，６０７，５４２千円
　　（うち平成２５年度事業費　１，１８３，７６１千円）
○その他　　救命救急棟の建築にあわせ本館内の改修工事を行います。

3　事業費の内訳

【主な事業】救命救急棟建築事業（平成２５年度分事業費）

○建築工事　　３６４，５６０千円
○機械設備工事　　１５９，６００千円
○電気設備工事　　１１７，６００千円
○医療機器等整備費　　４９８，３２１千円
○工事監理費ほか　　４３，６８０千円

4　主な特定財源（救命救急棟建築事業）

○京都府地域医療再生事業費補助金　　２００，０００千円
○京都府中丹地域医療再生事業補助金　　１００，０００千円

担当課	市民病院事務部総務課	電話	直通 22-2101(代表)　内線 2211

市立福知山市民病院　救命救急棟建築事業

資料　1

①建築位置図

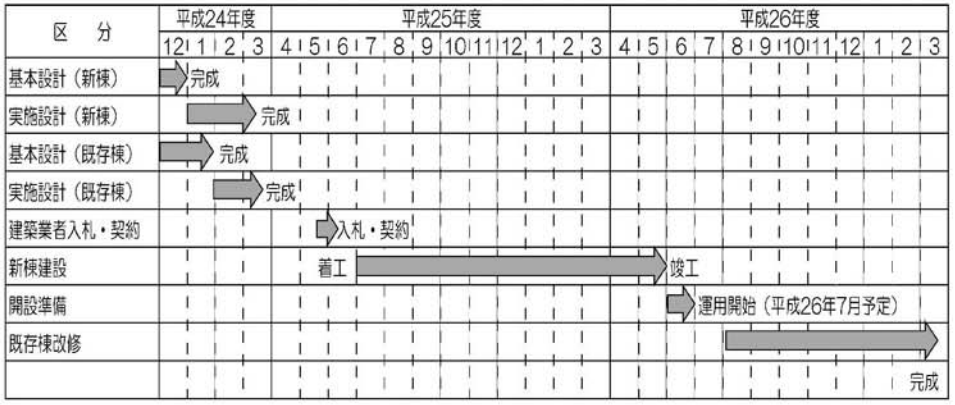
②事　業　費

区　　分	事業費（千円）	概　　要
建築工事	455,700	RC造　地上４階建　延床面積　3,200㎡
機械設備工事	199,500	空調・衛生・自家発電設備工事ほか
電気設備工事	147,000	受電・配電・照明設備工事ほか
医療機器等整備費	551,662	救急部門機器（生体情報モニター、移動型Ｘ線撮影装置、ベッドほか）透析部門機器（透析装置、監視装置、透析ベッドほか）什器ほか
既存棟改修工事	210,000	医局、化学療法室、更衣室、会議室改修ほか
工事監理業務他	43,680	工事監理業務、移転費ほか
合　　計	1,607,542	

③事業の財源

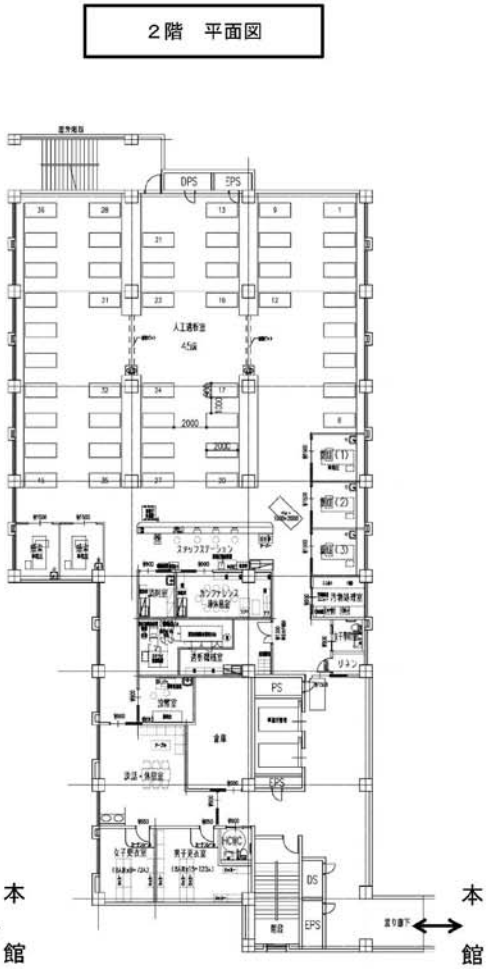
区　　分	金　額　（千円）	説　　明
病院自己資金	1,307,542	
補助金（府）	300,000	京都府地域医療再生事業費補助金 200,000 千円 京都府中丹地域医療再生事業補助金 100,000 千円

④実施予定



資料　2

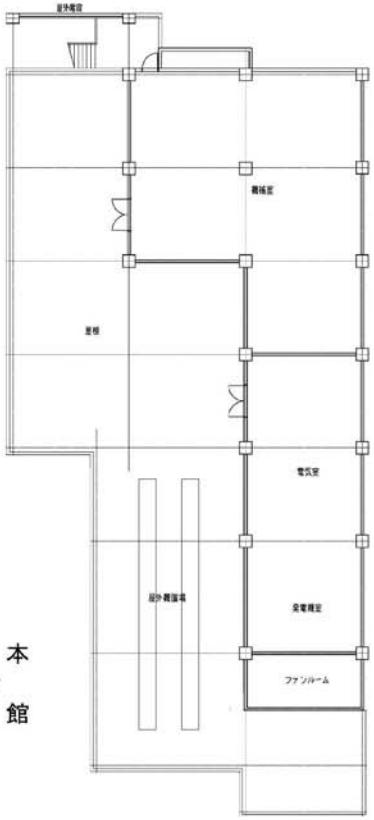
救急事務室　診療室　初療室　感染診察室
スタッフステーション　当直室　ほか



人工透析室（一般45床、感染2床、重症　3床
スタッフステーション　診療室　患者用更衣室
ほか

ICU　5床　CCU　2床　PICU　1床　SCU　1床
オーバーナイトベッド　6床　熱傷　1床
水治療室　スタッフステーション　ほか

※ICU：集中治療室　CCU：心臓疾患系集中治療室
PICU：小児集中治療室　SCU：脳卒中集中治療室
ｵｰﾊﾞｰﾅｲﾄﾍﾞｯﾄﾞ：経過観察用等ﾍﾞｯﾄﾞ



機械室　電気室　発電機室　ファンルーム　ほか

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	病院事業（国民健康保険新大江病院）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
42,844	国	府	市債	その他	一般財源	
				42,844		53,853

1　事業の背景・目的

地域医療を確保し、住民のいのちと健康を守る病院を設置運営します。

2　事業の内容

国民健康保険新大江病院事業に関する企業債の償還

3　事業費の内訳

企業債元金	21,073千円
企業債利息	3,556千円
減価償却費	18,173千円
経費（損害保険料）	42千円

4　主な特定財源

一般会計負担金	24,666千円

担当課	市民人権環境部 保険課	電話	直通 24-7019　内線 2265

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	簡易水道事業（簡易水道事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
883,000	国	府	市債	その他	一般財源	
		8,758	168,300	705,942		1,225,500

1　事業の背景・目的

安心安全な水を継続的に供給するため、適正な施設の維持管理に努めます。

また、老朽化している導配水管、漏水が多発している配水管を布設替えすることにより断水事故の解消に努めます。

2　事業の内容

【主な事業】

（１）施設維持管理事業

・155カ所の施設を運転、維持管理するための消耗品（薬品等）、ポンプ運転電気料、機器の保守点検、漏水調査業務、ろ過砂入替業務、施設清掃業務等

（２）簡易水道改良事業

・細見簡易水道　芦渕配水管布設替工事（老朽管）
・菟原簡易水道　轟導水管布設替工事（老朽管）
・大江町中央簡易水道　仏性寺配水支管布設替工事（老朽管）
・大江町中央簡易水道　金屋配水支管布設替工事（老朽管）
・大江町由良川右岸簡易水道　常津配水支管布設替工事（老朽管）
・中夜久野簡易水道　末配水管布設替工事（老朽管）
・上夜久野簡易水道　副谷配水管布設替工事（老朽管）

3　事業費の内訳

【主な事業】

（１）施設維持管理事業

事業費　98,686千円

（内訳）需用費　43,368千円（光熱水費、消耗品費等）
委託料　36,247千円（施設維持管理業務等）
その他　19,071千円

（２）簡易水道改良事業

事業費　95,000千円

（内訳）工事請負費　95,000千円

4　主な特定財源

・簡易水道使用料　305,752千円
・簡易水道施設費府補助金　8,758千円
・一般会計繰入金　365,552千円
・簡易水道事業債　168,300千円
・その他　34,638千円

担当課	ガス水道部 総務課	電話	直通 22-6503　内線 72-370
	営業課		直通 22-6500　内線 72-210
	水道課		直通 22-6502　内線 72-300

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	農業集落排水施設事業（農業集落排水施設事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
894,400			179,100	715,300		885,800

1　事業の背景・目的

農山村地域における用排水の水質保全、生活環境の改善を図るため、市内21地区で運営している農業集落排水施設事業の処理場、マンホールポンプ（310カ所）、管渠など各施設の適正な維持管理に努めます。

2　事業の内容

【主な事業】

施設管理事業

農業集落排水中六人部地区施設管理事業ほか市内全21地区（簡易排水1地区を含む。）の農業集落排水施設の維持管理等

3　事業費の内訳

【主な事業】

施設管理事業

施設管理費	368,549千円	
（内訳）需用費	66,733千円	（修繕料等）
委託料	188,272千円	（処理施設維持管理業務等）
工事請負費	41,370千円	（情報伝送装置更新工事等）
負担金補助及び交付金	17,768千円	（汚泥処理負担金等）
その他	54,406千円	（直営経費）

4　主な特定財源

・集落排水使用料	201,321千円
・一般会計繰入金	475,000千円
・集落排水事業債	179,100千円
・その他財源	38,979千円

担当課	ガス水道部　総務課	電話	直通　22-6503　内線　72-370
	営業課		直通　22-6500　内線　72-210
	下水道課		直通　23-2085　内線　72-401

施策名	人と自然が共生する・安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	水道事業（水道事業会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	企業債	その他	一般財源	
2,380,600		15,220	250,000	2,115,380		2,317,400

1　事業の背景・目的

市民生活や産業活動を支える重要なライフラインとして、災害に強い水道施設の整備に取り組みます。

本年度は、施設の耐震化事業に取り組むとともに、堀浄水場緩速ろ過池更新工事など老朽化した施設や管路の更新に併せた耐震化を計画的に進め、水道水の安定供給に努めます。

2　事業の内容

【主な事業】

建設改良事業

・堀浄水場緩速ろ過池更新工事
・川北荒木線配水管布設工事
・樽水３号線配水管布設替工事　　他

3　事業費の内訳

【主な事業】

・堀浄水場緩速ろ過池更新工事　116,000千円
・川北荒木線配水管布設工事　30,000千円
・樽水３号線配水管布設替工事　26,000千円

4　主な特定財源

・水道料金　1,361,831千円
・企業債　250,000千円
・加入金　49,632千円
・一般会計補助金　97,811千円

担当課	ガス水道部　総務課	電話	直通22-6503　内線72-370
	営業課		直通22-6500　内線72-210
	水道課		直通22-6502　内線72-300

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	企業債	その他	一般財源	
4,664,300	427,800		562,100	3,674,400		4,557,601

1　事業の背景・目的

　前年度に実施したガス水道部への組織統合と地方公営企業法の適用により、経営状況や財政状態を明らかにします。

　また、本年度より土師・堀地区の浸水対策事業に着手するとともに、福知山終末処理場ブロワ更新など老朽化した施設の更新事業を行います。

2　事業の内容

【主な事業】

建設改良事業

・土師新町貯留施設設置工事（平成25年度～26年度継続事業）
・堀高田貯留施設設置工事（平成25年度～26年度継続事業）
・福知山終末処理場　No.3ブロワ更新工事

3　事業費の内訳

【主な事業】

管渠施設拡張事業費

雨水管渠布設事業費　316,000千円
（内訳）土師新町貯留施設設置工事　190,000千円
堀高田貯留施設設置工事　126,000千円

処理場施設改良事業費

水処理・汚泥処理施設改築更新事業費　300,000千円
（内訳）福知山終末処理場　Ｎｏ．３ブロワ更新工事　300,000千円

4　主な特定財源

・下水道使用料　1,577,310千円
・一般会計負担金等　922,000千円
・下水道事業債　562,100千円
・その他　484,793千円

担当課	ガス水道部 総務課	電話	直通 22-6503　内線 72-370
	営業課		直通 22-6500　内線 72-210
	下水道課		直通 23-2085　内線 72-401

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	石原土地区画整理事業（石原土地区画整理事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
1,341,300				1,341,300		1,862,600

1　事業の背景・目的

本地区においては、近畿自動車道敦賀線の開通に伴い、福知山インターチェンジのアクセス道路にあたる都市計画道路福知山綾部線及び石原長田野線の早急な整備が必要となっています。また、本地区の約3割を占める既存集落地の多くは、道路の幅員が狭いため、交通事故や災害等の危険性の高い地区です。そのため、生活道路の改善が求められています。さらに、近年、住宅地を郊外に求める傾向が強まるなか、本地区においても良質な住宅地の供給が求められています。

こうした状況のため、本地区において土地区画整理事業を行い、都市計画道路の整備と併せて、既存集落においては、生活道路等の整備による居住環境の改善、また、市街地化が進んでいない地区においては、先行的に都市基盤を整備することにより、環境良好な市街地を形成する必要があります。

2　事業の内容

平成5年1月に事業認可（51.0ha）を受け、地区内の整備工事を実施し、換地処分を平成21年12月に行い、１に掲げた本事業の目的は、達成しました。平成25年度においては、保留地の売却を積極的に進め、特別会計の経営改善と事業の早期完了に努めます。

3　事業費の内訳

委託料	（保留地の維持管理に係る業務 他）	2,672千円
工事請負費	（事業地内の施設整備工事）	1,800千円
事務費		10,090千円
公債費		6,738千円
前年度繰上充用金		1,320,000千円

4　財源の内訳

保留地処分金	1,162,000千円
一般会計繰入金	179,270千円
諸収入	30千円

担当課	土木建設部都市整備課	電話	直通 24-7048　内線 4334・4335

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	福知山駅周辺土地区画整理事業（福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
530,800				530,800		657,500

１　事業の背景・目的

本事業は、福知山駅付近連続立体交差事業に併せて都市基盤を整備し、南北市街地の一体化、都市機能の強化を図り、「北近畿をリードする創造性あふれるまち福知山」の玄関口にふさわしいまちづくりの推進を図る。

２　事業の内容

事業区域内の整備が完成したため、平成25年12月に各地権者に対して、従前地の土地を、整備した土地に割り当て交付する（換地処分）ため、換地計画の策定等の事務を進める。

また、事業により整備した道路、公園等の公共施設を各管理者に引継ぐ。

３　事業費の内訳

報酬	208千円
給料	7,279千円
職員手当等	4,687千円
共済費	2,432千円
旅費	316千円
需用費	1,547千円
役務費	11,221千円
委託料	52,217千円
使用料及び賃借料	113千円
工事請負費	10,000千円
負担金補助及び交付金	173千円
一時借入金利子	1,608千円
基金運用利子	1,199千円
交付清算金	33,300千円
繰上充用金	404,500千円
計	530,800千円

４　主な特定財源

公共施設管理者負担金	20,000千円
土地売払収入	477,500千円
換地清算金	33,300千円
計	530,800千円

担当課	土木建設部 福知山駅周辺整備課	電話	直通 24-7055　内線 4323

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	河守土地区画整理事業（河守土地区画整理事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
48,400				48,400		69,800

1　事業の背景・目的

本地区においては、国道１７５号沿線に商工業施設や住宅、山手側に住宅等宅地化が進んでいるものの、ＫＴＲ側は過去の水害等により宅地化が進んでいない状況にあります。

由良川・宮川の築堤改修や国道１７５号の沿道環境整備が進められており、これらの事業と併せて本地区において土地区画整理事業を行い、安心かつ快適に住み続けられる市街地環境づくりを進める必要があります。

2　事業の内容

平成15年10月に事業認可（10.4ha）を受け、地区内の整備工事を実施し、換地処分を平成24年10月に行い、1に掲げた本事業の目的は、達成しました。平成25年度においては、換地処分に伴う清算金の徴収及び交付の事務を行います。また、保留地の売却を促進します。

3　事業費の内訳

委託料	（保留地の維持管理に係る業務 他）	2,946千円
工事請負費	（保留地整地工事 他）	5,000千円
事務費		803千円
公債費		264千円
土地区画整理法第１１０条の規定による交付清算金		9,387千円
前年度繰上充用金		30,000千円

4　財源の内訳

保留地処分金	39,013千円
諸収入	9,387千円

担当課	土木建設部都市整備課	電話	直通 24-7048　内線 4334・4335

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	宅地造成事業(宅地造成事業特別会計)					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
30,000	国	府	市債	その他	一般財源	
				30,000		37,800

1　事業の背景・目的

戸田地区は、出水時における由良川の氾濫により幾度となく浸水被害を被ってきました。

こうした背景の中で、国土交通省が実施する由良川改修による築堤事業により、対象家屋の集団移転先用地を、併せて実施した〝ほ場整備〟区域内の既存集落隣接地に確保、造成を行い代替地として分譲するもので、地区計画を導入し「農」と「住」の一体的な整備による田園住区を創出していきます。

併せて、移転対象とならない既存集落についても移転先住宅用地と一定的に集落環境整備を行い、本集落の一体性を確保していきます。

2　事業の内容

［全体計画］

	非農用地造成事業	集落環境整備事業
開発区域	６．２ｈａ	６．７ｈａ
事業概要	宅地分譲　８５区画 区画道路、公園施設、 防災設備、管路整備 事業年度：平成１４年度 ～平成２５年度	集落道路、幹線道路、 防災設備、公園緑地 事業年度：平成１３年度～ 平成２５年度

［平成25年度事業概要］

・造成地植栽工　１式
・未分譲宅地除草等委託料　１式
・雨水排水ポンプ施設点検清掃費　１式
・集落道路改良　３路線

3　事業費の内訳

・工事請負費　5,000千円
・委託料　1,100千円
・用地買収費　360千円
・物件移転補償費　5,900千円
・事務費(人件費含む)　16,640千円
・予備費　1,000千円

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4112

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	と畜場費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
27,300				27,300		20,800

1　事業の背景・目的

京都府北部における農畜産振興、安心・安全な食肉供給施設並びに生産流通における重要な機能の維持確保を図ることを目的として実施します。

また、地産地消及び食育の推進に寄与するものであります。

2　事業の内容

食用に供する牛・豚などのと畜が、衛生的かつ円滑に実施されるための施設の維持管理を行います。

年間利用頭数

大動物（牛、馬）	９００頭
小動物（仔牛等）	１０頭

3　事業費の内訳

一般管理費	24,372千円
食肉センター運営補助	2,280千円
一時借入金利子	148千円
予備費	500千円

4　主な特定財源

施設使用料	5,428千円
一般会計繰入金	1,887千円
雑入（４市運営負担金ほか）	19,985千円

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	公設地方卸売市場事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
7,500				7,500		4,100

1　事業の背景・目的

生産者に安定的な販路を提供するとともに、消費者には生鮮食料品等を日々安定的に供給する多数の小売商等の仕入機構としての役割を果たし、取引の適正化と流通の円滑化を図ることにより、市民生活の安定に寄与することを目的として実施します。

平成２４年度から指定管理者制度（利用料金制）を導入しております。

2　事業の内容

市場取引業務、施設管理について指定管理者に適正な指導助言を行い、協定に基づく施設修繕を実施します。

価格安定対策事業の実施により、地場野菜の流通促進を図ります。

平成２３年度青果取扱量・高

野菜	1,245,402kg	353,782,373円
果実	1,069,673kg	264,249,377円
花きなど		32,327,001円

3　事業費の内訳

一般管理費	6,426千円
一時借入金利子	74千円
予備費	1,000千円

4　主な特定財源

一般会計繰入金	7,500千円

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
172	国	府	市債	その他	一般財源	
				172		172

1　事業の背景・目的

福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全並びに基金の管理を図ります。

2　事業の内容

・財産区有林の現地確認による保全管理
・下夜久野地区財産区管理会に要する費用の財源及び財産区保有の財産の維持管理を実施する費用の財源確保

3　事業費の内訳

・管理経費

報酬	160千円
需用費(消耗品費)	3千円
役務費	1千円

・維持経費

需用費（印刷製本費）	3千円
負担金補助及び交付金	4千円
積立金	1千円

・合計　172千円

4　主な特定財源

福知山市下夜久野地区財産区財政調整基金

担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1101　内線 74-9211

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	地域情報通信ネットワーク事業特別会計					継続・新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
546,800	国	府	市債	その他	一般財源	
			49,700	497,100		474,900

1　事業の背景・目的

平成18年度から施工している「ｅ－ふくちやま」整備事業は、全市域内での高速インターネット接続やテレビ難視聴対策など、地域間情報格差の解消及びＩＴ基盤の利活用による地域情報化の推進を目的としています。

この事業により整備した光ファイバー網及び情報通信基盤設備による安定したサービス提供を図るため、施設の保守管理や道路拡幅等による電柱移転に伴う光ファイバーの敷設替えを実施します。また、整備した光ファイバー網を活用し、ブロードバンド（インターネット）及びテレビ難視聴対策に係る追加申し込み世帯へサービスを提供するための光ファイバーを敷設します。さらに、整備済みの情報通信施設の耐用年数経過に伴う更新を行い、サービスの安定供給を図ります。

2　事業の内容

(1) テレビ再送信施設のメンテナンス業務及び事故等のトラブル対応業務、並びに情報通信基盤施設の保守業務等を実施します。

ア　テレビ難視聴対策運営保守及び通信基盤施設保守業務
イ　地域イントラ設備機器保守業務
ウ　電柱共架料及び管路使用料・民地借地料
エ　放送・通信機器ハウジング料
オ　電柱支障移転
カ　加入金及び使用料の調定、納付書・督促状発送業務

(2) ＦＴＴＨ方式により敷設した光ファイバー網を活用し、ブロードバンドの加入促進、テレビ難視聴世帯の解消を図ります。

ア　ブロードバンドの加入促進対応
イ　テレビ難視聴地域における追加申し込み世帯の対応
ウ　テレビ共同受信施設の撤去費の支援

(3) 地域イントラネット基盤整備事業により整備した市役所庁内情報通信機器の更新を行います。

3　事業費の内訳

(1) 事業費　278,818千円

「ｅ－ふくちやま」保守管理事業	199,976千円	（継続）
「ｅ－ふくちやま」保守管理事業（職員人件費）	7,512千円	（継続）
「ｅ－ふくちやま」整備事業	53,840千円	（継続）
「ｅ－ふくちやま」施設更新事業	17,490千円	（新規）

(2) 公債費　265,982千円

「ｅ－ふくちやま」整備事業分	265,982千円	（継続）

(3) 予備費　　2,000千円

4 主な特定財源

(1) テレビ再送信サービス加入金	152千円
(2) テレビ再送信サービス使用料	23,829千円
(3) 光ファイバー網貸付収入	9,801千円
(4)「ｅ－ふくちやま」事業債（合併特例債）	49,700千円
(5) 一般会計繰入金	463,318千円

担当課	総務部情報推進課	電話	直通 24-7060　内線 3121